

近世農民の生業と生活

——信濃国諏訪郡瀬沢村坂本家の場合——

渡 邊 尚 志

はじめに

戦後の日本近世史研究は、個別農民の経営分析においても、膨大な研究蓄積を有している。とりわけ、近世におけるブルジョワ的發展の問題、地主制成立史、豪農論などの各分野においては、大きな成果をあげてきた。そして、一九八〇年代にはいつて社会史研究が盛んになるなかで、生産の側面だけでなく、消費や娯楽、精神生活などをも含めた農民の社会的生業過程全体を具体的に明らかにしていくことの重要性が認識され、実際そのような研究があらわれてきている。⁽¹⁾しかし、農民の社会的生業過程の解明はいまだに大きく立ち遅れており、今後多くの研究を積み重ねる必要がある。⁽²⁾本稿は、こうした問題関心になつて、近世の一農民の生産と消費、信仰などの生業過程を全体的に明らかにしようとするものである。その際、以下の三点に留意したい。(一)従来の研究が、農業経営、商工業、金融などに重点をおいていたのに対し、本稿では、衣食住などの消費生活に重点をおいて考察する。(二)従来の研究

では、大規模な豪農や特色ある経営形態をもつ農民の経営分析が多かったのに対し、本稿では、村内の上層農民ではあるが、経営規模はさほど大きくなく、従って、その生活も一般農民とさほど隔絶してはいないような農家を対象にとりあげる。(三) 農民の日常生活のなかに貨幣経済がどの程度浸透しているのかを具体的に明らかにする。

本稿で分析の対象とするのは、信濃国諏訪郡瀬沢村坂本家であり、時期は十八世紀後半以降である。

第一章 瀬沢村及び坂本家の概況

瀬沢村は、信濃国の東南部を占める諏訪郡の、そのまた東南端、甲斐国との国境に位置している。東北を八ヶ岳連峰から続く原山、南を南アルプスの一翼を形成する釜無山塊にはさまれた、標高八百三十メートルを越える高冷地にある。支配は、近世を通じて諏訪藩領である。村高は、慶長十八(一六一三)年百五石二斗⁽³⁾、享保十八(一七三三)年二百二十三石三斗七升一合七勺⁽⁴⁾、天保五(一八三四)年百九十七石九斗六升三合(天保郷帳)、明治元(一八六八)年二百五十八石九斗七升九合七勺(旧高旧領取調帳)であり、比較的小さな村である。また、他村からの入作が多く、寛政元(一七八九)年には村高二百五十二石五斗二升二合の内、瀬沢村民の持高百十石九斗五升九合、他村からの入作高百四十一石五斗五升六合、慶応二(一八六六)年には村高二百五十四石二斗八升四合の内自村民持高百十八石三斗一升八合、他村民入作高百三十五石九斗三升七合と、いずれも村高の過半が他村民の持高になっている。⁽⁵⁾村の中央を甲州道中が通っており、甲州道中の両側に家並みが形成されていた。村内の寺社は、中尾山西照寺(養福寺、養福院ともいう)、観音堂、阿弥陀堂、地藏堂、道祖神、諏訪大明神(祭礼三月十五日)、若宮八幡宮(祭礼は九月、十月どちらかの十五日)、山の神石宮(祭礼一月十七日)、御社宮司石宮、秋葉権現石宮などであった。文化二

(一八〇五)年の「村方明細書揚帳」には、農作物は五穀のほかときどき野菜をつくるのみ、農間余業として男は山稼ぎ、藁細工、女は木綿、麻を少しずつ織り出すと記されており、とりたてて特産品生産は行われていなかった。

次に、坂本家について述べる。同家は、伴右衛門(明和元(一七六四)年死去)の長男嘉兵衛重信(宝暦四(一七五四)年、三十九歳で死去)が、寛保元(一七四一)年十月に分家したことによって始まった。以後二代嘉兵衛重利(寛保三(一七九三)、三代嘉兵衛重賢(安永六(一七七七)～慶応三(一八六七)、寛政五年家督相統)、四代嘉兵衛重方(享和二(一八〇二)～明治三(一八七〇)、天保五年頃家督相統)、五代嘉兵衛重榮(幼名津多蔵、天保十五(一八四四)～大正三(一九一四)、文久元(一八六一)年頃家督相統)と続く。そして、重榮の弟喜美之助(嘉永六(一八五三)～昭和十(一九三五))が明治九年に分家し、文書は現在同人の子孫のお宅に所蔵されている。⁽⁶⁾

坂本家の所持石高は、表1に示した通りである。表1から、十八世紀末から十九世紀後半にかけて、一貫して十二、三石前後の高を所持していたことがわかる。ただ、諏訪藩の検地は総じて面積も石盛も割り引きして低く査定されており、実際の土地生産力はより高かったとおもわれる。例え

表1 坂本家の所持石高

	瀬 沢 村					他 村					計				
	石	斗	升	合	勺	石	斗	升	合	勺	石	斗	升	合	勺
寛政7	5	2	2	7	8	7	5	1	8		12	7	5	4	8
文化2	6	6	2	9	2	6	0	2	6	1	12	6	5	5	3
文化12	6	7	2	4	9	6	3				13	0	2	4	9
文政8	5	2	2	5	2	6	3	4	6	7	11	5	7	1	9
天保6	5	1	2	5	2	6	9	7	6	7	12	1	0	1	9
弘化3	5	7	8	8	9	7	9	3	2	4	13	7	2	1	3
安政2	4	5	4	3	9	8	4	4	7	7	12	9	9	1	6
元治2	4	8	0	8	6	7	8	8	2	5	12	6	9	1	1

○ 各年の「大福帳」より作成

ば、天保六年に、坂本家は、近村の下蔦木村に二石二斗五升二勺の土地を所持しており、そのすべてを小作に出していたが、そこからあがる小作米は九俵三斗六升であった。⁽⁸⁾一俵四斗入りとすると、この小作米は三石九斗六升となり、小作米だけで石高を上回る。諏訪地方の小作慣行では、小作料は収穫の半分くらいなので、⁽⁹⁾この場合もそうだとすると、実際の収穫高は七石九斗二升となり、石高の3・5倍にもなる。従って、坂本家所持地の実際の収穫高は数十石はあったとおもわれる。

次に、同家の村内における地位をみておこう。表2は、瀬沢村民の所持石高による階層構成を示したものである。そして、坂本家の属する階層に丸印をつけて示した。なお、表2には、他村への出作高は含まれていない。表2から、同家が村内最上層に属していたことがわかる。また、同家の村役人就任の頻度をみると、宝暦四年から明治四年までの百十八年間（内二年分史料欠）に名主二十回、年寄二十一回、計四十一回村役人を勤めており、ほぼ三年に一度村役人に就任していた。⁽¹⁰⁾これは、村民のなかでは多いほうだといえる。

表3は、同家の家族構成を示したものである。表3から、家族数は五十八人で、二世代もしくは三世代同居の単婚家族形態であることが

表2 瀬沢村階層構成表

年次 所持石高	寛政元	寛政8	文化7	文政4
石 7	人	人	人	人
6 ~ 7	①	0	②	0
5 ~ 6	4	②	0	①
4 ~ 5	0	2	0	1
3 ~ 4	1	1	1	3
2 ~ 3	6	3	9	9
1 ~ 2	23	26	28	21
0 ~ 1	58	58	51	56
計	93	92	91	91

○寛政元年「高物成家別書上帳」、寛政8年「歩銭惣高割帳」、文化7年「歩銭高割帳」、文政4年「歩銭割集帳」（いずれも瀬沢区有文書）より矢澤洋子氏が作成された表を拝借した。

わかる。

次に、坂本家文書について若干ふれておく。同文書群は、十八世紀中頃から昭和に至る時期の史料からなる。そのうち、近世については、同家の私的史料が中心で、他に同家が村役人を勤めた際につくられた文書もある。私的史料は、主として経営・家計帳簿と刊本・写本類からなる。経営・家計帳簿のうち作成年代がはっきりするものうちでは、寛延二（一七四九）年の「万覚帳」が最古のものである。以後、宝暦年間には断続的に残存し、明和二・七年には毎年「大福帳」と「万書出シ帳」が合綴されて残っている。明和八年に四冊の合綴となったあと、明和九年以降は連年三冊の合綴となり、天明元（一七八一）年からは、帳簿の名称も「大福帳」、「金銀出入帳」、「万書出シ帳」に統一される。そして、以後は、天保八・弘化二（一八四五）年の分が欠けているだけで、近世を通じて残っている。また、天明七年以降、横半型の「大福帳」も連年作成されるようになり、こちらは近世を通じて欠落なく残っている。この四種類の帳簿が経営・家計帳簿類の大部分を占めている。⁽¹⁾

「万書出シ帳」は毎年十二月に作られ、年末の時点で、それ

表3 坂本家の家族構成

文化12	嘉兵衛(39)	女房(35)	半之助(14)	たせ(11)	たゑ(8)	ます(4)	ゆわ(2)
文政8	嘉兵衛(49)	女房(40)	勝兵衛(24)	たゑ(18)	ます(14)	ゆわ(12)	すえ(6)
天保6	加兵衛(34)	女房(26)	半之助(8)	加市郎(3)	妹すえ(16)	父(60)	母(50)
弘化3	嘉兵衛(45)	女房(36)	妹すえ(27)	半之助(19)	たつ(7)	津多蔵(3)	父(70) 母(61)
安政2	嘉兵衛(54)	女房(45)	半之助(28)	女房(19)	津多蔵(12)	君之助(3)	たき(16) 父(79)
元治2	嘉兵衛(22)	喜美蔵(13)	父(64)	母(55)	祖父(89)		

- 瀬戸区有文書中の宗門改人別帳類から作成。中に若干年齢計算の合わないところがあるが、原史料のままとした。
- 文化12年と文政8年の女房は別人である。
- 文化12年の半之助が、文政8年勝兵衛、天保6年加兵衛、弘化3年嘉兵衛と改名している。
- 弘化3年のたつと安政2年のたきとは同一人である。
- 安政2年の津多蔵が元治2年に嘉兵衛と、同様に君之助が喜美蔵と改名している。
- 安政2年の半之助夫婦は、その後別家する。

までの坂本家の金銭貸借関係や品物の売買関係の内容が、取引相手ごとにまとめられている。「大福帳」(合綴)は毎年正月から書き始められ、同家の金銭貸借や品物の売買、小作人や小作料、藩への上納、日雇などについて記されている。「金銀出入帳」は、元旦からの毎日の金銀の出入りを日を追って書き留めたものである。以下では、特に註記しない限り、この三種の帳簿を使って考察を進めていく。その際、安永四年(以下、永と略す場合がある)、天明五年(明)、寛政七年(寛)、文化二年(化1)、文化十二年(化2)、文政八(一八二五)年(政)、天保六年(天)、弘化三年(弘)、安政二(一八五五)年(安)、元治二(一八六五)年(慶応元年、元)と十年間隔の十年分をとりあげて分析する。弘化二年については、史料が残っていないため、弘化三年のものをを用いた。この十年分の「金銀出入帳」の記載のうち、支出のなから、品物の購入、信仰、娯楽、交際など消費・精神生活にかかわる項目を書き出したものが末尾の別表である。以下の記述は、いちいちことわらないが、別表に大きく依拠している。また、化1、化2、政、天の四年については、「大福帳」のなかに「万買入控」という項目があつてかなりの記載があるので、そこに記された同家の購入品のうち、「金銀出入帳」に記載のないものについては、別表に合わせ示した。^⑫では、以下具体的な分析にはいりたい。

まず、「金銀出入帳」から、一年間の収入と支出の総額を示したのが表4である。収入のなかには、品物の販売代金、貸し金の返済、小作料、借金、無尽の掛け返し金などが含まれ、支出のなかには、品物の購入代金、信仰・娯楽・交際に関する出費、貸金、村入用、無尽掛け金、藩への上納金、奉公人の給金などのさまざまな項目が含まれている。従つて、表4は、費目の内容に関係なく、坂本家の年間の貨幣収支の全体をみようとするものである。表4から、収入・支出とも永・明・元の三年間がずばぬけて多いことがわかる。寛政五年に二代重利から三代重賢に当主が代わっているの、そこで経営方針に変化のあつたことが考えられる。元治二年の急増は、幕末の物価高騰のためであろう。

表 4 坂本家における年間の収入額と支出額

収 入

年 次	収 入 額			
安永 4 ※	249両 1 分	甲金22両 2 分 2 朱	621貫287文	2 朱銀 2 ツ
天明 5	145 0 2 朱	2 3	305 379	
寛政 7	54 2		54 668	
文化 2 ※	69 0 2		79 252	
文化12	84 3		103 513	
文政 8	85 2 3		58 823	
天保 6 ※	85 0 1		49 364	
弘化 3 ※	69 0 2		61 261	
安政 2	65 1 1		74 587	
元治 2 ※	192 1 1		141 691	

支 出

年 次	支 出 額			
安永 4 ※	253両 2 分	甲金21両	735貫305文	2 朱銀 1 ツ
天明 5	184 1 2 朱	1 3 分	384 14	
寛政 7	51 1		56 567	
文化 2 ※	68 0 2		80 683	
文化12	93 1		105 616	
文政 8	86 2 3		53 223	
天保 6 ※	85 3 3		50 808	
弘化 3 ※	57 1		63 422	
安政 2	63 1		77 712	
元治 2 ※	206 1 3		154 543	

- 各年の「金銀出入帳」から作成。
- ※をつけた年は閏年である。

表 5 坂本家の貨幣使用頻度

	収 入	支 出	両 方	修 正 値
安永 4 ※	368日	308日	374日	345日
天明 5	265	224	297	297
寛政 7	135	183	228	228
文化 2 ※	131	206	245	226
文化12	197	198	268	268
文政 8	100	181	210	210
天保 6 ※	101	218	244	225
弘化 3 ※	115	213	244	225
安政 2	97	200	223	223
元治 2 ※	114	194	236	218

- 「金銀出入帳」から作成。※をつけた年は閏年である。
- 「修正値」欄には「両方」欄のうち閏年の数値のみを $\frac{12}{13}$ 倍して示した。

次に、同家の貨幣使用頻度をみるために、表5をつくった。表5は、同家が年に何日間貨幣を使用したかを、収入・支出、およびその双方についてしめたものである。また、対象とした十年のうち五年には閏月があるので、比較のため、平年並に修正した値をも示した。表5から、貨幣使用頻度においても安・明両年が多いことがわかる。⁽¹⁾ 残る八年のうち七年は年間二百十〜二百三十日のあいだである（修正値による）。従って、同家は十八世紀末以降平均して五日に三日は貨幣を使用していたことになり、比喩的にいえば、貨幣がなければ三日と暮らせなかったといえよう。

第二章 坂本家における生業

第一節 農業

本章では、坂本家の生産・生業の側面について検討する。はじめに、農業生産からみていきたい。同家が、十八世紀末以降、一貫して十一〜十三石程度の土地（実際の収穫高はもっと多い）を所持していたことは先にみたが、同家では所持地の一部を自作し、他は小作に出していた。自作地と小作地の比率は不明である。

まず、自作地における経営をみていく。文政十年の「耕作諸事日記帳」をみると、作付け作物は田には稲、畑には油荳、稗、大豆、粟、かり豆、大麦、小麦、大根、蕎麦、芋、菜、小豆などであり、文化二、十二両年にはたばこも栽培されている。⁽²⁾ これは、作付け作物は五穀と野菜であるという前出の村明細帳の記載とほぼ符合している。また、文政十年の施肥の状況をみると、下肥、廐肥、灰、粉糠、刈敷、「つふこい」などが施されており、自給肥料が中心である。こうした作物と肥料の状況をみると、自給的農業の色彩が強いが、そのなかにも以下にみるように商品・貨幣経済の浸透をみることができる。

第一には、農産物の販売であり、その中心は米である。米は、販売量に年による多少はあるものの、毎年販売されている。販売される米のなかには小作米もあるであろうが、史料上区別できないので、ここでは一括して扱う。例えば、文化二年には米二十三俵三斗九升、白米一俵三升、天保六年には米四十二俵三斗九升五合、白米一俵三斗三升六合五勺、餅白米二升五合（ほかに蕎麦二升、小麦一升）、元治二年には米十九俵、京米十二俵、餅米二俵、初一俵、白米三俵四升五勺、餅白米一斗二升をそれぞれ売却している。他に、芋も十九世紀にはその一部が販売されている（化2、政、天、弘、安、元）。

第二は、農業労働力としての日雇、奉公人の雇用である。表6は、坂本家の日雇雇用人数と日数を示したものである。その際、農業や家事・雑用に従事する一般の日雇と、大工・畳屋などの職人とは区別して示した。一般の日雇は、人数は年に十五〜三十人程度、雇用日数は年間三百日以上が一年、二百日以上が三年、百四十日前後が三年、九十日台が二年となっている。雇用の時期は、田植えや秋の収穫期の前後に多いものの、ほぼ年間にわたっている。例えば、安永四年は十月、文化十二年、安政二年は十二月にわたって日雇を雇っている。そのほかに、ほとんどの年に一〜二人の年季奉公人を雇用してい

表6 坂本家における日雇の雇用

	一 般	職 人	計	一 般	職 人	計
安永4	20人	11人	31人	94日	59日	153日
寛政7	20	1	21	139	5	144
文化2	15	3	18	138	26	164
文化12	26	2	28	220	20	240
文政8	17	3	20	221	15	236
天保6	17	5	22	317	90	407
弘化3	20	4	24	286	17	303
安政2	32	14	46	141	136	277
元治2	27	3	30	97	12	109

○各年の「大福帳」から作成。

○文化2年には、上記の外、休戸村文治郎を9日間雇っている。

る。日雇の賃金は、まれに米(化2)、手拭、油(元)などの現物で支払われることもあるが、ほとんどは金銭で支払われている。年季奉公人の給金も貨幣による支給である。

第三に、農業生産に関連するさまざまな経費の支出がある。これを、別表からみていきたい。(1)まず、種子の購入があげられる。坂本家では、人参(明、寛、化2、弘)、練馬大根(化2、政、天、元)、大大根(安)、ねぎ(寛)、牛蒡(天)などの種が購入され、種いもも寛、弘の両年に購入されている。また、養蚕も行われており、蚕種(安、元)、「夏子種」(安、元)、かいこかご(元)が購入されている。(2)次に、農具類の購入・修理があげられる。具体的には、鎌(寛、化1、化2、政、天)、木鎌(政)、刈藪鎌(元)、鍬(政)、「くわから」(鍬の柄)(明、政)、ふるい(寛)、米ふるい(寛)、あらとりふるい(化1)、ふるい張り替(弘、安)、臼はり賃(天)などがある。また、文化二年には近村の机村の鍛冶屋重兵衛から、木鎌一丁、草刈鎌一丁を買い、「いねこきまんくわ」一丁の締め直し、小なた一丁の先かけの修理を頼んでいる。(3)さらに、坂本家では馬を飼っていて農作業に使っているが、その関係の貨幣収支もある。収入としては、馬を売ったときの代金の収入がある(化2、天、元)。支出としては、馬の購入費用(明、化1、化2、安、元)のほか、馬鞍(寛、弘)、馬の鎖(化2)、ひぐつ(馬の口あて)(寛)など馬具の購入代金、馬伏せ(伯桑による馬の検診)賃(寛、化1、化2、政、天、弘、安、元)、馬の預け賃(追い賃、世話賃)(化2、安、元)、駒かけ(雄馬との交配)賃(化1、政、弘、元)、馬の薬代(弘、安)などがある。また、馬屋祈禱料の支出もあり(寛、化1、化2)、この祈禱料は文化二年には「さる引」に支払われている。

以上の三点にわたってみてきたように、一見自給自足的にみえる坂本家の自作地経営も、さまざまな側面で貨幣経済を前提として成り立っていたのであった。

次に、坂本家の小作地経営について簡単にふれたい。同家の小作地の石高は不明であるが、「大福帳」に小作人と

小作料の記載があるので、例示してみる。文化二年の小作人は三十七名、小作料は米三十五俵二斗四升、大豆八俵一斗七升五合、二朱、四匁、三貫八百二十四文、天保六年には小作人四十二名、小作料は米四十九俵九升、大豆六俵二斗二升、一匁、三貫八百三十六文、元治二年には小作人三十一名、小作料は米四十五俵二斗三升、大豆三俵二斗七升、小豆一升、油荏五升となっている。小作料の大部分は現物納であり、坂本家の小作地経営は、小作料の一部貨幣納部分と現物小作料の一部販売とによって、貨幣経済と接触していた。

第二節 商業・宿屋業

前節では、坂本家の農業経営について述べたが、同家は他に商業・金融・宿屋業をも営んでいた。そこで、本節では商業と宿屋業についてみていく。

まず、商業だが、同家が販売した品物については、「金銀出入帳」の収入の部分に記載されているので、各年ごとに品名を列挙しておく。

永……米、大豆、大麦、木綿、干粕、焼酒(焼酎)、「まい」、古手、昆布、炭、柿、紙、針、布、元結、付木、釘、塩、稗、油、粟、麻、傘、砥、笠、真綿、小豆、苧、油荏、よりこ、中綿、足袋、薬、碗。

明……米、大豆、油荏、塩、柿、稗、板、人参、麻、苧、大根、蕎麦種、砥、するめ、紙、みの、古手、木綿。

寛……米、大豆、ふり出し、たまご、人参、薬、釘、麻、針、布、苧、俵、粉糠。

化1……米、畳、板、薪、苧、炭、ろうそく、干し草、酢、大豆、布、塩、桑、粉、酒粕、真綿、よりこ、線香。

化2……米、たばこ、炭、味噌、きじ、ろうそく、牛蒡、ふり出し、よりこ、粉糠、布、するめ、俵、肴、苧、

「青いた」、ふのり、田作、昆布、真綿、塩、大豆、いも、人参、休戸(瀬沢村の近村の名) 林木代。

政……米、ござ、かや、桑、にがり、苧、日傘、塩、いなだ、大豆。

天……米、俵、「ゆかお種」(夕顔か)、かや、線香、水油、味噌、落ち葉、溜り、苧、馬糞、「みそなわ」、梔、にがり、竹、中綿、ろうそく。

弘……米、苧、茶、たまご、桑、薬、落ち葉、大豆、松葉、林木代金。

安……米、苧、薬、大豆、馬糞、桑、梅、味噌、粉糠、炭、松木、落ち葉、萱。

元……米、大豆、かや、馬糞、馬草、苧、小麦、味噌、ざる、にわとり、羽折、よりこ、木代、草場代。

これらの販売品目のうち、いずれの年においても米がその中心となっている。他方、永・明・寛の各年には、「大福帳」に穀物買い入れの項目があり、永・明の兩年には、米、大豆を中心に、かなりの量の穀物を他から購入している。寛政七年には購入量は減少し、文化二年以降は、「大福帳」から穀物買い入れの項目がなくなり、他からの穀物購入は行われなくなっている。

販売品目をみると、米などを除いて、特定の品目を毎年大量に販売しているということはない。しかし、毎年多種類の品物を売って収入を得ていることから、坂本家の経営のなかにおいて、商人的機能が不可欠の一環をなしていたということはできよう。

次に、宿屋業について簡単にふれる。瀬沢村の中央を甲州道中が通っていたため、環境は宿屋を営むのに適していた。利用者には、宿泊する者と昼食のみの者とがあり、馬を連れている場合には馬の飼料をも提供した。例えば、天保六年六月十二日に、相模国矢倉沢村の儀左衛門の一行七人が馬十八疋を連れて宿泊したときには、泊まり賃(一人百七十二文ずつ)、馬の泊まり賃(大馬一疋二十四文、二歳馬一疋十六文、米二升三合、味噌六百目、大豆七升、稗二斗八升、草九駄、藁三ツ、粉糠四み、古かます一ツ、ろうそく二丁分の代金合わせて二分二朱、百十八文を受け取

っている。明・寛両年の「大福帳」には「旅人衆泊り」の項目があるが、寛政七年には記載内容が少なくなっており、文化二年以降は項目自体が消滅して、「大福帳」や「金銀出入帳」のなかに宿泊や昼食の項目が散見されるだけとなる。

表4でみたように、年間の貨幣収支が、十九世紀にはいると大きく減少していること、穀物類の購入が十九世紀にはなくなっていること、宿屋商売も十八世紀の方が盛んであったとおもわれること、から、坂本家の商業、宿屋業は、十八世紀後半のほうに十九世紀よりも活発に行われていたとおもわれる。

また、貸金の記録である「大福帳」(横半型)が毎年作られていることからわかるように、金貸しは毎年必ず行われていたことも付け加えておく。

第三章 坂本家の消費・日常生活

本章では、消費生活を中心に、信仰・娯楽なども含めた、坂本家の日常生活についてみていきたい。

第一節 衣

本節では、服飾費に関する支出について検討する。

まず、衣類からみていく。素材は、木綿、麻、絹、紬である。絹・紬はちりめん、太織、斜子、八丈、大島、郡内、板ノ、もみなど、木綿は棧留、小倉、金巾、紋羽、真岡など、麻には高宮、さらしなどの種類がある。色には、紺、黒、青、茶、鼠、桃色、茜、浅黄、藤色、もみ、千草、花色、うす色、紫、空色などがある。模様染めには、「嶋」

(縞) (かすり縞、格子縞、糸入縞)、さらさら染、型付、しぼりなどがある。衣類の種類には紋付、羽織、単衣、袷、綿入、こいの(腰までの丈の野良着)、股引などがみられる。

次に、衣類の作り方であるが、これにはいくつかのやり方がある。(1) 反物(永、明、寛、化1、化2、政、天、弘)を買って、家で裁縫する場合。そのなかに、既に染めてある布を買う場合と、白布を買ってそれを紺屋に頼んで染めてもらう場合とがある。当時は、衣服が破れたり、擦り切れたりしても、つぎをあてたり、仕立て直したりして長く着るのが常であった。そのため、一反に満たない切れ(元を除く全年)を頻繁に購入している。また、「引とき小袖表」(安)、「きぬ引とき」(安)のように、古着をほどこいたものを買う場合もある。帯(寛、化1、化2、政、天、元)や羽織のひも(明、化2、弘)は別に買っている。(2) 既製服を買う場合。これには、古着(永、明、化1、化2、元)を買う場合と、新品を買う場合とがあった。(3) 自家で、または人に頼んで、製糸や機織りからおこなう場合。製糸については、よりこ(十年全部)、よりこ取り賃(弘、安、元)の記載から木綿の糸取りが行われていたことがわかるし、苧うみ賃(化2、元)の記載もある。苧は、坂本家でも栽培していたし、他からの購入(永、明)もあった。糸(政、天)、真糸(絹糸)(化1、化2、政、天)は買うこともあった。これらの糸は、紺屋に染め賃(政、天、弘、安、元)を払って染めて貰った上で織られた。例えば弘化三年には、日雇いのおくらに、十一月二十九日から十二月三日まで五日間機織りをさせているように家内で織ることもあれば、織り賃(天、弘)を支払って他で織ってもらうこともあった。

次に、衣服以外の服飾品、装身具類をみてみよう。傘の類では、傘(明)、からかさ(化1、政、天)、日がさ(化1)など、笠の類では、笠(永、明、寛、化2、政、弘、安、元)、かばちや笠(化1、化2、政、三度笠(天、弘、安)、「はそり」(化1、天)、竹笠(化2)、竹の子笠(弘)、子供笠(弘)などがある。

頭部の装身具には、櫛(寛、政、弘)、さし櫛(弘)、朝鮮櫛(化1)、かんざし(化2、政、天)、銀かんざし(政)、朝鮮かんざし(化2)、笄(化1)、髷さし(政)などがある。

履物には、草履(永、明、寛、化1、化2、政、天)、雪駄(明、寛、化1、化2、政、天、弘)、わらじ(永、寛、化1、化2、政、元)、下駄(永、化2、政、天、弘、安)、中抜(永、化1、政、天、弘)、「かうす(かず)」(寛、化1、化2、政、天)、足駄(安)などがあり、関連して足袋(永、明、寛、化1、政、天、安)、さし足袋(化2)、下駄の緒(寛、化1、化2、安)を買っている。化粧道具類では、紅白粉(化2)、鏡(化1、化2)、鏡立(化1、政)、鏡研ぎ賃(化2、政、弘)、かみそり(化2)など、雨具では、傘類のほか、合羽(永、化1、化2)、「かがみの」(加賀簍か)(天)、寝具関係では、箱枕(化1)、「大ふとん表裏代」(弘)、布団綿(天、安)、夜具綿(安)などがある。

最後に、上記以外のものを列挙すれば、真綿(永、明、化1、化2、政、天、弘)、中綿(寛、化1、化2、政、天、弘、安、元)、元結(明、化1、化2、政、天)、切元結(政、天、弘)、平元結(寛、化2)、手拭(明、寛、化1、化2、天、弘)、針(永、寛、化1、化2、政、天、安)、扇子(化2、天、弘)、紙入(化2、弘)、はばき(弘、元)、かつら(政)、うちわ(天)、綿帽子(天)などがある。

第二節 食

本節では、坂本家の食生活についてみていきたい。⁽¹⁸⁾ 主食は米と雑穀であったとおもわれるが、自給であったためであるう、別表には蕎麦挽賃(化1、化2、政、天、安、元)、(小)麦挽賃(化1、政、天、安)の他は余りあらわれないので、詳細は不明である。

野菜類では、人参（永、明、寛、化2、安、元）、いも（永、明、化1、化2、弘）、生姜（化1、化2、政、天、元、牛蒡（永、寛、化1、化2））が比較的多く購入され、つけうり（政、天、安、胡麻（政、天）、松茸（化1、政、茄子（政、天）、里芋（化1）、山芋（政）、瓜（化2）、からし（化2）、干し大根（政）、うど（天）などもたまたま購入されている。但し、これらの野菜類は自家生産されていたものもあったであろうから、購入頻度が低いからといって、それらをまれにししか食べなかったということにはならない。

果物類では、柿（永、明、寛、化1、化2、政、天、弘、安）を毎年のように買っており、他に栗（永、明）、みかん（化1、化2）、梨（政、弘）、梅（天、安）、ゆず（弘）、くるみ（化1）を買っている。

植物性海産物としては、刻昆布（寛、化1、化2）、昆布（明、天）、ひじき（天）、あらめ（弘）、青海苔（弘）、浅草海苔（化1）を買っている。

動物性食品に移り、まず魚介類だが、淡水産のものでは、山女（永、寛、化1、化2、政、天、弘、安）をよく買っており、他に鮎（永、寛）、諏訪海老（化2、政）、しじみ（安、弘）、はや（寛）、鰻（弘）も買っている。焼き串（化2、政、天、安）は、同じものを肴といっている場合があり、鮎焼き串（化2）という品名もあるので、淡水産の小魚を串に刺して焼いたものであろう。海老（化1、化2、天）、小海老（弘）は、淡水産のものか海水産のものか不明である。

次に、海水産の魚介類をみると、干物（永、寛、化2、政、天、弘、元）、ふし（魚の種類は不明）（明、化1、化2、政、天、弘、安）、たづくり（明、化1、化2、政、天、弘）、鰹節（永、寛、化2、弘、元）、するめ（永、明、政、天、元）、いわし（化1、化2、政、天、安）、さば（寛、化1、化2、政、天）、まぐろ（化2、政、天、弘）などが比較的多く購入され、他に、いなだ（化2、政、天）、さんま（天、安、元）、しらす（化2、政）、生ふし

(安)、さけ(永)、きす(明)、にしん(政)、あじ(化2)、ごまめ(元)、鳥貝(天)なども購入されている。鳥獸類では、たまご(化1、政、安)を買っているが、逆に前述したように寛、弘の両年にはたまごを売っており、「にわ鳥打金」(安)が支払われたり、にわとりが売られたり(元)もしている。従って、坂本家では鶏を飼って卵をとっていたが、それで不足の場合には他からも購入していたと考えられる。他に、きじ(永)、はと(政)をまれに買っている。加工食品をみると、豆腐(永、明、寛、化1、化2、政、天、弘、安)を頻繁に買っている。豆腐は、箱で拵えてもらう場合と、一、二丁ずつ買う場合とがある。他に、蒟蒻(永、寛、化1、政、安、元)、麩(寛、化1、政、天、安)、焼き麩(化1、化2、天、安)、氷豆腐(寛、化2、政、天)、干瓢(永、寛、化1、天)を比較的多く買っており、油揚げ(化2、元)、きらず(おから)(弘、安)、揚げ豆腐(明)、ところてん(安)、氷蒟蒻(政)、生麩(天)、そうめん(安)も買っている。

調味料類では、塩(永、明、寛、化2、政、天、弘)、酢(寛、化1、化2、政、天、弘、安)、溜り(化1、化2、政、天、安)、白砂糖(天、弘、安)、黒砂糖(化2、天、安)、味噌(化2)を買っている。味噌は、「大福帳」によれば、大豆、塩、粕、飯、水を使って毎年自家製造しているが、原料のうち塩と粕(永、寛、化1、化2、政、天、弘)は購入品である。文政二年には、醤油、納豆、甘酒を造っている。¹⁹⁾

嗜好品では、茶(十年全部)、酒(安を除く全部)、焼酎(明、寛、化1、政、弘、安)をよく買っており、酒に関連して爛德利(天、弘)、猪口(化2、弘)、盃(政)も買っている。たばこ(永、明、安)は買うこともあるが、化2のように自家生産して他へ売ることもある。また、喫煙具として、きせる(寛、化1)、らお(永)、火入れ(安)を買っている。菓子も十年全部において購入されているが、具体的な内容がわかるものとしては、煎餅(永、天、安)、飴(化1、政、安)、「らくわん」(落雁)(天、弘、安)、氷砂糖(化1)、つけあめ(安)がある。他に、粕(生粕、

干粕、つけ粕と書かれている場合を含む）（永、寛、化1、化2、政、天）をよく買っているが、酒屋から買っていることがあるので（化1、政）、これは酒粕であろう。

次に、食べ物に関連して食器・調理用具をみておく。食器類では、茶碗（永、明、化1、政、天）、五郎八茶碗（化1、化2、政、天）、朝顔茶碗（化1、弘）、茶づけ茶碗（弘）、椀（永、寛、安）、黒椀（政、天）、めんば（化1、化2）、重（政、安）、皿（天）、鉢（天）、足付丸広ふた（元）、飯つき（政）、薬罐（天）、土瓶（永）、箸立て（弘）、片口（安）、楊枝（化2）などがあり、調理用具類では、鍋（永、化2、政）、赤鍋（天）、ほうろく（天）、庖丁（薄刃、刺身）（天）、摺り鉢（政）、すいのう（化2）、²⁰「そは上ケいさる」（蕎麦をあげるさる）（元）、おろし（安）、大根かき（政）、油德利（化1）などがあつた。これら食器・調理用具類は破損すると修理を頼んでまた使用しており、鍋鑄掛け賃（化1、化2、政、天、安）、鉄瓶鑄掛け賃（拵え賃）（安、元）、土瓶鑄掛け賃（天）、薬罐拵え賃（化2）、茶碗焼きつぎ代（安）などが支出されている。

ここで、食生活とは離れるが、坂本家の医療費についてみておきたい。同家では十年すべてにわたって薬代を支出しているが、薬の購入方法には次の三通りがあつた。（1）近隣の医師から買う。（2）近隣の商人などから買う。（3）遠方から廻村してくる商人から買う。

二、三具体例をあげよう。文化二年の「大福帳」によれば、坂本家は（1）瀬沢村宗竹、立沢村元秀（周）、上諏訪町大山良圓の三人の医師から膏薬、粉薬、煎じ薬、「かい入」などを買い、（2）町（上諏訪か下諏訪）白木屋孫四郎から「しきんしやう」、龍能丸、こん中丸、安神散、ふり出しを、町とみや常蔵からふり出し、山帰来、「りんひやう薬」、かんぞうを、瀬沢村喜八からかんぞうをそれぞれ購入し、（3）近江国日野の薬屋弥兵衛から如神丸、小丹丸、龍神湯を文化元、二年に、信濃国伊那郡南殿村の薬屋から清気散を享和三年に、それぞれ受け取っている。元治二年

の「大福帳」によれば、(1) 瀬沢村龍伯、甲斐国大武川村尚綱の二人の医師から、「せん薬」、膏薬、粉薬、練り薬を買い、(2) 瀬沢村岡八から「せん薬」と粉薬を買い、(3) 日野の薬屋弥兵衛から如神丸、龍神湯、「そつこうし」、万金丹、「むにこう」、かんのう丸を安政二年に、伊那郡長岡村薬屋新右衛門から馬の薬、実母散、ほくとう目薬、かんのう丸を元治元年に、越中国富山の薬屋長右衛門（実際には代人が来てゐるらしい）から、妙ふり出し、熊之丸、一角丸、万金丹、山田ふり出しを元治元年に、それぞれ受け取っている。

遠方からの薬の行商人の場合、年に一回瀬沢村にやってきて、いくばくかの薬を坂本家に置いていき、翌年また廻つて来ては一年間に使った分の薬代を受け取り、新たに薬を補充していくとかたちをとっていたようである。

以上のことから、医者にかかり、売薬を買うというような医療費の支出は、十八世紀後半以降の坂本家にとって毎年不可欠のものとなっていたといえる。

第三節 住

本節では、坂本家の住居について考察する。同家の母屋の構造については史料がないが、別表中に、から紙手かけ（永）、から紙（天）、板戸拵え賃（安）、御蔵塗り賃（政）、隠居から紙張り并屏風張り頼み賃（天）、障子拵え賃（安）、掛物（絹地）（安）などの記載があり、畳屋頼み賃の記載もあることから、同家の主屋（隠居家も含む）は、畳敷きで、板戸、唐紙、障子があり、屏風や掛物などの調度品もあったと思われる。また、塗り壁造りの蔵があったことがわかる。

「大福帳」から職人の雇用日数をみると、安・大工四人、延べ（以下同じ）三十四日、屋根屋五人、十七日、畳屋一人、六日、寛・なし、化1・大工一人、七日、畳屋一人、十二日、化2・大工一人、十六日、政・大工一人、十日、

畳屋一人、二日、天・大工二人、四十八日、弘・畳屋一人、一日、安・大工七人、百七日、左官二人、五日、元・大工一人、八日、畳屋一人、一日となっている。他に、永に木挽一人、安に杣三人、木挽一人、元に木挽一人を雇っているが、彼らも住居の普請に関連して雇われた可能性がある。日数に多少はあるものの、ほとんどの年に住宅関係の職人を頼み、彼らに賃金を支払っているのである。

次に、数点残る普請の記録から、普請の際の労働力と材料の調達についてみてみよう。まず、文化五年の「裏蔵屋」、「田之蔵屋」とよばれる蔵の新築普請を検討する。⁽²²⁾労働力は、(1) 専門職人の雇用、(2) 村人の手助け、(3) 家内労働力、の三種類を用いている。(1) としては、木挽を二人、延べ(以下同じ)十六日、大工を三人、二十三日、屋根大工(屋根屋)を四人、九日雇っている。職人は、自村および近隣の先能村、乙事村の者である。(2) としては、瀬沢村の者五人を「手伝すけ」、「頼」として延べ八日頼んでいる。彼らには給金を支払った記載がないので、無賃の手伝いだとおもわれる。(3) としては、家族と奉公人とで、地普請や萱刈りをしている。材料の中心は萱であるが、自家で四、五駄程を刈ったほかは、瀬沢村から向林萱野(入会地であろう)の萱を一丈縄で十五把程買い、乙事村三郎兵衛(坂本家の親戚)から二駄、瀬沢村小兵衛から古萱五駄程と古葎がら二十把程を買っている。また、三駄程を乙事村の綱之助から、七駄程を乙事村三郎兵衛から、それぞれもらっている。縄は自家でない、なる(細い木の棒)二駄を先能村喜右衛門から買っている。さらに、葎がら八把程を瀬沢村伝兵衛から得ているが、これには代金の記載がないので、もらったものであろう。材木については全く記載がないが、自家の持ち山から伐り出したものであろうか。以上の雇い賃と材料費をすべて合わせて一兩二朱と百二十五文しかかっている。

もう一例、慶応四(一八六八)年の「裏蔵屋」の屋根の葎き替えの場合をみよう。労働力としては、(1) 乙事村の屋根屋二人を合わせて十八日雇い、瀬沢村の大工平右衛門を一日「屋根葎拵ニ頼」んでいる。(2) また、自村の

者二人と木間村の者一人を各一日ずつ「手伝」に頼み（無給）、瀬沢村定吉を一日なる切りに頼んで二朱払っている。（3）さらに、家族の男二人が合わせて十四日普請に参加している。材料の中心はやはり萱であるが、十六メ（しめ）程を十一人から購入している。購入相手は、机村の者六人、木間村二人、芋の木村一人など大部分が近村の人間である。他に、十メ余を「貸萱并内ニ而罌置候分」として代金五貫文程で入手している。貸萱とはどういうものなのか不明だが、萱の過半は他からの購入であることは間違いない。縄十六把程は「内ニ而追々ない置」、麻柄一メも「内ニ而貯置」いたものであり、なる二駄（一駄は六十本束）は家族の男二人と前述の定吉の三人で伐り出している。他に、柴十駄程を用いているが、その入手方法は不明である。そして、賃金、材料代合わせて二両三分一朱、七十二文かかっている。他に、人足賃がかかっているようだが、その額は不明である。

以上にみてきた二例のどちらも、普請の中心は大工や屋根屋といった専門職人を雇って行っており、材料のかなりの部分も他からの購入に頼っているという点で共通している。²⁴

ここで、室内の照明についての出費にふれておこう。別表によれば、油（永、明、寛、化1、化2、政、天、弘、元）、水油（寛、化1、政、弘、安）、胡麻油（化2、政）、蠟燭（永、明、化1、化2、政、天、弘、元）、附木（化1、政、天、弘、安）、灯心（天）、提燈（寛）、「灯ちんじやばら」（化2）を買っており、提燈張り賃（明）の支出もみられる。

第四節 信仰・娯楽・その他

本節では、坂本家の信仰・娯楽などについて、貨幣支出の面からみていく。

同家の信仰関係の貨幣支出には、（1）遠方から御師などが来た際の支出、（2）同家が寺社参詣に出掛けた時の支

出、(3) 瀬沢村及び近村の寺社への支出、(4) 家内における祭祀の支出、などいくつかの場合があるので、順にみていきたい。

(1) 遠方から来る御師に初穂などとして貨幣を支出するものとしては、多賀御師(永、明、寛、化1、化2、政、天、弘、安、元)、津島御師(永、明、寛、化2、政、天、弘、安、元)、伊勢御師(永、明、寛、化1、化2、政、天、安、元)、富士御師(寛、化1、化2、政、天、弘、安、元)、愛宕山(愛宕社の御師のことであろう)(明、化1、天、弘、安、元)、鞍馬御師(寛、化1)、⁽²⁵⁾「三たけ御師」(御岳か)(寛、政)、⁽²⁶⁾「越後様」(どこの寺社の者か不明)(弘、安)、大峯御師(化1)などへの場合がある。他に、三峯山関係の支出が化1・弘・元にみられる。多賀、津島、伊勢三社の御師はほぼ毎年來村していることがわかる。このように、村には毎年何人もの宗教者が村外から訪れていたのである。また、坂本家は、天保八年から多賀御師の宿をしている。同家では、彼らに祈禱をしてもらうこともあり、愛宕山(化2)、多賀御師(政)、「越後様」(安)に御礼を払っている。多賀御師からは神散丸(藥)(政、弘、安、元)を買っている⁽²⁶⁾。

(2) 次に、坂本家の方から寺社参詣に出掛ける場合をみよう。近隣で最大の信仰対象である諏訪社へは「明神様参詣」(永、明、寛、化1、化2、政、天、弘、安)⁽²⁷⁾としてほとんど毎年出掛けているが、その他に「大祝様御札(初穂、参銭)」(化1、化2、政、天、弘、安、元)、「御頭懸り」(諏訪社の祭礼入用)(政)としての支出もある。他に参詣の記録としては、寛政七年の「伊勢道中記」、寛政十二年の「富士山道中記控」、文化十一年の「身延山道中記控」、天保三年の「善光寺道中記」が残っている。

(3) 村内及び近村の寺社への支出について、まず寺からみていく。檀那寺である蔦木宿の三光寺には、年始(寛、化1、化2、天、弘、安、元)のほか、勸化・布施(化1、化2、政、弘)、法要(明、天)など折りにふれて出金

している。三光寺末寺の瀬沢村養福院には「御年暮」(寛、化2、政、天)、布施(政、天)を出し、また瀬沢村在住の本山派修験了法院に御礼(参銭)(寛、化1、化2、政)を出している。

神社では、氏神である瀬沢村諏訪社の三月十五日の祭礼時に、「次湯」・参銭・小使(明、化2、政、弘、安、元)などとしての支出がある。

他に、一月十二日から十三日の村の道祖神の祝い(紙寄せ)での子供達への出金(天、弘、元)や「田かみ様」(寛、化1)への支出があり、日待の入用(弘、安、元)を出すこともある。秋葉山参銭(掛銭、勸化)(寛、化1、政、天、弘、元)は村内の秋葉社へのものか、御師の廻村の際の出金なのかわからない。

(4) 家内における信仰・祭祀への支出には、線香(化1、化2、天、弘、元)、位牌(政)⁽²⁸⁾、仏様膳二枚拵え代(天)、過去帳(天)、盆提燈(安)、守り袋(政、天)などがある。

以上で坂本家の信仰についての検討を終え、次に同家の娯楽についてみてみたい。貨幣支出からみた同家の娯楽には、(1) 祭り、(2) 狂言、(3) 角力(相撲)などがある。

(1) 祭り……近隣の御射山神戸村にある御射山社の祭礼(原山祭)は毎年七月二十七日頃に行われたが、坂本家の子供や奉公人は小遣い(永を除く毎年)をもらって、ほぼ毎年祭りに出掛けていた。子供が祭りに行くにも、必ず金をもっていったのである。⁽²⁹⁾

(2) 狂言……天、弘、安、元の各年に、自村及び近隣村々での狂言に際して、入用割合、花(祝儀)、小遣いなどを支出している。他に、芝居(化1)、見せ物(化1)、浄瑠璃(弘)への出金もある。

(3) 角力……自村及び近隣村々での角力の際の入用割合や小遣いは、寛・弘・安の各年に支出されている。祭り、狂言、角力、日待などは若者組が中心になって行っているようで、化2、天、弘、安、元に若者組への出金がある。

前述の寺社参詣には娯楽的要素も強かったと思われるが、また湯治（永、化2、弘）にも出掛けていた。行き先は、洪之湯（現茅野市）や塩沢湯（現白州町大武川）である。

以上で娯楽についての記述を終え、次に年中行事への支出をみてみよう。元旦に参銭（明、安、元）の記載があり、行き先は不明だが初詣に行っている。年始（永・白木屋孫四郎へ柿を、明・同人へ柿、するめを）、年玉（元）の記載もあるが数は少ない。二月には初午（寛）、二ノ午（化2、政）への小遣いがある。桃の節句には、ひな（弘）、ひな菓子（弘、元）を買っている。文政八年には、家でひな餅を作って、他家にも配っている。³⁰元治二年には、五月三日にかざり鯉一枚を買っている。十二月には歳暮（年暮）（化2、元）、門松（明）、羽子板（寛）を買っている年があり、海老や田作を買っている（化1、化2、政）のも正月用であらう。餅は、文政七年十二月にもち米四斗、粟四升、文政八年にもち米三斗二升、もち粟四升を掲げている。³¹

日常の他家との交際は、（1）祝儀（化2、政、天、弘、安、元）、婚礼祝儀（化1）、（2）香奠（香銭、香代）（十年全部）、（3）花向け（餞別）（永、明、寛、化1、化2、政、天、弘、元）の三者が中心であり、とりわけ香奠の支出回数が多い。花向けは、伊勢参りに行く者に出す場合が多く、他に善光寺、身延山、秋葉山へ行く者にも出している。

最後に、教育についてふれる。³²瀬沢村には、窪文兆（半七、天保五年に七十九歳で没）という手習師匠がおり、四代坂本嘉兵衛は彼に習っていた（化2）。また、三代嘉兵衛は、自身手習師匠をしていた。天保六年には、半之助（八歳、四代嘉兵衛の子）と重蔵が手習を始めており、四月二十七日には手習始めについての酒肴代が、また七月十三日と十二月二十七日には謝礼が、それぞれ師匠に渡されている。さらに、岡八（文化九、明治二十七）が、維新前後頃村の阿弥陀堂で寺子屋を開いていたという。そして、坂本家の支出のなかには、子供の学問向上を祈願する天神

講関係の支出（弘、安、元）や、紙（元以外の全部）、筆（永、明、化1、化2、政、天）、帳面（元）など筆記用具の購入費もみられる。

おわりに

以上、坂本家の生業と生活について、貨幣経済とのかかわりを中心に検討してきた。

同家の品物の購入先、職人の雇い先は、（1）瀬沢村及び周辺村々、（2）上諏訪町と下諏訪町、（3）葛木宿（瀬沢村近くの甲州道中の宿駅）が中心であった。そして、瀬沢村及び周辺村々にも、十八世紀後半以降は、坂本家の需要にこたえられるだけの商人、職人が存在していたのである。本稿は非常に大まかなスケッチであり、残された課題は多い。まず、坂本家の経営史料は近世後半の百年以上にわたって残っているが、本稿ではその一割程度を分析対象としたにすぎない。そのため、同家の生業と生活の時期的変化は、ほとんど明らかにできなかった。また、経営帳簿の分析もコンピュータを用いたりすれば、ずっと詳細な分析ができたに違いない。しかし、農民の家の生業と生活の全体像についての研究が遅れている現在、本稿が、今後より緻密な研究が続々現れるまでの、つなぎのワンステップともなれば幸いである。

〔註〕

（1）社会的生活過程概念のもつ意味については、高橋昌明「社会史の位置と意義について」（『歴史学研究』五二〇、一九八三年）を参照。具体的な研究成果としては、例えば

近世史では、古川貞雄『村の遊び日』（平凡社、一九八六

年）、高橋敏「近世小農の消費生活と教育・文化の創造」（『歴史評論』四六一、一九八八年）など、近代史では、小木新造『ある明治人の生活史』（中央公論社、一九八三

年)などがあげられる。

(2) この点については、速水融『江戸の農民生活史』(日本放送出版協会、一九八八年)第一章の指摘を参照。

(3) 慶長十八年「信州諏訪郡高辻帳」(『諏訪史料叢書』一二、所収)。

(4) 「諏訪藩主手元絵図」(一九八五年に諏訪史談会から刊行されている)。

(5) 久保美郷「瀬沢 郷土のあゆみ」(瀬沢公民館、一九五九年)。以下の瀬沢村についての記述も同書による。

(6) 坂本家に伝わる系図及び瀬沢区有文書中の宗門改人別帳類による。

(7) 『諏訪市史』中巻、第四章及び第六章第四節。

(8) 天保六年「大福帳」。

(9) 「諏訪市史」中巻、第六章第四節。

(10) 瀬沢村の村役人の定数は、名主二人、年寄三人である。

(11) これらの経営帳簿は、初代重信が家をたてた七、八年後からつくられはじめ、二代重利の明和年間以降次第に整備され、天明期に帳簿形式が基本的に完成し、それが三代以降踏襲されていたと考えられる。

(12) 「金銀出入帳」と、「大福帳」のなかの「万買入控」の史料の性格について、いくつか述べておきたい。(1)「金銀出入帳」は掛けの売買の際、品物の受け渡しがあった日ではなく、代金を授受した日に記載されるのに対し、「万

買入控」は品物の受け渡しの時に記載がなされている。

(2) 「金銀出入帳」では、大量の買入物のときには、「いろいろ買物メ」などとして、具体的な品名を書かない場合がある。(3) 年によって、「万買入控」に「金銀出入帳」にない品物が多数記載されている場合があるが、それは主に(1)、(2)の理由によるのであり、「金銀出入帳」の記載に脱漏が多いということではない。

(13) 元治二年は貨幣使用頻度においてはむしろ少ないほうであり、このことは同年の貨幣使用額の急増が物価高騰によるものであろうという推測を裏付けている。

(14) 文化二、および十二年の「大福帳」。

(15) 文化二年「大福帳」。

(16) 当該年の「金銀出入帳」による。

(17) 弘化三年「大福帳」。

(18) 食料品に限らず衣料品についてもいえることだが、坂本家が購入する品物は、すべてが自家消費用ではなく、一部は他へ販売していたのだが、本文で述べたように、十九世紀には商業、宿屋業はあまり盛んではなかったので、購入品の大部分は家内で消費されたと考えてよからう。

(19) 文政二年「大福帳」。

(20) 茹でた蕎麦などを取り上げて水をきる、ざるに取っ手のついたもの。

(21) 文政八年には甲斐国台ヶ原宿の医師に、天保六年には芋

の木村の医師にかかっているように、瀬沢村とその周辺にはかなりの数の医師が存在していた。

(22) 文化五年「裏蔵屋普請控帳」。

(23) 慶応四年「裏蔵屋普請控帳」。

(24) 普請の史料としては、他に弘化二年の「田ノ蔵屋普請帳」があるが、本文にあげた事例と共通の特徴を示している。

(25) 元治二年「大福帳」など。

(26) 坂本家では、病人が出た場合、薬と祈祷の両方に頼つたようである。例えば、天保六年に加市郎(三蔵)が病死したときには、瀬沢村医師玄台(龍伯の父)と芋の木村の医師に薬をもらう一方、「瀧之前 法院様」に「虫かじ御守」をうけている。また、「ほうそう神様」への支出も化一・天両年にみられる。

(27) 弘化三年の場合には「前宮御開帳有之」とあるので上社とわかるが、他の年には上社、下社どちらへ行つたかわからない。

(28) 前年に加蔵が八歳で死去しているので彼のものであろうか。瀬沢区有文書中の宗門改人別帳類による。

(29) 別表ではほとんど略したが、「金銀出入帳」には子供や奉公人への小遣いの記載が各所にみられる。また、林右衛門の子供(弘)、立沢村おしなの子供(安)、立沢村弥左衛門の子供(元)など他家の子供にも小遣いを与えている。当時の農民は、既に子供の頃から貨幣に接する機会をもつ

ていた。

(30) 文政八年「大福帳」。

(31) 同右。

(32) 以下の記述は、前掲『瀬沢 郷土のあゆみ』と別表によっている。

(33) 紙には、半切、葛紙、中折、武紙、半紙、「花かみ」、小杉、巻紙、色紙、二分広紙、「はふぎ紙」などさまざまな種類があつた。

(34) 『富士見町史』上巻(一九八九年刊行予定)第六章「農業と農間余業」(筆者執筆部分) 参照。

別表 坂本家の消費・信仰等に関する貨幣支出

安永4年

月 日	金 額	費 目	支 出 先
1. 2	132文	御年始柿代	町白木や孫四郎
"	1貫285文	冬分大豆代残り	"
"	3分, 1貫188文	冬大豆代分残也	町亀屋長兵衛
"	116文	さんとく代	仕立屋新次郎
"	128文	長紙代之内ニ	町綿や伊兵衛
"	100文	参銭小使共ニ	町
"	84文	酒代 新七見舞ニ使	
"	24文	干物代	
"	1両	油糸代之内ニ	山形屋新八
7	400文	絹切6尺	与助
"	100文	花向	伊三郎
"	32文	"	平介
"	112文	" 参銭共ニ	五平
11	800文	堅ふし代	高辺村 幸左衛門
13	100文	小使かんひやう共ニ	町ニて
"	250文	かき代	中村 幸助
18	124文	白木御切代	又右衛門
"	1両	粕代金之内ニ	金沢ノ猶右衛門
"	24文	こんにやく4丁	磯五郎
"	36文	とうふ2丁	富次郎
27	1分	粕代ニ	金沢 猶右衛門
28	168文	油5合	与兵衛
"	72文	酒手	市左衛門
2. 1	20文	香代	善助
"	550文	大武川切代	又右衛門
4	2貫572文	塩代	福嶋衆
"	5貫文	塩代	大熊ノ孫右衛門
"	1分	米代之内ニ	上原ノ祖右衛門
5	1分	もち米代太賃共ニ	"
6	24文	香代	辰次郎
"	750文	かき代	高遠ノ喜曾八
10	1両1分, 300文	油代之内	山形や新八
"	44文	するめ	千野 市兵衛
"	342文	いも人参	町白木や弥七
"	78文	人参牛房	升や吉右衛門
"	100文	くわし	"
"	32文	小豆1升	"
"	24文	せんへい代	町

2.	10	60文	半切紙代	吉右衛門
	"	1分	麦代之内ニ	白木や孫四郎
	11	72文	塩代余り分	乙事村 新左衛門
	12	632文	米代	伝兵衛
	"	2貫424文	塩代	まじの 久左衛門
	13	38文	とうふ代	十助
	16	662文	もち米代	上原ノ祖右衛門
	"	1貫文	せん代	九兵衛
	"	1貫100文	沓代	立沢 伊兵衛
	19	972文	塩代	神戸 慎右衛門
	23	100文	つき粟代	上原ノ祖右衛門
	24	甲金1分	よりこ代	又右衛門
	25	38文	酒代	市左衛門
	26	270文	かき代	熊八
	"	72文	多葉粉	
	"	7兩	油糸代金	立沢ノ伊兵衛
	"	1分	沓代之内ニ	"
	"	559文	油糸1斗代	"
	27	600文	麻上か	甲州 金右衛門
		452文	色々いろ代	次郎左衛門
	29	甲金2分, 448文	木綿代	はゝ沢 次左衛門
3.	1	100文	針代, 32本	かち 次右衛門
	2	700文	桃代	
	"	537文	紙代	
	"	2貫150文	白木綿4反	伊野村ノ幸左衛門
	"	18文	とうふ代	
	"	400文	から紙手かけ68枚10代也	圓助
	4	1貫文	塩代	
	5	3分	糸代金之内ニ	立沢 伊兵衛
	"	136文	沓代	"
	"	12文	同上か	"
	"	30文	くつ紙代	宇源次
	6	100文	竹代	
	10	28文	酒手	
	12	1分	72文 沓代	幸松
	14	12文	酒代	
	17	100文	炭2丁	かこや
	"	124文	筆5対	"
	"	67文	小刀代	"
	"	2分	177文 しぬり代	松本 喜兵衛
	18	200文	角木2丁代	幸助

3.	21	34文	笠代	武七
	"	42文	たはこ	
	20	162文	油 5 合	与兵衛
	"	64文	なる代	義右衛門
	22	672文	こんや分吹かへ	やねや次兵衛
	"	50文	縄代	庄左衛門
	25	1貫23文	小かうさゝ 5 本代	谷戸 富右衛門
4.	4	84文	上の	徳平
	5	424文	大くんわまい	大武川
	6	200文	油代	与兵衛
	11	2分	干粕代之内ニ	市左衛門
	17	324文	合羽代	
	18	160文	油代	与兵衛
	20	188文	なへ上口	清五郎
	25	150文	いも代	
	"	64文	丸薬代	権右衛門
5.	3	664文	細切 1 丈 1 尺 5 寸	舟久保ノ 篠右衛門
	5	32文	香代	又右衛門
	"	32文	"	宇源次
	10	50文	なる代	文七
	"	168文	油 5 合	与兵衛
	14	324文	酒 4 升代	大武川 篠右衛門
	"	226文	こんや分 2 升 8 合	"
	25	500文	茶買	
	"	24文	香代	乙事村 弥七
	"	150文	かり敷代	平六内
	"	60文	山め代	次郎左衛門
	晦	150文	塩代	
	"	205文	油代	与兵衛
5月27日 ～6月3日		400文	渋湯使	
6.	11	55文	そうり代	松太郎
	17	1貫100文	まい代	矢崎
	18	532文	"	休戸 弥兵衛
	20	600文	"	文七
	"	300文	"	新左衛門
	"	900文	"	幸助
	21	1分	"	花は 七左衛門
	23	450文	まい代	大武川 九左衛門
	24	1分	1貫100文 米代	上原 又兵衛
	"	400文	まい代残り	花は 幸右衛門
	"	1分	まい代之内ニ	市左衛門

6. 25	1分	まい代	花は 七左衛門
7. 3	"	たいこ代	又左衛門
5		438文	
8		1貫100文	上原ノ又兵衛
9		100文	
11		442文	わたや伊兵衛
"		228文	新八
"		100文	伊兵衛
"		16文	
"		12文	
12		100文	
"		1貫文	はゝや沢 藤助
"		1貫800文	団右衛門
14		300文	まじの 清次郎
"		384文	町 勝左衛門
21		100文	大武川 長十郎
26		32文	兵藏
28		100文	
29		370文	又右衛門
8. 1	1分	粟代之内ニ	町 精左衛門
"		328文	休戸 弥兵衛
4		1貫文	大武川 与惣右衛門
"		700文	" 武左衛門
"	1分	"	久兵衛
5		28文	伊平次
"		"	上葛木町 四郎右衛門
10	2分	米代	上原 祖右衛門
"		180文	又右衛門
12		426文	免見ニ而
13	2分	29文	岩久保 新兵衛
14		3貫文	乙事村 平七
"		492文	伴右衛門
19		253文	絹や伊兵衛
"		88文	"
21	3分	米代	乙事村 平七
26		640文	栗生衆
28		32文	太郎右衛門
晦		100文	乙事江
"	3分	24文	桑原 藤五郎
9. 1	2両	米代	岩久保 桑右衛門
2		300文	団右衛門

9. 3		7貫106文	芋代之内	乙事 五右衛門
6		300文	明神様参詣ニ	
8		32文	油ノ賃	与兵衛
12		800文	隠居米代内ニ	伴右衛門
"	1兩		米代内	乙事 六左衛門
"	2兩		"	" 藤右衛門
14		564文	總芋代	大武川 久兵衛
16		311文	芋差引	高遠□ 惣助
18		755文	よりこ代	甲州 団右衛門
"		580文	木綿1反	"
20		616文	木綿代	
21		200文	酒代	
22		1貫241文	堅ふし代	栗生 奎之丞
23		128文	山め代	磯右衛門
25		450文	中折代	升や吉右衛門
"		38文	かんひやう	"
"		64文	丸薬	竹田宗節様
"		52文	栗1升	
"		48文	そうり8足	
28	1兩2分		米代	乙事 藤右衛門
29		150文	よりこ代	
10. 6	1兩1分,	960文	木綿代	伊遠 甚左衛門
"		300文	塩代	又右衛門
9		24文	御たか様御初尾	
10		"	香代	伊平次
"		"	"	上蔦木 四右衛門
11	1分		隠居様米代	伴右衛門
12	1兩	62文	大ッ代	町 孫次郎
"		32文	さわ代	兵蔵
13		200文	塩代	
15		50文	"	又右衛門
16	1分	50文	真綿代	庄左衛門
"		200文	塩代	
17	3分	668文	馬上金	かち沢 忠右衛門
18		68文	さかな代	
19		32文	とうふ2丁	波右衛門
21		200文	小丹丸	御師匠 半兵衛
24		100文	香代	清右衛門他3人
25		200文	たはこ代	
"		32文	とうふ代	
26		190文	油5合	町 勝左衛門

10.	27	甲金1分		馬預ヶ賃ニ遣	乙事 権右衛門
	"	文金1分		油ゑ代金之内ニ	しらや沢 源助
	"		776文	油ゑ 1斗5升代	平左衛門
29	2分			大豆ひへ代之内ニ	せ沢新田 繁右衛門
11.	1	1兩	800文	大豆代之内	立沢 伊兵衛
	"	2分		"	せ沢新田 又左衛門
	3		600文	大武川木綿代	
	8		"	油ゑ 1斗代	新田 小右衛門
	"	3分		大豆代金之内ニ	六左衛門
	9	1分		"	大武川 武八
	14		200文	薬代	
	15	1兩		生粕代金之内	金沢 猶左衛門
	16		800文	古手代	平六内
	17		100文	糍代	
	19		138文	足袋代	仙右衛門分
	"	1分		大豆代	セ沢新田 次郎兵衛
	20	"		"	大武川 武八
	22	3分	865文	白木綿代	大出村 甚左衛門
	23	1分		大豆代之内ニ	せ沢新田 桑次郎
	"	1兩1分		古手代 "	庄左衛門
	24	3兩3分		古手代	木曾人
	25	甲2分, 1貫277文		茶代	甲州 条右衛門
	"	2分		古手代内ニ	
	26	1兩	300文	"	
	27		300文	御頭くわんけ	
	29		200文	薬代	日野 義兵衛
	"		300文	よりこ代	
	晦		200文	いも代	芋木 楨右衛門
12.	1		250文	ぬか 1駄	
	2		"	ぬか代	
	5	1分		ろうそく代	高遠ノ勝七
	"	1兩		粕代	金沢 猶右衛門
	6		2貫文	木綿代	甲州 清七
	7		942文	大豆代	文六
	10		300文	高国寺くわんけ	
	"		572文	干物500枚	町 新八
	"		268文	きち2わ	"
	"		32文	くり	"
	"		200文	半切2わ	伊兵衛
	"		228文	中折5丈	"
	"		100文	すをふ	松之助

12.	10	84文	ふな30	松之助
"	"	250文	ぬか	
14	"	64文	香代	又右衛門 宇源次
16	5両3分, 300文		古手代	やこ原 久右衛門
17	甲金1分		きもの代	まじの 清次郎
18	"	100文	伊せ御師様	
20	"	332文	かき代	
"	1両	1貫135文	大豆代	せ沢新田 松兵衛
24	"	800文	足袋代	高遠富屋ノ甚左衛門
25	1分	451文	真綿代	庄左衛門
"	"	300文	そうり代ニ	□□人
閏12.2	"	700文	そうり代	大武川 民右衛門
"	"	1貫600文	ろうそく代	
5	"	2貫664文	木綿代	
7	"	464文	紙代	
8	"	100文	そうり代	
10	"	450文	かき代	水上 利八
"	"	916文	米代	乙事村 藤右衛門
12	1分	1貫28文	木綿代	□や茂兵衛
"	"	800文	大豆代之内	せ沢新田 長右衛門
"	"	208文	女足袋	又左衛門
14	"	300文	大豆代	堂ノ隠居様
15	"	1貫100文	木綿代之内ニ	甲州 清七
16	"	200文	礼	横吹 平助
"	2分		塩代	栗生 市兵衛
17	"	100文	津嶋御師様	
20	"	1貫238文	木綿代	
"	"	324文	なへ代	町 清五郎
"	1両		生粕代	金沢人江
22	"	100文	年暮	善覚様
"	"	"	風祭礼	"
"	2分	1貫100文	塩2駄代	
"	2分		大豆代内ニ	乙事江 未利
24	"	800文	わん8ツ	亀長
24	"	169文	下駄□三	
"	"	124文	足袋	
"	"	58文	堅ふし2ツ	
"	"	55文	たはこ	
26	"	590文	武紙代	
28	"	100文	年暮	隠居様
大晦日	"	380文	麻代	大武川 九左衛門

大晦日	100文	礼	忠左衛門
"	200文	"	半□様
"	438文	油代	兵蔵

天明5年

月 日	金 額	費 目	支 出 先
1. 1	3文	参銭	
2	248文	するめ8れん御年始	白木や孫四郎
"	318文	かき同断	"
"	108文	するめ	富屋友之丞
"	40文	かき	山形屋新八
"	72文	羽折ひも	江近屋太助
"	64文	こんふたつくり	綿や伊兵衛
4	24文	とうふ代	波右衛門
5	200文	村分御年始	三光寺
"	100文	"	河内
8	100文	伊勢花向	伴右衛門
"	100文	"	孫三郎
"	50文	"	弥左衛門
"	50文	"	伊三郎
"	372文	二日半たのミ十日勘定	たゝみや忠内
10	1兩	大豆代	白木屋孫四郎
14	750文	柿代	要助
20	100文	是へ郡内江半之助御守御礼	
21	370文	中折7丈	
24	2分2朱	芋代	又右衛門
27	1兩2分	圓助人参代	惣兵衛
晦	232文	か壺かさ	町 新八
"	32文	するめ	裏町
"	140文	小刀代	太助
"	32文	筆	"
"	24文	水上いんにく入	
"	280文	油5合	久右衛門
"	42文	かつ	"
2. 1	48文	御酒ニ	富右衛門
2	64文	蔵原観音参り代参	内 万蔵
3	36文	油代	
"	72文		津嶋ノ御師
9	100文	花向	上葛木 幸四郎

2.	11	58文	茶花	
	15	634文	紙代	柏木人
	18	242文	よりこ代	辰弥
	22	24文	宗門印付	三光寺
	25	800文	木綿代	近江屋太助
	"	78文	するめ	松治
	"	170文	きす10わ	吉郎次
	"	128文	いもくき	買物
	26	109文	くわから3丁	
	27	32文	油ノちん	忠兵衛
3.	6	50文	金沢ノ弥左衛門へ香代	
	8	500文	種代	
	"	200文	しろぬりと	町
	"	78文	多葉粉	町
	10	90文	人参種	
	11	654文	田ふちちん	せ沢新田衆
	14	24文	とうふ代	
	15	232文	さしわないき	村 平左衛門
	"	1両	大つ代	町 孫八
	"	50文	御祭礼小使	
	16	350文	からかね	芋木かち
	18	300文	多葉粉	
	22	100文	茶払	
4.	1	2分	大豆代之内	清水町布屋孫八
	12	109文	あけとうふ24丁代	鳶木人
	13	150文	とうふ5丁	岡八
	14	25文	" 1丁	"
	13	650文	こんや麻代	嘉助
	17	32文	伊三郎へ香代	
	"	24文	乙事村勝右衛門へ香代	
	19	1分, 650文		寺江
	21	50文	小使 明神様参	
	25	200文		上鳶木三光寺隠居様
	"	100文		御付僧
	"	200文		三光寺寺守へ
	"	100文	永相明久大姉17年季	三光寺
	27	400文	するす代	木戸口 半左衛門
	29	44文	大武川笠代払	又右衛門
	"	55文	油代	中馬衆
5.	12	409文	かり敷代	文二郎
	14	100文	肴代	磯八

5.	14	200文	よし代	田端
	"	40文	なる代	机村江
	16	406文	と代	
	18	532文	かり敷たのミ	花は 初二郎
	19	416文	かや4駄代	せ沢新田 定五郎
	"	300文	たるき9本	伝兵衛
	"	200文	かや2駄	
	21	912文	油代	田端ノ忠兵衛
	20	200文	明神参り小使	おれい
	21	132文	かや	木間村 6
	"	600文	"	瀬沢新田
	25	1貫203文	やねや江	金沢 清右衛門
6.	3	32文	油ノちん	忠兵衛
	11	60文	てうちんはり	
	14	24文	焼酒	又右衛門
	25	200文	きす	町
	25	24文	花火	町
	"	480文	さらし	松兵衛
	"	36文	茶わん	"
	"	232文	しとこさ	
	"	52文	そうり1足	
	"	1貫450文	嶋1反代	山高 吉弥
7.	1	366文	やねふき	若宮ノ宇右衛門
	4	200文	ふすま1斗5升	町
	"	68文	たはこ	"
	"	60文	割たい	"
	"	100文	ろうそく	"
	"	186文	雪太3束	忠兵衛
	"	227文	木綿切	"
	5	3分	大つ代かりニ村分	白木や孫四郎
	"	2分	大つ代	とみや孫八
	13	482文	真綿代	嘉助
	"	282文	雪太7足	"
	21	100文	さらし2尺	町 松弥
	"	24文	くわし	
	27	250文	御射山御祭礼小使	
8.	8	69文	御殿様へ御見舞	伴右衛門
	"	56文	紙	"
	"	22文	かさ	"
	"	600文	米代	八右衛門
	16	50文	神戸江酒手	

8. 21	2朱		木綿代	町 亀や
"		116文	きれ	
"		38文	くり	
"		224文	いかけ	
29		300文	竹3本	教来石
"		100文	竹8本	神代村
9. 1		44文	乙事 兵右衛門, 久右衛 門へ香代	
"		100文	三光寺順坊様へ香代	
"		20文	乙事村 平助へ香代	
5		50文	御初尾 御多賀御師様 芋5かけ	
"		100文	栗買	林内
7		1貫文	番口笹板之代=	新兵衛
10		100文	種代	町
8		"	御多賀御師様 手前御礼 上ケ	
"		200文	御多賀御師様 半之助御 礼	
25		200文	よりこ代	政右衛門
26		1貫650文	笹板之代	作右衛門
28	1分2朱		塩代	要助
10. 2		320文	傘代	
8		100文	しとゆい	高遠
19		64文	さかな	富右衛門
"		40文	とうふ2丁	岡八
"		100文	見まい	寺江
20		32文	御初尾	あたこ様江
"		100文	御代参	"
25	1両		大豆代内	要助
28		824文	油荏代	花は 幾右衛門
29	1分2朱, 78文	"	"	" 半右衛門
11. 1		172文	手拭切	嘉助
3		200文	すをふ代	
"		124文	さかな	
"	2朱		紙代	亀や仁右衛門
"	1分		古手代	藤助
7	"		油荏	花は 幸右衛門
"		212文	多葉こ	繁八
"		100文	わてノ代	金沢 猶右衛門
8		212文	多葉こ	繁八
"		158文	多葉こ	勘兵へ

11.	10	1兩1分	当歳代金	圓助
	11	1分	そは代	磯右衛門
	14	180文	武紙2丈	町
	15	2朱 268文	そは代	磯右衛門
	14	132文	竹代	
	"	2朱	よりこ代	大熊 十右衛門
	16	50文	いかけ	
	17	1分2朱	油荏代	花は 幾右衛門
	22	2分	大ツ代	政弥
	24	100文	千くすり代4ツ	伊遠 久蔵
	25	1分	油荏之代	花は 半右衛門
	26	2朱	ろうそく代也	嘉助
	27	1分	油代	花は 亀右衛門
	28	50文	嘉蔵、安右衛門へ香代	
12.	7	100文	御初尾	伊勢御師
	9	2朱	足袋代	高遠ノ清五郎
	"	160文	紙代	勘兵衛
	"	150文	門松	"
	11	2朱	そは代	孫四郎
	"	260文	油5合代	伴右衛門
	15	50文	乙事村 新左衛門へ香代	
	17	1分2朱	塩代	塚原 清七
	19	3分 100文	"	繁八
	22	2朱 345文	そは代	九兵衛
	23	2分2朱, 304文	油荏代	花 ^は 亀右衛門
	27	600文		机 石や
	"	1貫270文		大武川 酒屋
	"	1兩1分2朱	大つ代	白木や孫四郎
	"	1分	古手代	町 藤助
	"	268文	そは代	政弥
	27	500文	かき代	
	29	60文	さかな代	二郎左衛門
	"	1分	礼 村入用共	大武川村
	"	"	"	宗竹老
	"	300文	"	弥左衛門
	"	2朱	"	矢ヶ崎江
大晦日		128文	しとこさ代	茂兵衛

寛政7年

月 日	金 額	費 目	支 出 先
1. 2	100文	御年始	上蔦木 三光寺様
5	24文	そうり1足	清右衛門
"	66文	手拭1筋	猶吉
8	100文	花むけ	教来石 長十郎
"	68文	油4本	清右衛門
晦	32文	油メちん	又右衛門
10	250文	男帯1筋	清右衛門
19	124文	香代	立沢村
21	400文	糍1斗	
2. 5	24文	香代	蔦木町 伊八
"	72文	" 3人分	横吹, 木間村
"	80文	武紙1丈	伴右衛門
8	64文	初を	津嶋御師
12	200文	初馬江小使	
16	2朱	伊勢みやけ	おゑつ
"	84文	わく2ツ	
18	24文	とうふ1丁	波右衛門
"	40文	こんにゃく5丁	"
19	84文	明神様小使	
21	7文	下駄のを	猶吉
24	48文	種いも代	弥三郎
25	204文	くらを4枚	紺屋江
26	24文	とうふ1丁	波右衛門
29	3文	秋葉山山銭	
3. 7	24文	香代	ゑはし 新次郎
8	55文	かつをふし	
"	12文	とふふ半丁	波右衛門
"	32文	油メちん	忠兵へ
9	24文	ねぎ種	
"	500文	粕代	
11	76文	手拭1筋	磯五郎
12	24文	とふふ1丁	波右衛門
15	38文	くわんかう代	磯八
16	39文	酒代	伊三郎
14	100文	萱代	亀右衛門
16	24文	とうふ1丁	
18	"	香代	池之袋 利右衛門
19	"	人しん種	
20	149文	くわ代	直吉

3.	20	40文	水油代	清右衛門
	23	1分	原林薪代金	弥左衛門
	"	24文	とうふ1丁	波右衛門
	24	16文	山め代	次郎左衛門
	26	12文	とうふ半丁	波右衛門
	28	24文	香代	先能村 両左衛門
	"	"	"	" 喜兵衛
	晦	608文	麻買	休戸 文治郎
4.	2	72文	油代	伴右衛門
	3	24文	ふうふ1丁	波右衛門
	"	72文	いかけ	源蔵
	4	94文	父湖馬預ヶちん	
	"	12文	馬屋きとふ	
	8	108文	馬たをい2枚	まじの 長五郎
	9	36文	はそん	先能村 嘉助
	"	40文	針代	"
	11	10文	もち代	伊三郎
	13	20文	てすくい	余之介
	15	8文	わらし	伴右衛門
	17	6文	こふやく	忠兵衛
	20	40文	酒代	伊三郎
	"	90文	油代 4本	
	21	80文	笠1かい	清右衛門
	22	44文	ふな2丁	
	23	24文	香代	先能村 伊八
	"	184文	酒代	藤田
	24	34文	と1丁	清右衛門
	25	8文	わらし	伴右衛門
	29	72文	切代	"
5.	2	48文	鯉ふし	市郎右衛門
	"	510文	くろ切代	清右衛門
	"	80文	武紙1丈	"
	6	48文	酒代	伊三郎
	9	12文	初を	くらま御師
	12	40文	酒代	伊三郎
	7	42文	"	"
	8	32文	油メちん	忠兵衛
	13	88文	ひぐつ2ツ代	まじの 長五郎
	16	109文	嶋切3尺	清右衛門
	"	272文	鎌と1丁	"
	"	633文	四日半日願ちん	石屋仁右衛門

5.	20	55文	鯉ふし1ツ	清右衛門
	"	10文	くわし	"
	"	24文	酒代	伊三郎
	21	60文	セつたなをし 小使	
	"	8文	馬ふせ	
	23	"	こふやく代	伴右衛門
	26	141文	と1丁, 花かみ3丈	清右衛門
	27	848文	白布1反買	おやそ
	28	12文	くわし	伴右衛門
	"	48文	万能丸6ツ	
6.	7	40文	きせるさし1本	伴右衛門
	"	52文	鯉ふし	兵藏
	10	2分2朱, 300文	馬大豆代	白木屋孫四郎
	"	1分	くき代	亀屋長右衛門
	11	100文	香代	忠兵衛
	"	24文	"	作右衛門
	"	6文	金はそん	嘉助
	"	48文	はや30くし	
	17	12文	しやうちやう	清右衛門
	19	114文	明神様参ル 小使	
	20	23文	油1本	
	22	24文	香代	亀右衛門
	23	180文	よりこ代	清右衛門
	"	16文	しやうちやう	兵藏
	26	15文	酒代	清右衛門
7.	1	40文	手拭1筋	清右衛門
	2	32文	油メちん	又右衛門
	4	48文	ちはつふ	室内 はくらく
	"	6文	参銭 こくふ藏様	
	6	8文	泊代	
	7	48文	ぬか代	又七
	"	23文	油1本	次右衛門
	9	56文	と1丁	清右衛門
	"	147文	白切代	"
	10	24文	原茶屋角力= 小使	
	"	100文	山め代	磯八
	12	48文	小ふ代	
	"	68文	きせる油代	清右衛門
	"	82文	もゝ色袖口切	"
	"	2朱	べゝ麻代	伊三郎
	13	28文	くわんかう代	新右衛門

7.	20	60文	笠 2 かい	伴右衛門
	"	6文	わて 2 ツ	清右衛門
	22	1分	薪代金	万右衛門
	25	270文	作物代物	九左衛門
	26	2分	茶代	紺屋江
	27	151文	原山 小使	
8.	1	24文	香代	先能村 利右衛門
	3	100文	塩代	清右衛門
	6	216文	ふるい	
	7	64文	茶ばな 2 升	直吉
	"	374文	白切代	おやへ
	"	2朱	よりこ代	
	15	111文	明神様江 小使	
	"	27文	馬懸り	与七
	20	32文	油メちゃん	岩次郎
	"	100文	塩代	清右衛門
	28	200文	竹代	机村 喜三郎
9.	3	24文	酒代	伊三郎
	7	100文	苧 3 掛 初う	多賀御師
	"	19文	油 1 本	伴右衛門
	10	148文	米ふるい	
	15	100文	切代	清右衛門
	"	1分2朱	釘代	亀屋長右衛門
	19	24文	くませ 2 本	
	24	100文	鎌代	清右衛門
	"	88文	白切代	"
	26	12文	そうり 1 足	兵藏
	29	16文	初う	三たけ御師
10.	2	12文	こふやく	忠兵衛
	4	32文	ひしやく 1 ツ	まじの 又助
	5	22文	とふふ 1 丁	岡八
	10	264文	神□き 1 ツ	清右衛門
	13	384文	勧け	文榮
	"	32文	油メちゃん	又右衛門
	19	68文	さば 2 本	清右衛門
	"	20文	とふふ 1 丁	岡八
	"	164文	薬 2 袋	九左衛門
	22	100文	人しん 5 わ半	たひの人
	23	30文	水油代	清右衛門
	"	20文	とうふ 1 丁	岡八
	25	48文	酒 5 合	伊三郎

10.	25	55文	高遠干瓢	清右衛門
	"	18文	酢3合	伊三郎
	"	40文	豆府2丁	岡八
	"	100文	足袋1足	清右衛門
	"	28文	牛房1わ	林右衛門
11.	2	10文	とふふ1丁	
	3	100文	花かみ8束	
	2	148文	染切4尺	清右衛門
	7	100文	中わた	清右衛門
	10	417文	武紙4丈油4本	九左衛門
	12	17文	くし1枚	
	15	232文	紺嶋4尺	清右衛門
	17	100文	伊勢御師	
	17	146文	下駄を2足	勘兵衛
	20	6文	田かみ様	
	29	2朱	白綿おちやキ用	岡右衛門
12.	1	675文	町買物釘わん代	万蔵
	3	20文	とうふ1丁	又右衛門
	5	64文	ちやうちん	弥左衛門
	8	48文	万能丸6ツ	
	"	16文	"2ツ	
	"	20文	とうふ1丁	又右衛門
	"	200文	牛房6わ	乙事人
	11	32文	油メちん	忠兵へ
	"	12文	くわし	
	14	10文	酢代	清右衛門
	15	20文	とうふ代	岩次郎
	"	18文		津嶋御師
	"	64文	初う	津嶋御師
	17	16文		富士御師
	18	12文	かき代	
	20	1分	薬御礼	矢ヶ崎 養寿様
	21	145文	たといし30くし	
	22	12文	汁ちやくし	伴右衛門
	"	"	平もとい	"
	24	28文	はこ板4枚	藤五郎
	"	60文	切代足袋	清右衛門
	"	48文	刻こふ	蔦木
	25	1両	鉄鉋代ニ内江遣ス	休戸 幾右衛門
	"	460文	氷とうふ2箱分	清右衛門
	27	248文	町さば2本買	忠左衛門

12.	27	224文	竹し3丈	若宮人
"	"	120文	かんひやう代	清右衛門
"	"	21文	白切代	"
"	"	63文	かうす3足	清右衛門
"	"	32文	油メちん	又右衛門
"	"	100文	中わた代	清右衛門
26		2朱, 172文	馬くら代差引ニ而	先能村 平左衛門
28		248文	" 1口分	乙事 平四郎
"	"	148文	手桶1ツ	長左衛門
"	"	324文	ぬか2すこ	新井人
"	"	50文	こんにやく10丁	伊三郎
"	"	24文	す3合	清右衛門
29		600文	御礼	弥左衛門
"	"	64文	ひもの4れん	清右衛門
"	"	100文	白布代	岡右衛門
"	"	"	御礼	了法院
"	"	61文	はそん	長左衛門
"	"	100文	御年暮	養福院
"	"	648文	いろいろはそん	先能村 嘉八
"	"	322文	"	" 嘉助
"	"	87文	足袋切代	清右衛門

文化2年-1

月 日	金 額	費 目	支 出 先
1. 3	100文	御年始	つたき町 三光寺
7	172文	女足袋1足	又右衛門
"	18文	元ゆい3ツ	"
8	100文	手拭代	おとき
"	48文	伊勢参り花むけ	伴右衛門
"	24文	政右衛門へ香代	
17	16文	酒代	又右衛門
"	3文	了法院へ参銭	
19	48文	水油代	又右衛門
"	5文	ふし1ツ	"
20	12文	ゑひす様	
23	78文	ふし1ツ	又右衛門
26	5文	あめ代 小使	
29	30文	酒代	又右衛門
2. 2	1分預ヶ	粟代之内へ	町嶋や松兵衛
"	1分	真綿105匁	升や庄助

2.	2	1分	真綿代使物	かわちや繁次
	3		32文 油メちん	忠兵衛
	"		14文 ろうそく1丁	又右衛門
	7		90文 いさる3ツ	花ば 幸左衛門
	11		48文 芝居割懸り	文兆
	"		22文 とうふ代	岡八
	"		12文 す代	伊三郎
	15		48文 水油代	又右衛門
	14		24文 半兵衛へ香代	
	"		" 机村 平左衛門へ香代	
	15		20文 乙事村 又左衛門へ香代	
	18	2朱	糍代	町南部屋太助
	21		100文 寺へ 念仏へ	
	22		48文 大祝様御札	半右衛門
	24		58文 くら切1尺7寸	又右衛門
	25		38文 酒代	"
	"		22文 とうふ代	岡八
	28		224文 小杉3わ	又右衛門
	29		100文 紅染3尺	"
3.	1		71文 くわし代	"
	3		14文 ろうそく1丁	"
	4	1貫800文	麻3反代	大武川 仲治郎
	6		12文 酒代	又右衛門
	7		436文 三光寺勅化是ニ而皆済	政右衛門
	8		24文 す代	蔦木δ
	"		15文 とうふ代	岡八
	11		12文 くわし代	
	"		200文 こうし5升	町ノ政吉
	16		100文 ろうそく7丁	松本人
	"		30文 やきふ10	又右衛門
	21		22文 とうふ代	岡八
	"		32文 油メちん	忠兵衛
	24	1分,	100文 粟代かます共ニ	町嶋や松兵衛
	25		48文 氷さとう代	
	26		24文 鼠まき紙1わ	つたき 佐金次
	"		28文 あかまき紙1わ	"
4.	3		80文 筆2対	形や周蔵
	7		20文 とうふ代	藤左衛門
	"		48文 かんひやう代	又右衛門
	"		100文 馬屋きとふ	さる引へ
	8		300文 教来石村 政八へ香代	

4. 10	52文	線香10わ	又右衛門
"	22文	とうふ代	藤左衛門
"	40文	水油代	又右衛門
8	3文	参銭	下葛木へ
3	24文	芋木村 文治郎へ香代	
"	"	" 三治郎へ "	
14	8文	くらま御師 初銭	
15	50文	蕎麦引ちん	桑吉
16	44文	酒代	又右衛門
20	24文	油 1 本	"
23	88文	大かほちや笠 2 かい	つたき 佐金次
"	40文	はそり 1 かい	"
"	8文	わて 2 ツ	"
24	"	神宮寺大々御祓	名主
26	1兩2分	馬代金半右衛門へ渡ス	机村 九兵衛
27	32文	油メちん	忠兵衛
28	"	笠 1 かい	又右衛門
晦	664文	麻代	乙事村 綱之助内
5. 2	6文	わて 2 ツ	又右衛門
3	24文	油 1 本	"
"	25文	麦引ちん	文作
5	800文	麻代染ちん共ニ遣ス	おみね
"	14文	酒代	又右衛門
7	600文	麻代之内へ	大武川 重左衛門
"	3文	参銭ニ	旅増人
"	90文	再油 5 本	中道ノ人
"	60文	水油 1 合 5 夕	"
10	148文	笠 2 かい	又右衛門
"	100文	さは 3 本	"
11	74文	染切代	"
12	72文	酒 1 升 1 合	"
14	"	"	"
"	50文	蕎麦引ちん	文作
17	72文	山め代	新三郎
15	3文	こうやく代ニ	おこや
27	68文	と 1 丁	又右衛門
29	90文	再油 5 本	山浦ノ人
"	62文	上油 2 本	"
"	2朱	見舞ニ遣ス	祖母石村 新左衛門宗銀先生
29	64文	酒代	又右衛門

6.	2	24文	大武川 宇八へ香奠	
"	"	"	" 喜兵衛 "	
"	"	72文	なへいかけちん	山浦ノ人
3	"	20文	セ沢新田 庄左衛門へ香代	
10	"	483文	ひゑ大豆代	猶吉
11	"	58文	と1丁	又右衛門
"	"	85文	袖口切買	乙事人
"	"	22文	かゝみ1ツ	又右衛門
"	"	8文	あたこ山 参銭	
20	2分		白布代之内へ	こんやへ
26	"	16文	はり代	
"	"	32文	油ゾちん	芋木 猶右衛門
27	"	"	しやうちう代	岡右衛門
7.	4	556文	頼ちん4日分	田端村たゝみや利助
5	"	12文	もち代	喜八
10	"	164文	せつた1足代	芋木 兵左衛門
13	"	300文	薬御礼	秀元老
"	"	50文	蕎麦引ちん	文作
15	"	22文	しやうちう代	岡右衛門
21	"	400文	せつた2足代	つたき町 勝右衛門
23	"	12文	酒代	伊三郎
25	"	148文	鎌1丁代	上原方
26	"	24文	木間村 勝右衛門へ香代	
27	"	187文	御射山へ参り候 おかよ、おため、半之助四人ニ而 小使	
25	"	100文	やきふ44	松本人
8.	8	51文	明神様へ参ル 小使	
"	"	10文	もち代	喜八
9	"	600文	麻代ニ払	休戸村 文治郎
10	"	24文	勧化	藤左衛門
11	"	10文	もち代	喜八
"	"	32文	油ゾちん	忠兵衛
12	"	12文	かうし代	伊三郎
"	"	148文	上原鎌1丁	弥兵衛
20	"	57文	油3本	かめや忠助
"	"	26文	引はち1ツ	"
"	"	44文	笠1かい	わたや忠右衛門
23	2朱		いろいろ拵ちん大武川分共ニ	平沢ぬつちや武兵衛
24	"	12文	酒代	喜八

8. 晦	106文	あらとりふるい1ツ	甲州大八田ノ人
"	24文	水油代	大武川 武八
閏8. 3	16文	酒代	喜八
"	11文	小使 祭礼之節	
4	24文	手すくい代	乙事人
5	148文	祭礼割合出ス	藤五郎
9	441文	真綿買	花ば 長右衛門
11	24文	一郎左衛門へ香代	
14	200文	多賀御師様 初銭御代参共ニ	
16	32文	油メちん	芋木村 猶右衛門
18	84文	青切代	安蔵
"	6文	こうやく代	忠兵衛
16	62文	下蔦木村へ 寺へ集り小使	
20	74文	松茸50本	甲州人
22	200文	こうし代	つたき 佐金次
26	80文	いもし代	若宮 松左衛門
"	8文	小使 見セ物ニ	
28	20文	酒代	安蔵
"	6文	こうやく代	忠兵衛
9. 2	2朱, 278文	乙事綱之助屋根板代	岡八
4	10文	柿代	甲州人
5	32文	油メちん	忠兵衛
7	2朱払	手拭買差引ニ而	安蔵
12	100文	そうり10足	与惣次
"	24文	す代	安蔵
14	114文	ふし2ツ	"
15	203文	青切6尺5寸	新田 角治郎
19	42文	ひゑ5合代	安蔵
"	12文	す代	"
"	32文	乙事村 平四郎へ香代	
"	24文	" 伝八 "	
8	50文	蕎麦引ちん	文作
19	48文	油2本	安蔵
22	24文	弥五兵衛に香奠	
29	32文	油1本	安蔵
"	12文	大みね御師 参銭	
"	"	酒代	
10. 1	6文	こふやく代	忠兵衛
3	26文	とうふ代	岡八

10.	3	4文	はり代	
	6	24文	善蔵へ香代	
	"	"	忠七 "	
	"	"	芋木村 次郎右衛門へ香代	
	"	100文	永助へ香代	甲州人
10	"	"	しやうが代	安蔵
"	"	24文	油 1 本	町升や庄内
13	1分2朱		きぬ代	
14		32文	あたこ山 初銭	
"		8文	三峯山"	
16		191文	たまり 3 升	町亀や源蔵
16	2朱弘		くす紙買差引ニ而	松本人
6		16文	酒代	
18		8文	寅ノ年こよみ代	
19		200文	寺参り行節	つたき町 三光寺
"		28文	さば 1 本	安蔵
"		3文	秋葉山 山銭掛セニ	
"		12文	す代	安蔵
21		26文	とうふ代	岡八
24		28文	さば代	安蔵
23		50文	蕎麦引ちん	桑吉
"		264文	日がさ代	乙事 三印
24		16文	乙事権太郎すみ代	吉弥
"		25文	小麦引ちん	文作
25		100文	いも代	つたき 饒助
"		24文	こふやく代	下蔦木 文蔵
"		18文	す 3 合	安蔵
"		48文	酒代	"
"		134文	とうふふ 5 丁	岡八
27		32文	油ノちん	忠兵衛
"		14文	柿代	安蔵
"		300文	里いも	つたき 5
"		32文	酒代	安蔵
"		48文	くるみ代	大武川 5
11.	4	148文	酒 2 升	伊三郎
"		100文	婚礼祝義ニ遣ス	番人江
7	1両		白布代之内へ	かめや忠助
"		148文	薬代亥ノ年へ拂	伊那郡 清氣散
10		26	くわし代	安蔵
12		100文	伊勢御師 初銭	

11.	14	24文	先能村 平右衛門へ香代	
	"	5文	田ノ神様 初銭	
	"	10文	柿代払	由五郎
11.	16	8文	みかん代 小使	
	18	30文	浅草のり 3枚	旅人
	20	12文	す代	安蔵
	"	32文	油メちん	芋木 猶右衛門
	"	"	こくう蔵様勸化	由五郎
	"	200文	いも代	町お
	23	17文	こんにやく代	文兆
	29	316文	郡内嶋 薬代共ニ	江州日野 弥兵衛
	"	8文	はり代	安蔵
	"	6文	柿代	"
	晦	24文	芋木村 嘉兵衛へ香代	
	"	"	" 勘七 "	
	28	"	水油代	
12.	2	1分	よりこ代	まじの 経治郎
	6	14文	酒代	安蔵
	8	2朱	武石紙代	こんや
	"	1両1分	大豆代ニ預ケ	かめや 源蔵
	13	14文	くわし代 小使	
	14	200文	馬ふせちん室内ノ人へ	伊三郎
	"	28文	鯖1本	安蔵
	"	2朱	昼持ちん	田端村 利助
	"	24文	駒かけちん	歩キ 三次郎
	15	116文	牛房4わ	安蔵
	16	635文	ほうそう神様へ参ル使	八右衛門
	"	130文	あひ1升、たつくり1升代	"
	"	24文	こんや分くわし代	"
	"	55文	紙買代	"
	"	50文	小麦引ちん	作右衛門
	17	104文	蕎麦2斗引ちん	文兆
	"	15文	ひやく代	こんやへ
	"	24文	茂左衛門へ香代	
	"	12文	ふじ御師 初銭	
	18	332文	馬ひとこさ代	乙事村 波治郎
	21	64文	油メちん 2度分	茂左衛門
	"	6文	こうやく代	忠兵衛
	1分	100文	大のこきり通ニ代遣ス	永太郎
	22	1貫600文	いろいろ細工ちん	机村 富蔵
	23	32文	色紙代	安蔵

12. 23	68文	酒代	安藏
"	100文	町6くわし代	藤五郎
25	1分2朱, 334文	茶1本代	茶売 幸助
26	500文	薬礼	宗竹老
"	32文	油メちん	茂左衛門
"	14文	玉こ代	一郎左衛門
"	3文	秋葉山	
27	100文	つけぎ代	大武川 又左衛門
"	800文	かす1俵	酒や
28	116文	牛房4わ	安藏
"	18文	す代	"
"	100文	たまり代	"
"	200文	こうし代	つたき江
"	"	御礼	寺へ
"	100文	"	了法院
29	2朱払	永太郎家代ニ遣ス	万藏
"	624文	白布代	おくり
"	116文	そうり代	平兵衛
"	72文	とうふ梅ちん	藤左衛門

文化2年-2

月 日	金 額	費 目	支 出 先
2. 2	1匁	箱枕1ツ	かめや忠助
"	6匁	白布1反	"
"	139文	元ゆい30	"
"	90文	上油3本	"
"	"	再油5本	"
"	45文	茶碗2ツ	いつミや幸左衛門
"	164文	女足袋1足	近江や太助
3. 16	600文	麻1反	大武川 重左衛門
5. 3	664文	麻1反2丈7尺	
6. 28	600文	麻1反	長者6
29	164文	小女セった1足	町6
7. 10	100文	せん香23わ 内10わこん	蔦木わたや義助
"	"	やへ遣ス	
"	163文	さらし5尺5寸	"
"	288文	花染7尺	"
"	90文	再角油5本	"
"	"	上匂入油3本	"
"	118文	と2丁本山	"

7. 10	80文	手拭 2 尺 5 寸	つたき 佐金次
"	38文	男かうす 2 足	"
"	94文	小セった 1 足半之助分	"
"	48文	中なかぬき 3 足	"
"	33文	笠 1 かい、わて 20こ	"
"	72文	五郎 8 2 ツ	"
"	144文	あさかは茶わん 10	"
26	81文	油 4 本 こんや 5 頼	町 6
"	42文	茶碗 1 ツ	"
"	166文	さらし麻 3 尺	"
"	143文	上々麻手拭 1 筋	"
"	476文	白きぬ 5 尺 5 寸	"
"	243文	ろうそく 20丁	"
9. 7	300文	手拭 4 筋	安蔵
"	80文	千草切 2 尺 5 寸	"
10. 9	12匁 5分	嶋布 1 反	河内や繁次
"	1匁 7分 6厘	小板敷 2 わ	"
"	2匁 1分	郡内嶋 2 尺	"
"	2匁 5分	かっは 将束	升や庄内
"	7匁 9分 5厘	もみ切 9 尺	"
"	250文	真糸 30 かな	"
"	7分 5厘	はさみ 1 丁	"
"	7匁 3分	上紬帯地 1 筋	"
"	1匁 2分 3厘	黒郡内切 1 尺 4 寸	"
"	5匁 8分	七子半 あり 2 掛	"
"	2分、銀 6分	白布 6 反	近江や平右衛門
"	2匁 7分	からかさ 1 本	"
"	60文	くろ下駄を 1 足	"
"	50文	同 中 1 足	"
"	2匁 5分 8厘	上茶わん 6 ツ	いつミヤ幸左衛門
"	58文	油とくり 1 ツ	"
"	28文	3 合入 1 ツ	"
"	6匁 8分	きんこうかい 1 本	丸や助七
"	1匁 9分	朝せんくし 1 枚	"
"	14匁 6分 9厘	真綿 106匁	かめや忠助
"	1匁 5厘	半紙 1 わ、鼠 = 而	"
"	20匁	八丈女帯 1 筋	"
"	210文	かすり嶋 4 尺 2 寸	"
"	57文	上油 3 本	"
"	90文	再油 5 本	"
"	5匁 7分	紬帯 1 筋	"

10. 9	1匁3分2厘	下中折 3 丈	かめや忠助
"	2匁8分5厘	中折 ^{中2} 折 5 丈	"
"	3匁2分	上中折 5 丈	"
"	1匁3分5厘	かゝみ立 1 ツ	"
"	18文	小そうり 2 足	"
"	32文	中ぬき 2 足	"
"	3匁5分	6寸かゝみ 1 面	"
"	1匁6分4厘	小板敷 2 わ	"
"	7匁5分	中わた525匁	"
"	13匁6分	りうきう 8 枚	"
"	13匁4厘	甲州ござ10枚	"
"	6匁9分2厘	同 中 6 枚	"
"	690文	古手裕 1 ツ女向おみね分	町古
28	90文	油 3 本	町かめや忠助
"	118文	きせる 3 本	"
"	2匁8分	小杉 1 銅	"
"	3匁1分5厘	武石紙 5 丈	"
"	3匁7分5厘	女袋 ^{足袋} 3 足	"
"	5匁6分	ろうそく 1 箱44入	"
"	4分2厘	水引70わ入 1 わ	"
11. 7	27匁	白布 6 反 裏むき	"
"	26匁	" 5 反 表むき尺よし	"
"	11匁6分	" 2 反 表子共兩人分 尺よし	"
"	1匁4分	大板敷 2 わ	"
12. 24	400文	さば12本	つたき 佐金次
"	19文	男かす 1 足	"
"	268文	柿40くし	"
"	51文	女かす 3 足	"
"	100文	刻こふ	"
"	80文	いわし20	"
"	130文	ゑひ 1 升 たつくり 1 升	町古
"	60文	ひも紙 4 セン	"
"	76文	めんば	"
"	56文	はこふ	"
"	100文	つけき41わ	大武川 又左衛門
"	624文	白布 1 反	おくり

文化12年-1

月 日	金 額	費 目	支 出 先
1. 4	100文	御年始	三光寺
"	180文	しほり4尺5寸	つたき 佐金次
"	168文	よりこ1わ	儀助
1. 4	80文	二分広紙1丈	為吉
5	400文	湯へ参り候ニ付	幸藏
7	32文	伊勢参リニ付	五平
8	9文	酒代	半之助
9	42文	同5合	半七
16	24文	香代	伊兵衛
17	"	"	小兵衛
14	12文	す代	儀兵衛
19	"	ゑひす様初穂ニ	
"	24文	一角丸3ツ	源右衛門
20	200文	祭礼ニ付遣ス	若キ衆江
"	24文	豆府1丁	岡八
21	200文	セリ物買候ニ付	初五郎
22	24文	1角丸	源右衛門
26	200文	虫かじノ礼ニ致ス	山神戸 幸法院
2. 8	24文	豆府1丁	岡八
10	100文	氷豆府5連	松本人五
11	16文	たん ^切 ぎ代	おとめ
"	24文	人しん種ねりま大根種	山浦之人 磯八
14	34文	二ノ馬へ小使	
15	100文	かみすり代之内へ	柏木新田 長右衛門
"	36文	かんさし1本	"
20	130文	氷豆府6連	伝兵衛
"	24文	豆府1丁	岡八
19	8文	はり代	
24	24文	たん切代	政右衛門
"	"	豆府1丁	岡八
25	348文	のほり拵候ニ付勸化候分	若キ衆へ
"	100文	同断幸藏勸化ノ分	"
29	2朱	糍代	町ノ忠七
26	32文	油メちん	芋木 猶右衛門
晦	24文	くわし代	松本人五
3. 1	300文	芋うみちん	大武川 おしつ
"	24文	豆府1丁	岡八
3	"	"	"
9	104文	やくわん拵ちん	万藏

3.	10	3分	324文	林代金差引ニ而遣ス	治兵衛
	12		48文	ふし1ツ	儀助
	"		40文	いわし10	つたき 儀助
	"		8文	ゑひ1升	"
	"		100文	祭花ニ	つたき 若キ衆へ
	12		48文	同所小使 (他に同日5人に「葛木 へ」として小使を与えて いる)	
	"		24文	とうふ1丁	岡八
	14		221文	茶代之わめニ遣ス	古閑村 源蔵
	"		572文	人しん1両め買	三郎兵衛
	15		12文	氏神様へ次湯代	
	"		24文	酢代	儀兵衛
	"		"	豆府代	岡八
	21		500文	5升なへ3升なへはそん	久保村 いもじ江
	14		48文	豆府代出し越 山論入用	
	20		"	とうふ代 "	
	22		80文	すいのふ1ツ	花ば 幸左衛門
	24		272文	たまり3升代	かめや善左衛門
	"		6文	はり代	
	"		24文	とうふ代	
	29		32文	油メちん	芋木村 猶右衛門
	"		54文	酒代	半七
4.	1		200文	かみすり代之内へ	柏木新田 長右衛門
	"		24文	筆1本	"
	"		20文	"	"
	"		40文	ふしかゝみ代	"
	"		12文	はり代	"
	2		72文	いかけちん	源蔵
	"		980文	白布1反代	先能村 平右衛門
	9		15文	酒代	半七
	15		64文	やきくし2わ代	里ノ人ら
	19	2朱		祝義ニ使候	伝兵衛
	20		30文	豆府代	岡八
	"		9文	わて3ツ	儀兵衛
	21		3文	くわし代	
	23		24文	"	清吉
	"		"	たん切代 小使	
5.	2		400文	かり敷4駄代	矢崎之定助
	"		100文	酒1升	儀兵衛
	3		"	ふなやきくし5わ半	里ノ人ら

5.	4	32文	油ノちん	芋木村 猶右衛門
	"	48文	酒代	儀兵衛
	"	16文	やきくし代	半七
	5	24文	香代	乙事 磯右衛門
	"	864文	かり數代	乙事 三郎兵衛
	16	40文	油1本	儀兵衛
	17	48文	酒代	"
	20	32文	酒代	半七
	23	12文	"	"
	"	332文	上原鎌2枚	善次郎
	"	12文	しらみ薬1ツ	伊八
	29	48文	しらす1わ	旅人5
6.	2	48文	くわし代	政右衛門
	"	116文	上茶半斤	古関 源蔵
	1分2朱,	464文	茶1本代	"
	3	16文	こいひいす1ツ	勝右衛門
	5	350文	セリ物代ニ	初五郎へ
	9	180文	鎌1枚幸蔵分	平七
	19	30文	やきふ10	儀兵衛
	20	32文	明神様へ	幸蔵
	23	48文	酒代	半七
	20	160文	鎌1枚	神宮寺5
7.	1	2朱	おかよ御祈祷御礼ニ	あたこ山江
	2	100文	香奠	三光寺江
	3	48文	味林酒2合代	佐金次
	5	12文	色紙代	半之助
	1	32文	油ノちん	猶右衛門
	7	332文	上原鎌2枚	初五郎分 善次郎
	"	114文	ちょく5ツ代	為吉
	8	16文	三光寺勸化之分	忠七
	10	25文	原金毘羅山へ 小使	
	"	15文	"	半之助
	"	500文	薬礼ニ	立沢村 いしや
	13	80文	手拭1筋	幸蔵
	"	309文	黒切9尺	儀兵衛
	15	106文	酒代	源右衛門
	"	15文	からし1合	儀兵衛
	18	141文	かさ1かいわて共ニ	左金次
	"	34文	本山と1丁	"
	20	32文	大武川祭江	おしづ, おはつ2人
	"	116文	花共ニ小使	

7. 20	48文	新田并大武川へ	幸藏
21	24文	香代	芋木村 惣七
22	16文	一角丸 2 ヅ	源右衛門
24	112文	うり代 9 ヅ	大武川 平左衛門
24	18文	かゝみ代	幸藏
" 1分		嶋 1 反代江	かめや忠助
"	24文	香代	乙事村 十左衛門
27	32文	"	木間村 重右衛門
"	24文	"	" 嘉兵衛
"	"	"	小左衛門
"	49文	御射山へ小使 (他に 4 人 分小使203文支出)	
"	72文	祭へ	おはつ, おじつ 2 人へ
28	300文	せった代遣ス	幸藏
29	668文	渋之湯入用	半之助
8. 2	24文	酒代	半七
13	42文	笠 1 かい	わたや儀助
"	516文	麻 1 反代	若宮 仙右衛門内
"	48文	角力之入用ニ遣ス	若キ衆へ
15	312文	草苅鎌 2 枚	平七
"	32文	油メちん	芋木 猶右衛門
20	100文	いろ代ニ	こんやへ
"	"	おため分ニ遣ス	こんやへ
25	12文	わらし代	
"	34文	本山と 1 丁	鳶木 5
27	42文	山め 3 ヅ	新三郎
"	40文	たまり代	儀兵衛
29	48文	茶ノ花代	甲州人 5
晦 1分2朱	100文	馬預ケちん并追ちん共ニ	甲州ときわ村 三藏
9. 4 1分		当歳馬代金	立沢村 八郎右衛門
"	42文	酒代	半七
"	48文	こうやく 16 丁	三吹村 儀平
6	80文	ふし 2 ヅ	佐金次
"	72文	こうし 1 升 5 合	"
"	40文	熊手 40 本	儀助
"	200文	いなた 6 本あし 5 本	儀助
10	55文	酒代	半七
12	448文	麻 1 反	"
15	32文	油メちん	芋木村 猶右衛門
17	24文	柿代	甲州人
18	32文	香代	太郎右衛門

9.	22	24文	香代	伊平次
"	"	100文	初穂ニ	多賀御師様
24	24	24文	酒代	半七
29	24	24文	香代	乙事 藤右衛門
"	100文	くわし代	町ニ而	"
10.	5	32文	ごま油5勺	木間村 弥兵衛
"	"	57文	種水1合5勺	"
10	10	50文	わらし5足代	由五郎
3	240文	きぬ糸代	先能村 平右衛門	
14	124文	竹1本	机村 市兵衛	
17	24文	香代	惣次郎	
19	24文	香代	武八	
21	30文	さかな代	半七	
25	24文	たん切代	政右衛門	
28	"	香代	大武川 松五郎	
"	"	"	" 定兵衛	
晦	22文	灯ちんじやばら	儀助	
"	32文	油メちん	芋木村 文次郎	
"	80文	一角丸10位	源右衛門	
11.	4	48文	しやうが代	甲州人
7	100文	清気散代	伊な薬屋 清兵衛	
12	20文	豆腐1丁	岡八	
13	100文	初穂ニ	伊勢御師	
18	200文	いも代	甲州人	
"	8文	す代	儀兵衛	
21	20文	豆腐1丁	岡八	
24	52文	くわし代	用助	
25	40文	酒代	半七	
26	35文	はり代		
"	20文	豆腐1丁	岡八	
27	164文	鯖2本代	葛木江	
29	16文	小さいさる1ツ	作右衛門	
12.	1	12文	初穂ニ 馬屋きとふ	
"	200文	御祈祷御礼おとせ	山神戸村 法印様	
3	1分	薬御礼	白須村 御いしや	
"	32文	印形ちん之内	町判屋江	
"	64文	すわゑひ1升	町	
"	20文	豆腐1丁	岡八	
"	200文	鳥居くわん化	下ノスワ	
5	8文	しらみころし代	小兵衛	
6	20文	豆腐1丁	岡八	

12.	8	12文	大祝様参銭	弥五兵衛
	9	3分預ヶ	大ッ代	かめや長右衛門
	"	100文	泊リ分	いつミヤ利助
	"	300文	出張使物ニ	きふや米吉
	8	32文	油メちん	芋木 猶右衛門
	12	20文	豆腐1丁	岡八
	13	10文	みかん5ッ代	葛木町ニ而
	"	19文	筆1本	伊八
	14	104文	蕎麦2斗引ちん	作右衛門
	15	2朱 510文	あみ代	周蔵
	"	20文	豆腐1丁	岡八
	17	148文	なへ代	原ノ小平次
	"	32文	下駄1足代	作右衛門
	"	200文	かゝみときちん	山浦人
	"	20文	とうふ1丁	岡八
	"	12文	初穂ニ	ふし御師
	20	100文	あふらげ40枚	甲州人
	21	42文	かんさし1本	柏木新田 長右衛門
	22	54文	す9合	つたき 佐金次
	"	138文	花いろ切4尺2寸	"
	24	148文	馬ふせちん乙事へ	平七
	22	124文	紙入代	幸蔵
	27	200文	御年暮	養福院様
	"	1分	手習御礼ニ	文兆
	28	100文	御年暮	半右衛門
	"	60文	浅黄切2尺5寸	由郎
	"	1貫472文	染ちん	山神戸 万之介
	"	48文	初穂ニ	津島御師
	29	548文	古手代	わたや儀助
	"	72文	とうふ拵ちん	藤左衛門
大晦日		4文	いろ紙代	伊八
"		430文	かす代	大武川 定兵衛
"		100文	酒代	源右衛門
"		44文	下駄2足代	伝兵衛
"		3文	参銭	了法院

文化12年-2

月 日	金 額	費 目	支 出 先
1. 26	1匁5分	式分広紙2丈	作次
"	6匁3分	白布1反	"

1. 26	5匁8分	白布1反	作次
"	金1分, 銀4分	さん留1反	かめや平兵衛
"	40文	柿10くし	"
"	200文	男さし足袋	"
"	8分	元ゆい20	忠助
"	118文	ろうそく11丁	いつみやろ
"	124文	かんさし1本	丸やろ
"	100文	龍子丸1包	町ニ而
"	348文	よりこ2わ	眞吉
2. 14	340文	"	つたき 儀助
"	40文	いわし10	"
"	100文	鯉ふし2ツ	"
"	32文	大ばん葛紙1折	"
"	48文	線香5わ	"
19	612文	青布1反	"
"	126文	桃色切3尺8寸	"
"	88文	上中折1状	"
"	130文	氷とふ6連	町ろ
4. 17	100文	割こんふ200め	わたや儀助
"	40文	ヘニおしろい	"
"	48文	丸油3本	"
"	28文	女扇子1対	"
"	44文	竹笠1かい	"
"	136文	大かほちゃ3かい	"
5. 25	70文	そうり10足	儀助
"	95文	女かす5足	"
"	100文	再油5本	"
"	64文	五郎八2ツ	"
"	112文	本山と2丁	"
"	36文	小そうり4足	"
"	100文	青そ38匁	佐金次
"	82文	花染2尺	"
"	464文	もゝいろ1丈4尺	"
"	140文	もみ切1尺8寸	"
"	660文	白布1反	"
"	"	" 二人帯	"
"	676文	"	"
"	638文	"	"
"	"	"	"
"	1貫400文	白布2反	"
"	738文	" 1反 幸蔵分キ用	"

5. 25	200文	中わた	佐金次
"	24文	干物1連	"
"	72文	大葛紙2折	"
28	332文	雛立7尺5寸	"
"	68文	本山と30入2丁	儀助
"	348文	よりこ2わ	"
6. 2	1貫520文	白布2反おぼろ 分	佐金次
"	327文	しほり9尺	"
"	48文	大かほちゃ1かい	"
"	4文	わて1ツ	"
"	12文	よふし	"
"	74文	ちゃせんかんさし1本	"
"	100文	くしやきくし180枚	"
"	68文	本山と2丁	"
"	20文	ちりめん切1寸	"
"	18匁	浅黄嶋1反	"
11	36文	墨1丁	白木や作次
"	45文	"1丁	"
"	154文	鼠染切5尺	"
"	7分8厘	角油6本	"
"	54文	紺嶋1尺2寸	"
"	30文	と1丁30入	かめや忠助
"	24文	さし2本	"
"	4匁5分	こくら男帯1筋	かめや平兵衛
"	132文	馬ノくさり	チノ 広右衛門
"	100文	さしかね1丁	"
"	18文	しらみころし3ツ	とみや常藏
"	13匁8分	紺嶋1反	かめや忠助
20	11匁5分	浅黄嶋1反半之助分	佐金次
"	477文	糸入嶋4尺9寸	"
"	718文	"1丈	"
27	5匁2分	こくら男帯1筋	儀助
"	348文	よりこ2わ	"
"	24文	ましろ60め	"
7. 9	78文	小セった1足 おます	左金次
"	158文	さらし5尺5寸	"
"	80文	丸油5本	"
"	72文	紅染2尺	"
24	2匁6分2厘	紅麻3尺5寸	作次
"	13匁5分	五分帯女半筋	"
"	1匁4分9厘	板ノきぬ2尺3寸	"

7.	24	138文	ろうそく15丁	いつみや 利助
	29	472文	ひとあかつは1ツ	町 小松屋ニ而
	"	30文	本山30入1丁	かめや忠助
	"	48文	ふり出シ8ツ	とみや常蔵
9.	29	7分5厘	中折1丈	作次
	"	4匁	ろうそく64入半50入半	"
	"	5匁2分	手拭1反	"
	"	7分6厘	元ゆい20	"
	"	4分8厘	同上10	"
10.	晦	68文	葛紙2折	つたき 佐金次
	"	48文	きす小杉5わ	"
	"	38文	上半紙1わ	"
	"	15匁	棧留1反	"
	"	1貫432文	白布2反 羽折幸	"
	"	728文	" 1反 おたへ表	"
	"	745文	" " 幸表	"
	"	11匁6分	" 2反 女向表	"
	"	10匁	" " 男女向裏	佐金次
	"	15匁6分	" 3反 子共裏	"
	"	6匁	" 1反おまわ 表	"
	"	548文	女古手1ツ	わたや儀助
13		5分5厘	大板敷1わ	作次
	"	6分9厘	小板敷1わ	"
	"	4分5厘	戸はき1わ	"
	"	6分5厘	角油5本	"
11.	21	112文	ふし2ツ	佐金次
	"	42文	干物3連	"
	"	48文	丸油3本	"
12.	3	1匁1分2厘	中折2丈	白木や作次
	"	9分6厘	紋付惣黒男	"
	"	9分3厘	同断男中弁	"
	"	6分5厘	同赤女小弁	"
	"	1匁3分	角油10本	"
	"	2匁7分	紺さし足1足	"
9		178文	式分広2わ	"
	"	75文	武紙1わ	"
	"	2匁	黒きぬ2尺5寸	"
	"	32文	羽折ひほ1筋	"
	"	11匁5分9厘	真綿85匁	"
	"	18文	大筆1本	"
	"	2匁1分	白木綿半反	"

12.	3	5匁2分	白布1反	白木や作次
"	"	406文	しほり1丈3尺	"
"	"	2匁2分8厘	上中折3丈	忠助
"	"	132文	下駄を2足	"
9	"	5匁2分	白布1反	かめや平兵衛
"	"	8匁5分	ふとん大嶋1反	"
"	"	500文	しほり1丈5尺	"
"	"	1匁2分	染わた1筋	"
13	"	6匁	中わた350め	佐金次
"	"	84文	干物6連	"
"	"	52文	丸小ほん大2枚	"
"	"	70文	手拭1筋	"
"	"	24文	葛引平もとい2わ	"
"	"	74文	ちゃうせんかんさし1本	"
"	"	174文	桃色5尺	"
"	"	149文	黒切5尺	"
"	"	124文	いわし30	"
"	"	84文	ぬりめんは1ツ	"
"	"	78文	ふし1ツ	"
"	"	1分2朱, 524文	塩3俵	"
"	"	208文	割こんふ	儀助
"	"	56文	田作1升	"
"	"	32文	青いた10枚	"
"	"	52文	女くけお2足	"
24	"	84文	袖口3尺5寸	作次
"	"	4分	真糸10	"
"	"	60文	いわし25	金沢 乙十
"	"	72文	いなた1本	"
"	"	140文	牛房代	町 五
"	"	44文	人しん20本	"
"	"	257文	たまり3升	町 源蔵
"	"	84文	ふり出し14	常蔵
"	"	132文	いなた2本	町ニ而
"	"	124文	" 3本	"
"	"	40文	柿10	"
"	"	144文	〃沓トかさ	千の 広右衛門
"	"	16文	黒さどふ	常蔵
"	"	2分, 1匁8分7厘5毛	大ツ3表	かめや長右衛門

文政8年-1

月 日	金 額	費 目	支 出 先
1. 2	86文	酒1升代	
7	48文	伊勢参り銭別	作右衛門
"	200文	万金丹買候頼	
"	24文	香代ニ	大武川 太左衛門
"	328文	紺足袋1足代	甲府若松屋平八
"	100文	油4本代	甲府 藤兵衛
"	124文	あわせと1丁代	くろかねや文右衛門
"	88文	大こんかき1丁代	"
23 1分		よりこ代ニ	乙事 おため
19	12文	ゑひす様初穂ニ遣ス	
20	88文	酒1升	伝兵衛
"	5文	こんにゃく1丁	作右衛門
25	309文	氷豆腐24れん代	松本人五郎
27	100文	ふり出し16	とみや常蔵
29	13文	つけき5わ	鳶木五郎
"	18文	す3合	"
"	36文	水油1合	"
2. 2	550文	小豆代	乙事 源次郎
4	20文	あめ代	清吉
7	32文	油メちん	忠兵衛
"	24文	香代	吉五郎
9	18文	酒代	半七
10 2朱		しやうちやう代之内へ	机村 三右衛門
15	18文	あめ代	清吉
13	20文	とうふ代	為吉
15 2朱		小手沢林木代ニ	乙事 権右衛門
18 1分		こうし代	町ノ忠七
19	10文	こま1合	平兵衛
24	12文	二ノ馬へ参り小使	
21	22文	とうふ代	勝右衛門
27	11文	"	"
28	8文	ねりま大こん種2ツ	中村 磯八
3. 1	16文	菓子代	勘三郎
6	232文	刻こんふ半玉	町ニ而
"	248文	菓子代	"
"	56文	錫2連	"
7	62文	印判代	白木や作次
8	12文	わらし代	上原ニ而
"	48文	こうかけ染代頼払	千五郎

3. 10		148文	明神様小使	勝兵衛
"		64文	"	おみよ
"		48文	"	おすて
"		32文	香代	乙事 繁右衛門
"		48文	明神様へ小使	おます
"		22文	とうふ代	勝右衛門
11		30文	山め代ニたし遣ス	喜平次
15		24文	氏神様へ次湯参銭	
"		30文	氏神祭小使	子供2人
17		22文	とうふ代	勝右衛門
19		36文	山め2ツ代	平七
21		22文	とうふ1丁	勝右衛門
23		32文	油メちん	忠兵衛
"		38文	水油1合	平兵衛
24	1分		ぎんかんさし代江	町裏町 おかよ
"	2朱		頼ちん并喜八分共ニ	町たゝみや繁次
25		70文	山め代	治兵衛
26		78文	"	"
27	1両2分		小手沢林代金こんや分	作右衛門へ渡ス
"		154文	いさる2ツ并そうり代	吉五郎
晦		22文	とうふ代	勝右衛門
"		40文	香代2人江	乙事村 甚兵衛 利助
4. 3		22文	とうふ代	用右衛門
"		46文	酒代	半七
4		160文	よりこ1わ	蔦木 〆
5		260文	溜り3升代	かめや善左衛門
7		700文	麻1反買	若宮 富藏母
8		24文	香代	" 重兵衛
9		"	"	蔦木町 四郎次
13		64文	山め代乙事分	平七
9		232文	2疋かけちん父駒附	
16		130文	いかけちん	吉兵衛
17		106文	蕎麦并小麦引ちん	伝兵衛
20		100文	いろ代	乙事 牛五郎
"		"	香代	孫三郎
23		184文	酒2升	半七
"		40文	やきくし20くし	旅人 〆
"		16文	とうふ代	用右衛門
"		8文	酒代	半七
28		23文	とうふ代	用右衛門

4. 28	8文	あめ代	作右衛門
5. 3	76文	やくくし4くし	旅人 ^ゝ
5	90文	酒1升	伝兵衛
6	"	"	半七
"	24文	あめ代	作右衛門
5. 11	100文	香代	乙事 牛五郎
"	200文	いろ代	"
13	20文	酒代	半七
"	24文	とうふ代	勝右衛門
15	"	"	用右衛門
18	184文	糸とりちん	瀧蔵母
"	32文	油メちん	忠兵衛
16	24文	とうふ代	用右衛門
20	48文	" 2丁	"
"	100文	酒代	半七
22	124文	わらし10足代	小左衛門跡人江
24	24文	とうふ代	用右衛門
6. 13	100文	山め代	治兵衛
"	48文	酒代	半七
3	26文	とうふ代	用右衛門
"	164文	鎌1枚	つたき 佐金次
5	38文	酒代	勝右衛門
6	24文	あめ代	清吉
7	120文	山め代	治兵衛
15	100文	"	治右衛門
14	"	"	治兵衛
15	90文	そば小麦引ちん 2斗代	伝兵衛
17	12文	とうふ代	用右衛門
21	"	"	"
"	5文	あめ代	旅人 ^ゝ
"	264文	溜り3升	かめや善左衛門
23	24文	香代	横吹 勝蔵
29	186文	鎌1枚代	与市
"	300文	薬代	医師
7. 1	25文	蕎麦5升引ちん	伝兵衛
5	64文	三ツくし代	木増 [●] ノ人
"	12文	同1枚	"
"	48文	香代2人	吉五郎, 休戸 谷右衛門
"	36文	秋葉山掛銭	長太郎
3	100文	酒代	半七
"	12文	あめ代	作右衛門

7.	4	12文	養福院様 御布施ニ	
	5	28文	かみたぶ代	旅人
	"	24文	とうふ代	用右衛門
	8	110文	つけうり代	大武川
	"	100文	つかす代	大武川 酒屋
	"	100文	茄子代	甲州人
	9	2朱	染ちん 銭買	山口村 こんや
	"	24文	染ちん	"
	"	1分	薬御礼	大ヶ原宿 医師様
	11	24文	香代	喜平次
	10	57文	明神様行小使	勝兵衛
	"	170文	かま 1 枚代	山神戸
	12	1分2朱	薬御礼	玄台老
	"	64文	6 寸鏡 2 面ときちん	旅人
	"	80文	8 寸鏡 1 面ときちん	"
	"	200文	駄ちんたんす代	金沢 磯八
	13	832文	麻代	内ノ与市
	"	40文	蕎麦 8 升引ちん	作右衛門
	"	28文	小麦 5 升引ちん	"
	12	24文	香代	喜平次
	22	2朱	したてちん 4 ツ分払	町神田平助
	25	470文	机村御頭懸り	弥五右衛門
	25	24文	酒代	文兆
	27	208文	祭礼小使 4 人分	
	晦	214文	茄子247枚	町
	"	20文	酒代	半七
	"	1分	さんとめ代	町さのや弥助
	"	2朱	打千草代	白木や松右衛門
	"	"	染ちん 2 反分	町こんや江戸屋
	"	" 預ヶ置	ひんさし代	升や庄助
	"	148文	半ゑり代	かめや半兵衛
	"	1分	帯代男	"
	"	138文	仕立ちん	神田平助
	"	64文	中折代 隠居分	きふや米吉
	"	332文	溜り払	いつみや利助
8.	5	24文	とうふ 1 丁	用右衛門
	"	20文	香代	乙事 与五右衛門
	8	1貫741文	御頭懸り割	吉五郎
	"	48文	酒代	伝兵衛
	12	20文	香代	乙事 利八
	13	2朱	からかさはりかへ	いもじや新田 惣右衛門

8.	14	1両		帯代之内へ	かめや半兵衛
	15	2朱		酒買差引	酒屋 5
	"		200文	酒代	"
	16		35文	す代	葛木 5
	14		257文	たまり 3 升	かめや善左衛門
	16		24文	たまこ代	小兵衛
	"		200文	松たけ代	勘三郎
	"		12文	わらし代	与市
	"		148文	くわし代 2 度分	清吉
	17		500文	祝儀ニ遣ス乙事へ	男 5 人
	"		12文	わらし代	平右衛門
	29		200文	おしおく 24本代	花ば 武右衛門
9.	3		208文	茶 2 斗買	甲州人
	"		378文	同茶 6 斗	"
	7		34文	女中ぬき 2 足	葛木 5
	12	1分		多賀御師様 勝兵衛御祈 梅御礼	
	"		100文	" 初穂ニ	
	"		15文	ふし代	葛木 5
	"	2朱		御布施	三光寺
	14		52文	とふふ 2 丁	勝右衛門
	15		200文	御布施	養福院
	"		28文	小麦 5 升引ちん	作右衛門
	20		45文	こま之油代	葛木 5
	25		20文	香代	乙事 伝右衛門
	29		24文	柿代	平岡人
10.	4		12文	す代	伝兵衛
	14		424文	左官殿へ遣ス 御蔵ぬり ちん	原ノ茶や 小平次
	16		48文	しやうか300め	甲州人
	17		24文	香代	芋木 治郎右衛門
	"		"	"	" 勘七
	23		12文	ミたけ御師 初穂ニ	
	24		20文	香代	乙事 槇右衛門
	28		24文	"	先能村 勘五郎
	晦		20文	"	乙事 善次
11.	4		356文	糸染ちん	山口 こんや
	8		24文	香代	大武川 彦蔵
	10	2朱		葉代	葉や弥兵衛
	13		24文	とうふ 1 丁	用右衛門
	"		39文	酒代	半七

11.	16	100文	伊勢御師 初穂ニ	伊奈薬や清兵衛
	15	"	清気散 2 包代	旅人 5
	17	20文	なし 5 ツ	用右衛門
	20	22文	とうふ代	おたゑ
	"	466文	糸染ちん山口へ遣ス分	清吉
	27	8文	あめ代	若宮 おたや
	29	672文	麻 1 反	弥五右衛門
	"	16文	参銭遣ス大祝様	机村 又右衛門
	24	80文	油メちん	
12.	5	48文	津嶋御師 初穂ニ	与之助
	6	24文	香代	松本山辺幾五郎
	1	348文	鍋 1 ツ代	かめや小七
	9	232文	肴代	嶋や 5
	"	64文	油 2 本	いつミや弥兵衛
	"	232文	樽代	清水町 五郎兵衛
	"	20文	山婦来代	"
	"	100文	ふり出し 20ふく	とみや左兵衛
	"	84文	干物 6 れん	白木や五兵衛
	"	112文	わた代もんは	神戸ニ而
	"	18文	茶ほうし	座当衆へ
	10	200文	はいとうやへ遣ス祝儀ニ	用右衛門
	19	72文	豆府拵ちん	乙事 忠左衛門
	"	24文	香代	
	"	12文	ふじ御師 初穂ニ	清吉
	21	16文	くわし代	乙事 牛五郎
	23	2朱	位はい代之内へ	甲州人
	"	100文	山いも 580め	いもじ吉兵衛
	25	32文	なへはそん	平岡村 亀三郎
	26	148文	手桶 1 ツ代	乙事 利助
	"	200文	馬ノ礼ニ遣ス	つたき 佐金次
	27	84文	鯖 3 本	"
	"	75文	武紙 1 丈	惣七
	27	253文	もゝいろ切代	"
	"	48文	くるま 2 ツ代こんや分	半七
	28	424文	年賦金寄合之節酒 3 升代	"
	"		勘三郎持参	"
	"	16文	酒預々之わめニ遣ス	大武川 五左衛門
	"	100文	薬御礼	忠七
	29	200文	馬ふせちん乙事分	治右衛門
	"	64文	はと 1 わ代	養福院
	"	300文	御年暮	

29		200文	足袋 1 足男分	乙事 三郎兵衛
"	1分	195文	染代	乙事 豊吉
大晦日	1分1朱		薬御礼	玄台老
"		56文	下駄代 おため分	
"		4文	いろ紙代	伝兵衛
大晦日		132文	酒代	半七
"		8文	けんひきもみちん	権右衛門
"		3文	参銭	了法院

文政8年-2

月 日	金 額	費 目	支 出 先
1. 7	1分2朱, 5匁6分3厘	塩 3 表代	正 5
8	1匁9分	守袋 1 ツ	"
"	48文	ちりめん 2 寸	"
"	30文	はふぎ紙 20	"
"	124文	茶わん 5 ツ	"
"	86文	切 2 尺 6 寸	"
"	17文	打ひほ 5 尺 8 寸	"
12	312文	よりこ 2 わ	"
"	142文	あかね 4 尺 3 寸	"
"	272文	木綿半反	"
"	18文	す 3 合	"
20	42文	こま 5 合	"
"	30文	ふのり半枚	"
"	154文	よりこ 1 わ	"
"	"	"	"
"	54文	田作り 1 升	"
"	18文	す 3 合	"
2. 24	5匁9分	白布 1 反	"
"	6匁	青 1 反	"
"	3匁6分	くろ半反	"
"	81文	鼠半切 3 丈	"
"	100文	元ゆい 20	"
"	18文	切元ゆい 1 わ	"
"	6文	かと石 3 ツ	"
"	17文	干物 1 れん	"
"	22文	男かず 1 足	"
"	48文	柿 10 くし	"
"	100文	畳糸 40 め	"
"	56文	鎌から 1 丁	"

2.	27	1匁9分	盃 2 ツ	町白木や太助
"	"	36文	茶たい 1 ツ	"
"	"	26文	ちゃうちんくきり 1 ツ	町いつみや幸左衛門
"	"	11匁4分	さらさ染 1 反	かめや半兵衛
"	"	2匁5分	人參 2 匁	町とみや
3.	10	12匁9分5厘	龍きゅう 7 枚	正 5
"	"	35文	そうり 1 足	"
"	"	84文	いなた 1 本	"
4.	9	4匁1分5厘	金きん半反	"
"	"	468文	鍬 1 丁	"
"	"	114文	木鎌 1 丁	"
"	"	5文	かつら 1 ツ	"
"	"	12文	ひうしき 6 本	"
"	"	200文	大かほちゃ 4 かい	"
"	"	12文	わて 4 ツ	"
"	"	8文	菓子代	"
"	"	2朱	よりこ	"
5.	18	2匁7分5厘	しほり半反	"
"	"	18文	そうり 1 足	"
"	"	33文	茶たい 1 ツ	"
"	"	55文	白す 1 わ	"
"	"	12文	本たわら代	"
"	"	20文	ほし大こん	"
"	"	48文	氷こんにゃく	"
"	"	1匁	小袖綿代	"
"	"	200文	染 6 尺	"
"	"	10匁6分	木綿 2 反	"
"	"	160文	本山と 3 丁	"
"	"	1匁2分	大筆 1 本	"
"	"	24文	ふ 20	"
"	"	14文	水引代	"
"	"	22匁	嶋 2 反	"
"	"	68文	すり鉢 1 ツ	"
19	"	12文	大釘 3 本	"
"	"	14文	同取合 10 本	"
"	"	130文	まころ 220 め	"
22	"	27匁1分6厘	打綿 1 貫 900 め	"
"	"	21匁	大嶋 2 反	"
"	"	200文	鎌 1 枚	"
7	"	2朱	白布 1 反	和吉
29	"	2匁3分	飯つぎ 1 ツ	はかまや徳次

5. 29	1分2朱	惣くろわん10人前	ふしミヤ直助
"	1匁3分	かゝみ立1ツ	"
"	2分, 4匁	たんす1ツ	町 徳次
"	2分, 2匁	ちりめん小袖1ツ	"
"		しやうす1ツ	町 庄内
"	5匁7分	ろうそく1箱50入	作次
"	4匁2分	かんさし, ひんさし	町 庄助
"	59匁	帯1筋	半兵衛
"	1分	ぎんかんさし1本	町 6
"	" 1匁	さんとめ1反	町 弥助
"		切4尺	" 作次
"	2朱, 1匁5分	古わた代	" 徳次
6. 3	164文	しほり4尺	正 6
"	30文	糸代	"
"	10文	そうり	"
"	100文	くわし代	"
"	164文	かま1枚	"
"	5文	かつら代	"
15	18匁	さんとめ1反	"
24	206文	もゝいろ5尺3寸	"
"	82文	油6本	"
"	124文	茶わん5ツ	"
"	36文	" 3ツ	"
"	26文	さかつき1ツ	"
"	72文	ふし1ツ	"
"	69文	と2丁	"
"	11文	引て1ツ	"
"	6匁5分	茜1反	"
"	300文	からかさ1本	"
"	24文	油1本	"
21	16文	くわし代	"
26	200文	せつた1足	"
"	54文	真糸9つ	"
"	18文	す3合	"
"	70文	さらし2尺5寸	"
7. 5	8匁7分	古綿代	"
"	5匁1分	白布1反	"
"	48文	笠1かい	"
8. 7	8分5厘	七子1尺4寸	"
"	45文	笠1かい	"
"	200文	中わた96匁	"

8. 7		706文	茜 1 反	正 5
8. 13	5匁8分		しほり 1 反	"
"	2匁2分		" 1 丈	"
"	2匁9分5厘		" 9 尺	"
"		573文	足袋 3 足	"
"		54文	小足袋 1 足	"
"		24文	かうし 2 合	"
"		214文	小足袋 2 足	"
"		68文	茶染 2 尺	"
"	5匁7分4厘		金巾 1 丈 6 尺 4 寸	"
"		155文	女足袋 1 足	"
"	2朱		真綿 56匁	"
"		144文	いなた 2 本	"
"		36文	ふ 30	"
"		68文	切 2 尺 5 寸	"
"		72文	くすのこ 3 合	"
"	4匁6分		小杉 2 丸	"
"		64文	五郎八 2 ツ	"
"		37文	こま油代	"
28		49文	そうり 7 足	"
"		60文	麻 2 尺 5 寸	"
"		55文	水油 1 合 5 匁	"
13	1分		男帯 1 筋	かめや半兵衛
9. 12		55文	こま 5 合	正 5
"		48文	油 3 本	"
"		24文	くわし代	"
"		18文	す 3 合	"
22	2朱		真綿 59匁	"
"	3匁8分		くろ切半反	"
"		200文	中わた 98匁	"
"		148文	すり鉢 1 ツ	"
"		28文	熊手 28	"
"		48文	そうり 1 足	"
"		10文	にしん 5 本	"
10. 13		27文	ふのり半枚	"
23		148文	こうし 2 袋	"
"		100文	塩 2 升	"
"		124文	いなた 1 本	"
11. 22		500文	棧留 8 尺	"
"		108文	白切 4 尺	"
"		40文	糸水 1 合	"

11. 22	732文	さらさ染1丈5尺6寸	正5
12. 7	10匁6分	嶋1反おみよ表分	"
"	7匁2分	花いろ1反)	"
"	7匁4分	" 1反) 兩人下女裏□	"
"	7匁4分	同 1反 のりなし おいわ分	"
"	300文	中わた150め	"
"	65文	油5本	"
"	44文	元ゆい10	"
"	19文	切元ゆい	"
"	32文	筆1本	"
"	28文	" 1本名入	"
"	16匁8分3厘	142文 離立1ツ代	"
"	72文	白切3尺	"
"	194文	ゑ水4合7勺5才	"
"	42文	真糸7ツ	"
"	1匁3分	さらし麻2尺9寸	"
"	636文	青1反	佐金次
"	12匁8分	嶋1反 勝兵衛分	"
"	1貫12文	" " おすて分	"
"	672文	麻1反	若宮 おたや
9	2朱	山帰来半斤	町 とみや6
"	100文	ふり出し20	"
"	112文	もんはわた代	町ニ而
"	56文	田つくり1升	小七
"	72文	すわゑひ1升	"
"	84文	干物6れん	とみや友之丞
"	64文	上油2本	嶋や
"	1匁9分5厘	上中折3丈	作次
"	9分4厘	中 " 2丈	"
"	1匁5分	守袋1ツ	"
"	6匁4分9厘	嶋切1丈6尺5寸おすへ 着物	"
"	284文	紺甲かけ1足	亀半5
"	7匁4分8厘	郡内嶋8尺5寸	"
"	5匁8分5厘	花いろ9尺	"
"	1匁2分1厘	もみ2尺2寸	"
"	7分1厘	黒きぬ2尺1寸半巾	"
"	84文	中わた 真わた	"
"	100文	鯖1本	小七
"	34文	ひやう釘24本	白木や五兵衛

12. 9		106文	紅染 3 尺 2 寸	白木や五兵衛
12. 25		52文	丸小ほん 2 ツ	正
"		"	油 4 本	"
"		4文	はり 2 本	"
"		6文	ふし 2 袋	"
"		82文	武紙 1 丈	"
"		32文	かす 2 足	"
"		100文	柿 20 くし	"
"		35文	青いた 1 わ	"
"		148文	いわし 30	"
"	9分6厘		紅 1 尺 6 寸	"
"		106文	くろもんは 1 ツ	"
"		190文	鼠男足袋 1 足	"
"		64文	重 2 ツ	佐金次
"		82文	武紙 1 丈	"
"		208文	定腕女 2 ツ	"
"		187文	まくろ代	"
"		154文	鯖 5 本	"

天保 6 年 - 1

月 日	金 額	費 目	支 出 先
1. 3	100文	薦木宿三光寺へ 御年始ニ	薦木宿 扇子や佐金次
"	1朱	よりこ代	"
"	80文	干物 5 れん代	"
7	32文	伊勢参り銭別	喜八
"	24文	"	弥五兵衛
"	"	"	長左衛門
"	15文	とうふ半丁代	源右衛門
9	42文	かきのかわ代	甲州人
13	12文	道祖神様ノ祝	子供へ
14	32文	とうふ 1 丁代	小兵衛
15	20文	勘次郎下太 1 足代	忠七
14	3文	参銭	
18	25文	蕎麦 5 升引ちん	衆蔵
"	12文	ゑひす様 御初穂ニ	
23	3文	参銭	
29	16文	ねりま大こん種	山浦ノ人
"	8文	" 立沢分	"
"	60文	牛房種 1 合	"

2.	4	32文	津嶋様 御初穂ニ	
	5	24文	長左衛門へ香代	
	7	200文	米豆腐10れん代	松本人
	9	16文	とうふ半丁代	小兵衛
	14	32文	油ノちん	机村 三右衛門
	13	"	使糸染ちん	忠助
	14	16文	たんきり代	清吉
	18	14文	去冬下太代	忠七
	"	32文	" 2足代	源次郎
	23	314文	溜り3升代	上ノスワ河内や長左衛門
	24	4文	ふのり代	葛木方
	25	24文	林右衛門へ香代	
	27	72文	扇子2対代	上ノスワ白木や太助
	"	70文	皿10枚代	" いつミヤ幸左衛門
	"			町ニ而
	"	138文	いなた1本代	"
	"	100文	菓子代	"
	"	8文	ざ1ツ代	"
	"	1分2朱	赤なべ代ニ預ケ置	町ふじや伊助
晦		32文	とうふ1丁代	岡八
帳落分		12文	たんきり代	清吉
3.	1	28文	中ぬき1足代	文吉
	"	20文	くわし代	商人5
	4	48文	勧化 教廣寺	
	5	20文	乙事村 嘉左衛門へ香代	
	7	200文	うすほりちん	若宮新田 半兵衛
	14	16文	とうふ半丁代	岡八
	15	25文	蕎麦引ちん	藤左衛門
	"	91文	教来石村狂言ニ参り小使	勝兵衛 おすへ
	17	148文	おさの代	みの之人
	19	48文	あかなへ代残り遣ス	町ふしや伊助
	20	3朱	木引ちん并時かし利足差引ニ而	花場新田 茂兵衛
	19	132文	からかさはりちん	山浦人
	23	3文	参銭	
	19	15文	蕎麦引ちん	藤左衛門
4.	2	60文	酒代	半七
	3	16文	糸染代 おすへ	こんや忠助
	4	408文	ほとけ様せん2枚拵代	(木曾)ぬり物師善之丞
	5	64文	なへ井とうひんいかけちん	甲州人
	7	34文	とうふ1丁代	用右衛門

4. 9		16文	とうふ半丁代	小兵衛
"	1朱		おきやう七廻忌御布施	鳶木宿 三光寺
"		580文	小麦 5 升代	神代村 友次郎
13		25文	蕎麦 5 升引ちん	桑蔵
"		22文	小麦 4 升引ちん	"
"		112文	酒 1 升代	半七
14		48文	うと 1 升代	"
"		24文	かす代	"
15	1朱, 272文		麻 1 反代遣ス	乙事村 三郎兵衛
"		132文	とうふ 4 丁代	小兵衛
16		24文	芋木村 忠兵衛へ香代	
"		100文	養福院様 御布施	
17		48文	忠兵衛へ香代	
16	1朱, 28文		脇さし拵ちん	町道具や金左衛門
"		192文	大板敷 2 わ, 小板 1 わ	ふしや伊助
"	1朱, 201文		からかみ 136枚	小和田ニ而
"		100文	おきやう七廻忌ニ付遣ス	配当屋へ
"		"	め薬代	町ニ而
21		348文	溜り 2 升 8 合代	町河内や長左衛門
"		372文	" 3 升代 乙事源次郎分	"
23		3文	参銭	
25		14文	麻使糸染ちん	こんや忠助
27		66文	手習始ニ付酒肴代	子供兩人
26		7文	はり 2 本代	用右衛門
5. 3		24文	香代	清右衛門
"		"	"	先能村 権右衛門
"		232文	あたこ山 初穂ニ	
"		24文	" " 隠居分	
4		3文	" 火ふせ	八十五郎
"		12文	麻使糸染代	こんや忠助
"		38文	酒さかな代	用右衛門
5		16文	とうふ半丁代	小兵衛
6		48文	せんへい代	清吉
"		24文	香代	大武川村 長兵衛
"		"	"	宇八
7		808文	麻こいの代	巳之助
11	3分		頼ちん内へ遣ス	平岡村石屋源蔵
13		132文	酒 1 升代	半七
23		3文	参銭	
29		66文	酒 5 合代	半七

5.	29	180文	かま 1 枚代 巳之助分	山神戸かしや藤吉
	"	"	" 勘次郎分	"
	"	25文	蕎麦 5 升引ちん	糸藏
6.	1	75文	明神様へ参り小使	勝兵衛
	"	12文	うちへ 1 本代	金沢 = 而
	"	3朱	せき板代	大工与三郎渡ス
	2	24文	香代	宇助
	7	82文	せき板代残り遣ス	休戸村 源藏
	"	12文	酒代	半七
	8	300文	三光寺真牛僧 長老 = 相成候 = 付隠居と両家 = 而遣ス	
	"	1分	馬ひへ 1 駄代 但シ 5 斗入	立沢村 市右衛門
	12	32文	とうふ 1 丁代	小兵衛
	15	25文	蕎麦 5 升引ちん	作右衛門
	16	32文	酒代	半七
	17	68文	糰 1 升代	町こうしや忠七
	"	112文	まくろ代	商人
	18	24文	香銭	勘右衛門
	20	1朱	頼ちんへ遣ス	さし物や慶次郎
	24	1分	いろいろぬり物代内へ遣ス	木曾ぬり物屋善之丞
	"	48文	やきくし代	商人
	28	32文	油メちん	机村 三右衛門
7.	6	24文	酒代	半七
	8	237文	小せきた 1 足代	茅野 = 而
	"	65文	酒 5 合代	半七
	9	17文	とうふ半丁代	用右衛門
	"	39文	酒 3 合代	半七
	12	2朱	頼ちん内へ遣ス	大工与三郎
	13	1朱	半之助重藏兩人御礼	御師匠様
	"	1分	薬御礼隠居分共 =	玄台様
	"	2朱	277文 いろいろ拵ちん并ぬり物ちん江遣ス	ぬり物屋善之丞
	"	60文	やきふ 30	葛木 〆
	"	30文	せん香 5 わ	"
	"	66文	なす 30代	半七
	15	68文	ふり出シ代	上嶋 長右衛門
	18	2朱	大武川村福泉寺様 御祈禱御礼	
	"	100文	瀧之前法院様 御礼	

4. 19	24文	香代	机村 喜三郎
23	7文	こくろ蔵様へ参り小使	勝兵衛
23	41文	使系染代隠居	こんや忠助
24	116文	らくわん1斤代	町ニ而
"	108文	さしさば代	"
"	80文	はそりかさ2かい代	"
"	18文	女中ぬき1足代	"
25	3文	こくろ蔵様へ遣ス	八十五郎
"	50文	蕎麦1斗引ちん	糸蔵
27	308文	原山祭へ参り小使	
29	32文	酒代	半七
聞7. 1	48文	狂言ニ参り小使	おすへ
2	378文	溜り3升1合代	亀屋善左衛門
"	116文	狂言小使	勝兵衛
4	24文	香代	乙事村 仁助
15	100文	つけうり10代	葛木
16	36文	ころ八1ツ代	金沢ニ而
17	16文	酒代	半七
21	100文	茶7升代	甲州人
23	39文	あさもめんきぬ使系代遣ス	忠助
25	124文	ふし1本代	菖蒲沢人
26	200文	法事ニ付隠居	町神田久四良
27	"	神宮寺村御薬師様 勸化世話人ニ付	
"	24文	神宮寺村御薬師様 勸化世話人ニ付 隠居分	
28	100文	山め代	治右衛門
8. 5	24文	くわし代	清吉
"	76文	ゑひ1升代	旅人
10	18文	とうふ半丁代	小兵衛
11	30文	先せい送り参り小使	重蔵 勘次郎
"	100文	若キ者へ花ニ遣ス 隠居	
"	2朱	狂言割合内へ遣ス	勘次郎
12	100文	"	"
15	"	茶8升代	甲州人
"	"	狂言ニ付花ニ遣ス	山神戸 与三郎
"	48文	右同断小使	勝兵衛
16	372文	河内や長左衛門	金沢宿 磯八
"	48文	山神戸狂言ニ参り小使	おうた
18	3朱	頼ちん遣ス	横吹 桶屋勝蔵

8. 20	2分2朱	隠居つは山拵ちん遣ス	烏帽子新田 常三郎
9. 3	2分	明神様勅化世話人ニ而出 シ越之分	清吉
4	100文	多賀御師 初穂ニ	
5	12文	酒代	半七
"	2朱, 54文	かがみの1ツ代	商人5
"	148文	かわご1ツ代隠居ニ而	松本人
8	100文	しやうか500め代	甲州人
9	1分1朱	隠居から紙はり并ひやう ふはり頼ちん	けん次郎
"	100文	茶5升5合代	甲州人
14	25文	蕎麦5升引ちん	作右衛門
17	28文	酒2合代	半七
27	1両	大池新田 政右衛門 母 不幸ニ付香代	
28	32文	とうふ1丁代	小兵衛
10. 1	100文	茶代	甲州人5
4	24文	香代	芋木村 奥右衛門
5	100文	御布施	養福院様
"	"	とうふ1箱拵ちん	小兵衛
"	72文	蕎麦1斗, 小麦4升引ち ん	衆蔵
7	148文	酒1升代	半七
8	100文	こまのくち遣ス	小左衛門
"	"	明神様へ参り小使	おすへ
"	24文	香代	政兵衛
"	"	"	芋木村 染右衛門
"	"	"	机村 清七
16	8文	かうやく代	作右衛門
"	24文	香代	伊平次
18	2朱	茶半立代	甲州ときわ村 茶売平蔵
19	112文	糀1升6合代	町なんふや
"	228文	武紙2丈代	白木屋作之助
"	68文	筆3対代	"
20	100文	寺院ニ付隠居5	大武川 福泉寺
22	16文	かうやく代	こんや忠介
11. 3	32文	油ノちん	机村 三右衛門
4	2朱	糸染ちん遣ス	隠居
"	48文	いろ紙代	机村5
"	14文	とうふ半丁	源右衛門
"	42文	酒3合代	半七
5	14文	とうふ半丁	源右衛門

11.	6	84文	炭 1 表代	介右衛門
	7	36文	秋葉山掛銭	半右衛門
	8	262文	薬代	日野 薬屋弥兵衛
	9	400文	嘉市郎死去=付寺送り	葛木宿 三光寺
	"	75文	小足袋 1 足代	葛木宿 正政次
	10	123文	蕎麦 1 斗 5 升引ちん、餅 米 1 表つきちん	条蔵
	"	27文	小麦 5 升引ちん	作右衛門
	"	48文	あみだ様 御礼せん香代 として遣ス	
	11	200文	御布施	養福院様
	"	80文	酒 6 合代	半七
	"	"	とうふ 3 丁代	小兵衛
	"	250文	糸染代かし	立沢村 弥左衛門
	13	100文	伊勢御師様 御初穂=	
	"	300文	重蔵御祝儀として遣ス	清吉
	14	12文	嘉市郎虫かじ御守御返ス =付	瀧之前 法院様
	15	1貫文	嘉市郎薬御礼	芋木村 御医師様
	"	1分	" "	玄台様
	"	100文	" 御礼	隠居 次兵衛
	18	14文	とうふ半丁代	小兵衛
	20	100文	かんびやう 1 わ代 隠居 と町内へ不幸=付遣ス	町=而
	"	68文	つむ 1 本代	"
	21	64文	けさん 1 丁代	"
	"	1朱	山きれい代	町森田屋五郎兵衛
	"	1朱	ろうそく 1 箱代 金沢万 や=而買 65丁入	松本人
	24	2朱	隠居と御祝義として遣ス	乙事村 源次郎
	25	12文	ほうそう神様へあけ候分	半右衛門
	28	24文	香代	忠右衛門
12.	1	32文	糸染ちん	忠助
	5	12文	柿代	半七
	7	284文	ふとんわた 1 ツ代	甲州人
	"	100文	つむ 1 本代	商人
	10	16文	小下太 1 足代	源次郎
	11	12文	ふじ御師 御初穂=	
	"	1朱	薬代	富山 薬屋佐助
	12	248文	嶋 1 反おりちん隠居分	おそへ
	13	12文	溜り代	半七
	15	22文	柿 2 くし代	"

12.	15	8文	大祝様 御初穂ニ	
	18	15文	とうふ半丁代	小兵衛
	17	345文	溜り2升8合代	町亀や善左衛門
	"	700文	武紙6丈代	立沢人
	"	45文	いわたし10代	"
	19	16文	酢代	用右衛門
	"	30文	とうふ1丁	小兵衛
	20	16文	しらみころし代	町大津屋
	"	20文	大れん粉代	町とみや
	"	230文	千草6尺	町白木屋作之助
	"	34文	青茶1尺4寸有切	"
	21	224文	嶋4尺代	"
	"	200文	"3尺5寸代	町ニ而
	"	95文	干物5れん代	"
	23	248文	染ちん代	乙事 豊吉
	19	32文	油メちん	机村 三右衛門
	26	200文	梅4升代	木之間 おふて
	27	258文	まくろ代	山神戸人
	"	3朱	御師匠様 半之助、重蔵 兩人御礼	
	"	148文	馬ふせちん	林右衛門
	28	200文	養福院様 隠居5御年暮ニ	
	"	100文	養福院様 御年暮ニ	
	29	222文	薬御礼20分	玄台様
	"	1分	右同断	"
	"	132文	山神戸江柿買礼ニ致候代遣ス	清吉
大晦日		1貫209文	染代差引ニ而	忠助
"		183文	はそん差引ニ而	善之丞

天保6年-2

月 日	金 額	費 目	支 出 先
1. 3	31文	袖口1尺7寸	ツタキ正
"	47文	" 上1尺7寸	"
"	116文	□1口	"
"	92文	ふし1ツ	"
22	1匁7分	薄は1丁	ふじや伊助
"	1匁8分	さしみ1丁	"
"	2匁4分	蕎麦切1丁	"
"	15匁2分	大やくわん1ツ	"

1. 22	2匁2分	ほうろく1ツ	ふじや伊助
"	32文	つる1ツ	"
"	32文	小十のう1ツ	"
"	2匁4分5厘	内津半斤	白木や作之助
"	2匁	けた茶1斤	"
"	136文	手拭2筋	"
"	1匁5分	大はん葛紙半束	"
"	1匁7分	板メちりめん1尺	"
"	7匁3分5厘	" 3尺5寸	"
"	11匁	打千草1反	"
"	3匁6分	ふとり3尺	"
"	2匁5分6分	しほり7尺1寸	"
"	2朱	よりこ4わ半	"
"	38文	こおろう立1ツ	白木や左助
"	1匁1分	小肴鉢1ツ	"
"	1匁1分	同角鉢1ツ	"
"	1匁1分	かんとくり1ツ	"
"	1匁1分	守袋1ツ	"
"	32文	ひほ代	"
"	48文	上扇子1対	"
"	140文	中折2丈	"
"	176文	上中折2丈	"
"	4匁6分	さいかく2匁3分	とみや勘右衛門
"	1朱	一角5分	"
"	5匁	山婦来半斤	"
"	1匁2分	鼠半紙1わ	作右衛門
"	116文	武紙1丈	"
"	190文	わたほうし1ツ	上原ニ而
"	2匁	からかさ1本	茅野ニ而
"	212文	中折3丈	今橋ニ而
"	38文	せんす1対	"
"	200文	麻8尺	ツタキ正
"	212文	足袋1足	"
"	24文	扇子1対	"
2. 23	70文	桃色2尺	"
"	300文	真綿17目2分	"
"	52文	元ゆい10	"
"	225文	紅絹3尺5寸	"
"	187文	紺小足袋1足	"
"	168文	白(小足袋カ)1足	"
"	18文	切元結1わ	"

2.	23	24文	つけ木10	ツタキ5
	24	1分2朱, 248文	塩2俵	"
2.	29	21匁5分	きぬ帯1筋	白木や作之助
	"	16匁5分	"	"
	"	14匁8分	棧留1反	"
	"	11匁	打千草1反	"
	"	3匁2分	小杉1銅	"
3.	5	53文	麻2尺2寸	正5
	"	168文	足袋1足	"
	"	2匁4分7厘	花いろ6尺5寸	"
	"	4匁6分2厘	茜1丈4尺	"
	"	2匁	手塩10枚	"
	"	34文	茶わん1ツ	"
	"	24文	いわし5ツ	"
	"	49文	油1合	"
	"	50文	くろ半1尺7寸	"
	"	70文	"	"
	"	1匁8分5厘	七子半3尺9寸	"
13		100文	いわし20	"
"		42文	とりかい20	"
15		76文	はふき1かけ	"
5		200文	中わた 32匁 45匁	佐金次
"		249文	白切1丈1尺5寸	"
19	2朱		よりこ4わ20め	作之助
"	1朱		同 2わ10匁	"
"		200文	中わた86匁	"
"		114文	武紙1丈	"
4.	9	78文	かんひやう1わ	正5
"		624文	麻1反	"
"		64文	青いた2わ	"
"		24文	ふで2本	"
"		26文	油1本	"
"		10文	本表2わ	"
"		61文	大板1わ	"
"		76文	小板1わ	"
"		22文	三ま20本	"
"		540文	からかさ2本	"
"		124文	小から1本	"
"		92文	はそり2かい	"
"		136文	太□3かい	"
"		16文	わて4ツ	"

4.	9	488文	種水 1 升	正6
"	"	24文	小かす 2 足	"
"	"	16文	中ぬき 1 足	"
"	"	21文	す 3 合	"
17	"	184文	紅染五尺	作之助
"	"	300文	しほり 7 尺 6 寸	"
"	1匁9分3厘	"	" 3 尺 5 寸	"
"	9匁9分6厘	"	かんさし 1 本	町 善右衛門
"	1匁4分	"	かこ帳 1 冊	"
2.	23	15匁7分	棧留 1 反	ツタキ 扇屋
"	"	10匁	吟花通 1 反	"
5.	6	228文	千草 5 尺	つたき町 左金次
"	"	129文	ふし 1 本	"
19	7匁2分	"	くろわん 10 人前	"
"	"	188文	よりこ 1 わ	"
"	"	124文	三度かさ 1 かい	"
6	"	236文	と 3 丁	正6
"	"	78文	鎌 1 丁	"
"	"	38文	油 2 本	"
"	"	24文	" 1 本	"
"	"	34文	みゝふし 20 め	"
"	"	48文	白さとう 25 匁	"
"	"	16文	くろ 同	"
"	"	36文	男かつ一足	"
"	"	32文	女 二足	"
"	"	200文	まくろ代	"
"	"	4文	角石	"
19	"	460文	種水 1 升	"
"	"	100文	鮪 140 め	"
16	"	232文	鎌 1 丁	立沢 市右衛門
"	"	88文	まくろ	"
"	"	100文	こんふ代	"
29	3匁 6分	"	ろうそく半箱	"
6.	10	124文	ふし 1 ツ	佐金次
"	"	100文	とりかい	"
"	"	9文	ふしのこ	"
15	"	210文	かま 1 丁	"
"	"	37文	と 1 丁	"
29	"	416文	かふし嶋 9 尺 3 寸	"
"	"	179文	くろ 4 尺 6 寸	"
"	"	166文	もゝいろ 4 尺 5 寸	"

6. 29	571文	きぬ1丈2寸	佐金次
"	84文	手拭1筋	"
"	68文	手拭1筋	"
"	66文	と1丁	"
"	54文	"	"
"	58文	元ゆい10	"
"	18文	水入1ツ	"
"	51文	そうり3足	"
"	2匁4分	せつた1足	"
"	104文	"	"
"	112文	くわし	"
"	11匁1分	嶋1反	"
"	12匁	"	"
"	11匁8分	"	"
7. 6	1貫50文	浅黄形付1反	"
"	20文	たふ1ツ	"
"	1匁7分	小倉□5尺2寸	正5
"	118文	油6本	"
"	52文	"2本	"
"	8文	ふのり	"
"	24文	□2□	"
"	54文	こま3合	"
"	48文	さとう25匁	"
"	10文	糸2ツ	"
"	115文	武し1わ	"
"	25文	色紙15	"
"	78文	田作1升	"
"	51文	中ぬき3足	"
"	28文	"1足	"
"	74文	手拭1筋	"
"	7分6厘	紺嶋麻8寸	"
"	114文	筆10本	"
"	230文	種水5合	"
"	402文	白切代	"
"	11匁8分	嶋1反	"
"	267文	□染7尺2寸	"
"	7匁6分8厘	嶋1丈6尺	"
"	59文	くろ半2尺5寸	"
18	29文	中ぬき1足	"
"	60文	ふし1ツ	"
"	212文	手拭3筋	"

閏7. 21		468文	種水 1 升	正5
"		40文	ふ20	"
"		200文	生ふ 1 升	"
29		57文	" 3 合	"
"	1匁5分2厘		紙40枚	"
6		300文	塩 5 升 4 合	佐金次
"		25文	油 1 本	"
"		38文	" 2 本	"
21	2朱	468文	離立 1 ツ	"
"		169文	もみ 2 尺 2 寸	"
"		21文	真糸 3 ツ	"
"		489文	棧留 7 尺 5 寸	"
"		400文	よりこ 2 わ	"
"	3匁		薬代	"
"		24文	耳ふし	"
"		40文	氷とうふ	"
"		19文	男そうり	"
"		48文	まくろ	"
8. 2	3匁		薬代	"
27		66文	3 寸釘 6 本	"
"	2朱	88文	花いろ 1 反	"
"		848文	" "	"
"	2朱	80文	" "	"
"	"	64文	" "	"
"	"	108文	" "	"
"	"	64文	" "	"
"		972文	青 1 反	"
"		888文	" "	"
"		912文	" "	"
"		90文	茶 2 尺 8 寸	"
"		243文	形付 5 尺 9 寸	"
"		78文	すみ 1 丁	"
"		44文	まくろ	"
"	3朱	64文	古中わた	"
1		40文	□50本	正5
"		172文	引手14	"
"		72文	3 寸60本	"
"		112文	稲田 5 本	"
"		78文	手拭 1 筋	"
2		12文	かいかう 1 本	"
"		100文	こんふ	"

8. 2		100文	さとう	正5
"		100文	くわし	"
"		60文	落雁	"
"		79文	手拭 1	"
"		172文	ふし 1 ツ	"
"		100文	鳥貝	"
"		34文	女中ぬき 2	"
"		172文	女たひ 1	"
"		48文	さとう	"
"		6文	糸 1 ツ	"
"		60文	するめ 1	"
"		51文	そうり	"
14	2朱	48文	塩半表	"
"		144文	4寸釘50本	"
28		224文	手拭 3 筋	"
"		68文	" 1 "	"
"		38文	とうしん	"
"		38文	女そうり	"
"		5文	角石	"
"		27文	袖口 1 ツ	"
21		190文	よりこ 1 わ	"
"		118文	武し 1 わ	"
"		72文	松あん 1 斤	"
23		32文	生のふ	"
"		16文	明はん	"
"		32文	とのこ	"
"		48文	こふん	"
"		48文	あいろう	"
"		48文	しやうふ	"
"		76文	中折 1 丈	"
"		13文	はり	"
28	2朱		よりこ	"
"		100文	内津60め	"
9. 9		246文	種水 5 合	佐金次
"	1朱		塩 6 升 4 合	"
"		108	くわし	"
29		518文	種水 1 升	"
"		48文	ひしき	"
"		60文	青いた	"
"		66文	す 6 合	"
"		42文	こま 3 合	"

10. 24	500文	塩 8 升	佐金次
--------	------	-------	-----

弘化 3 年

月 日	金 額	費 目	支 出 先
1. 3	124文	去巳年分切元ゆい代かり分遣ス	忠助
4	100文	御年始	蔦木宿 三光寺
7	500文	酒 3 升代	大武川酒屋与三郎
10	32文	へに猪口 1 ツ代	林右衛門
"	2朱	子ニ致候ニ付祝遣ス	おかく
12	12文	道祖神様紙寄ニ付	子供衆へ
14	200文	御礼ニ付使物くわし代	清吉
18	548文	巳年分染物代遣ス	由三良
19	200文	年始ニ参り候節遣ス	立沢村 おます
"	12文	あびす様御初穂	
25	8文	天神講ニ付使	おたつ
26	648文	ふし 1 れん代 隠居ヘ遣ス	大沢人
2. 2	29文	寺ニ而日待入用割 1 人分	
4	32文	油メちん	机村 松左衛門
6	24文	香銭	乙事村 利助
"	20文	"	" 猶七
16	388文	おくらよりこ 3 わ取ちん	おくら母
18	503文	紙茶扇子せん香 4 品買物メ分	布屋六兵衛
"	100文	らくわん 1 斤代	茅野村 菓子屋
"	"	かゝみ 2 めんときちん	下筋人
23	600文	古わた代	甲州人
24	12文	かうやく代	半七
26	300文	たたみ拵ちん 1 丈32文ツム	高森村 たゝみや
27	16文	ひなくわし代	大池人
3. 1	46文	ひな并くわし代共ニ	福嶋村人
"	40文	ひな買候ニ付遣ス	おくら
3	2朱	紙入代勘定ニ而	角間江戸屋長蔵
4	"	紺はゝき 2 足代、勘吉分かし共ニ	福嶋屋縫五郎
"	172文	大板 2 わ小板 1 わ代	丸角屋伊助
"	64文	泊りちん并肴飯認共ニ	湯之脇
"	40文	さしぐし 1 枚	商人
"	232文	町々薬代かし分	龍伯老

3.	7	20文	使糸染ちん	こんや忠助
	8	12文	さいせん割合分遣ス	林右衛門
	10	2朱	桃代	町桃屋忠七
	11	24文	香銭	葛木宿佐金次
	15	59文	氏神様御次湯并参銭子供 小使メ分	
	17	32文	油メちん	机村 松左衛門
	20	122文	葛木 〆手拭買参り代かり 分遣ス	忠兵衛
	23	24文	香銭	勘右衛門
	29	400文	半之助裕拵并裕拵直し外 少々共ニちん	おそゑ
4.	1	18文	種物代巳年分共ニ	中村己や磯八
	4	52文	水油 1 合代	葛木扇や佐金次
	5	100文	半之助羽折ひは代	大坂人 〆
	6	266文	よりこ 1 わ干物代 1 わ代 240文	甲州人 〆
	8	200文	明神様へ参り小使分	半之助
	〃	100文	右同断ニ付遣ス	大武川村 勘吉
	10	1貫200文	去巳年分明神講日待入用 割 4 人分出越共ニ 1 人前 300文ツム	乙事村 九右衛門
	〃	100文	木綿尾佐代	甲州人 〆
	12	354文	日掛講懸ヶ銭分	あたこ山御師
	14	116文	もゝ色切井いも種代	原ノ茶屋
	〃	24文	香銭	乙事村 平左衛門
	18	24文	人しん種 5 夕代	山浦 新井人 〆
	23	24文	使糸染代	こんや忠助
	〃	48文	白切 1 尺 2 寸代	葛木扇屋佐金次
	28	2朱	愛宕山銭買分隠居 〆	
	〃	100文	かさひほ共ニ代	神宮寺村
	〃	48文	らくわん半斤	茅野村
5.	1	1分	愛宕山銭買分隠居 〆	
	〃	200文	駒掛ちん	乙事村 喜左衛門
	2	48文	20丁入と 1 丁代	葛木宿 安太良
	8	2朱	よりこ 3 わ代勘定ニ付遣 ス 1 わ代 240文ツム	甲州人 〆
	15	140文	女三度并子供かさ共ニ 2 かい代	原ノ茶屋
	18	16文	あらめ代	半右衛門
	24	82文	竹子かさ代	葛木宿 佐金次
	25	12文	くわし代	林右衛門
	27	39文	大小びく 2 ツ代	商人 〆

5. 29		24文	香錢	横吹新田 糸右衛門
晦		100文	らくわん 1 斤	西茅野村 5
閏5. 3		32文	油ノちん	机村 松左衛門
5		56文	やまめ代	治右衛門
8		24文	香錢	善次郎
12		27文	水油 5 夕	林右衛門
14		300文	白布 1 反おりちん同人娘 ニ遣ス	治右衛門
"	2朱		石灰 1 太代江遣ス	矢ヶ崎村元ノ惣右衛門
18		200文	当村寺御隠居様からとむ らいニ付遣ス	上蔦木宿 三光寺
19		624文	葉代	上嶋茶屋長右衛門
22		248文	明神様へ参り小使 前宮 御開帳有之	半之助
"		48文	20丁入と 1 丁代	原之茶屋
24		24文	香錢	斧右衛門跡式 要右衛門 せ枠
"		"	焼酎	林右衛門
28		348文	弘物代わたし 小いざる 2 品	半七
"		10文	津嶋様御札御初穂	
6. 4		20文	香錢	乙事村 伝右衛門
6		609文	はた糸染代 2 口隠居分	茅野村 こんや治助
"		200文	らくわん 2 斤	" くわし屋
"		146文	かん徳利茶付茶わん 2 ツ 代	町ニ而
9		18文	焼酎 1 合	半右衛門
10		28文	塩沢湯江参り小使	おうた
"		32文	越後様御初穂	
11		48文	" 隠居分	
"	1分		越後様錢買分	
"		12文	大祝様御札御初穂	
15		16文	上るり割合分	半右衛門
17		24文	香錢	上蔦木宿 勝右衛門
19		10文	使糸染ちん	こんや忠助
20		248文	よりこ 2 わ取ちん	おとよ
"		400文	羽折染ちん内入分	町こんや平右衛門
21		760文	かつうふし 1 れん	弘沢人
22	2朱		羽折并裏付物 2 品染物代 残り勘定ニ付	町こんや平右衛門
22		112文	小せった 1 足	いつミヤ折右衛門
"		78文	あさかを茶わん 5 ツ	いつミヤ数右衛門

6.	22	100文	かさ1かい	原之茶屋
"	"	60文	くし5枚	木間人
24	"	24文	香銭	権右衛門
25	"	6文	酢	半右衛門
6.	26	100文	やまめ代隠居分	治右衛門
27	2朱		つむきもみ2品買物勘定 ニ付遣ス	横内村人
7.	3	5文	酢	半右衛門
6	"	4文	いろ紙	"
7	"	512文	ろうそく1箱代40入 目 方正味250目	医師 玄台老
10	"	366文	はゝき1足	玉や源四郎
"	"	500文	小杉2個 竹内新八様江 使物	かゝや
"	"	100文	さんきらい代	中屋嘉助
"	"	72文	中折1丈	白木や久兵衛
"	"	100文	田沢村角力江参り小使分	半之助
12	"	400文	頼ちんよりこ取ちん差引 残り遣ス	おくら
"	"	200文	こまかけちん	乙事村 平重
13	"	114文	手拭買候ニ付遣ス	半之助
"	"	148文	塩油1本白さとう代	蔦木宿 佐金次
"	1分		薬御礼 隠居共ニ分	医師 龍伯老
14	"	33文	女中ぬき油1本代	半右衛門
"	1分2朱	8文	いろいろ染物代	忠助
16	3分		みつむね様へ参ルニ付か し分	重蔵
21	"	40文	千鹿頭祭 小使分	
22	"	30文	酒2合	忠七
27	"	216文	原山祭大池へ参りおた つ共ニ小使分	おうた
"	"	300文	原山祭江参り小使	半之助
"	"	64文	"	下女 おそよ
29	"	24文	香銭	乙事村 七郎右衛門
8.	6	2朱	麻使糸染ちん	こんや忠助
8	"	100文	善光寺様へ参り銭別	町車屋
"	"	403文	おうた染直し物代	こんや平右衛門
"	"	184文	しとごさ1枚	かゝや
"	"	32文	つき目薬1包	吉田様
"	"	24文	つのまた	森田屋
"	"	224文	馬之くら1口あら木拵外 ニ木1丁代共ニ	茅野村ニ而
12	"	44文	酒3合	忠七

8. 14	2朱	406文	頼ちん 6 人分	横吹桶屋勝蔵
17		100文	うなき 5 筋	町 小和田人
18	1分		大ふとん表裏代	町 小和田丸屋兼蔵
20		579文	麻 1 丈 9 尺 1 反764文	おきよ
21		24文	香銭	次兵衛
"		"	"	藤七・
"		"	"	伊左衛門
"		"	"	次三良
22		"	"	房吉
"		"	なし	忠七
23		16文	池之袋狂言 = 付小使分	
"		100文	右同断 = 付	半之助
25		78文	糍	町 なんふや
"		44文	小糸ひ 5 合	町 = 而
"		72文	麻青 1 丈 9 尺染代	茅野村 こんや
27		200文	山神戸狂言 = 付	半之助
29		48文	大いざる 1 ッ	兵左衛門
"		100文	狂言 = 付花遣ス	山神戸 喜八
9. 2		32文	油メちん	机村 松左衛門
"		118文	染切 2 尺 2 寸	林右衛門
"		300文	馬之くら 1 口并はそん共 ニ 1 口 184文 112文 3 口はそん分	小六新田 武兵衛
3		200文	塩代	ツタキ 扇屋
6		12文	す	半右衛門
7		27文	狂言 = 付遣ス	若キ衆へ
8		16文	机村へ狂言 = 付小使分	
10		"	す	忠七
13		24文	香銭	大武川村 太左衛門
15		12文	少々をかみ三銭 = 遣ス	やまぶし
16		16文	いも買	甲州商人
18		24文	津嶋御師様へ御初穂	
"	2朱	"	銭買分	
19		24文	酔いも代	忠七
21		"	香銭	伊兵衛
26		26文	酒 2 合	忠七
"		17文	子供小使	林右衛門
晦		46文	醉酒之代	忠七
"		10文	ゆづ 2 ッ	甲州商人
"		48文	せん香 1 6 わ	布屋六兵衛
"		64文	こうばいさん 2 包	立木様

9. 晦		100文	らくわん 1 斤	茅野
10. 2		56文	ふるいはり替之代	松本商人
5	1分		よりこ代ニ頼遣ス 1分 ニ8わニ買参り	山神戸 与三郎
"		28文	とうふ 1 丁	源右衛門
6		100文	多賀御師様御初穂	
"		32文	" 隠居分	
"		100文	神散丸代	多賀御師様
7		33文	若キ者花割合分	
"		148文	柿代 数100 1ツ代 1文 5分	甲州人
10		28文	とうふ 1 丁	源右衛門
14		200文	塩代	葛木扇や佐金次
"		16文	酒代	忠七
16		45文	肴代	大沢人
"		378文	薬代	越中富山薬屋長右衛門
17		14文	とうふ半丁	源右衛門
19		148文	塩代	葛木扇や佐金次
"		38文	机村狂言ニ付酒代割合代	
20		40文	柿	甲州ノ万之助
21		116文	糍 2 升	町 なんふや
"		88文	手拭 1 筋	白木や作之助
"		122文	町行ニ付油 2 本并小使メ 共ニ分	半之助
24		232文	愛宕山御師御初穂ニ	
26		24文	豆腐 1 丁	藤左衛門
28		52文	酒肴代	忠七
29		80文	おたね 8 升メちん	机村 松左衛門
11. 2		50文	肴代隠居分	半右衛門
4	1分		よりこ 8 わ10匁代 隠居 分共ニ	里神戸人
"		36文	秋葉山掛銭	藤七仲
7		222文	あかね并へに染手拭 2 筋 代隠居分共ニ	葛木扇や佐金次
5~7		324文	こん糸134匁染代	町丸山屋新三郎
"		400文	ねり薬并山木来代	中や嘉助
"		100文	糍	町車屋
"		52文	附木25わ	芋木
8		24文	ほうそうくわし代	清吉
14		43文	瀧之前へ参小使	勝兵衛
15		24文	酢 3 合	葛木扇や佐金次
16		48文	柿12	甲州人

11.	19	26文	豆府1丁	源右衛門
	20	"	使糸染ちん	こんや忠助
	20	100文	木綿おさ代	甲州人
	22	"	伊勢御師御初穂	
	24	40文	ほうそうくわし代	松本人
	26	8文	きらづ	源右衛門
	28	300文	薬代并外入用共ニ隠居へ遣ス	伊奈長岡村新右衛門
12.	1	90文	紅ニ染手拭2尺5寸代	兼吉
	"	32文	油メちん	机村 松左衛門
	5	8文	富士御師御初穂ニ	
	6	1分	よりこ8わ半代 目方60 めニ直シ	山神戸村 清吉
	"	16文	小下た1足	源次郎
	8	24文	豆府1丁	源右衛門
	11	35文	柿5ツくし代	半右衛門
	"	90文	あわつむ代	弘沢人
	12	24文	青のり1丈	順藏
	15	20文	酒2合	半右衛門
	"	1分	薬代勘定ニ付	江州日野薬屋弥兵衛
	"	1両2分	532文 おすへ目傾候ニ付御礼并 さいかくねり薬代共ニ、 さいかく1ト廻り1分、 ねり薬1ト廻り5匁、せ ん薬197貼、外ニ目薬	竹内新八様
12.	15	1分	48文 右同断ニ付礼并肴代共ニ	町車屋久四郎
	"	240文	御礼肴代共ニ	大山良圓様
	16	340文	小手塩箸立代共ニ	清水町 いつみや
	"	48文	青染代尤8月小紋染代此 度染ちんニ而引	町こんや平右衛門
	"	2朱	真綿	大池ノ政右衛門
	17	200文	葛木三光寺勧化分	清兵衛
	18	300文	中綿160目	甲州人
	"	16文	田作	半右衛門
	19	24文	くわし	清吉
	20	2朱	76文 頼ちん并糸とりちん共ニ	おきよ
	25	1分	593文 いろいろ頼ちん并糸取ち ん共ニ分	おくら 母共ニ
	27	348文	麻青形付女1反224文、 青1反124文	乙事こんや豊吉
	"	256文	まくろ310匁	九八
	"	32文	油メちん	机村 松左衛門
	28	24文	下太1足	源左衛門

12.	28	224文	馬ふせちん 9 疋分	乙事村 利助
"	"	203文	頼ちん一日分	大工勘右衛門
"	"	100文	あみた 御隠居様御年暮	
"	"	1貫文	薬御礼 隠居分共ニ	医師 龍伯老
"	"	1貫452文	いろいろ染物代隠居分	こんや忠助
29	"	6文	いろ紙 2 枚	林右衛門
"	"	268文	酒 2 升 5 合	亀泉源次郎
"	"	835文	染代	忠助
"	"	28文	下駄代	源左衛門

安政 2 年

月 日	金 額	費 目	支 出 先
1. 1	3文	参銭	
4	56文	柿10くし代	七左衛門
10	24文	立沢村 松兵衛へ香銭	
"	16文	さとう代遣ス	七左衛門
14	100文	子種代内入分	長瀬村林や勝右衛門
"	12文	いろ紙代遣ス	おたつ
"	3文	参銭	
16	100文	葛木宿三光寺へ御年始ニ遣ス	
"	12文	あひす様へ御初穂ニ遣ス	
18	100文	若キ者日待入用割	
"	16文	ごんたくまい割	下組ニ而
"	14文	あさ使糸染ちん遣ス	こんや忠助
23	24文	葛木宿 勝右衛門へ香銭	
28	"	水油 5 勺代	栗生人お
"	64文	油ズちんニタロ、半之助分共ニ	神代村 順作
29	3朱	道祖神様おやまさを代勘定へ遣ス、但し10匁 5 分	若キ者へ
10日頃	2朱	よりこ 4 わ、15匁代	大武川村 宇助
2. 2	40文	去寅年分染ちん残り江遣ス	こんや忠助
5	200文	よりこ 2 わ取ちん遣ス	源左衛門隠居
"	100文	" 1 わ "	おきよ
8	16文	白とう代	清吉
"	50文	蕎麦 1 斗引ちん遣ス	九八
15	1分1朱	引とき小袖表 2 ツ代	町玉や源四郎
16	216文	去寅年分染ちん勘定残り分遣ス、重蔵分共ニ	こんや平右衛門

2. 16	60文	鼠半切100枚代	角間橋場 白木屋
"	156文	火入1ツ并かた口1ツ代 遣ス 火入1匁 かた口 48文	いつミヤ折右衛門
17	32文	使糸染ちん并きぬ糸共ニ 分遣ス	こんや忠助
18	32文	しゅみがい1升代	甲州人
19	24文	清七へ香銭	
"	8文	きぬ糸色あけちん遣ス	こんや忠助
20	176文	くろ七子割2尺7寸代	飯嶋人
22	28文	中いざる1ツ代	元左衛門
24	3朱	きぬ引とき1枚代勘定ニ 付遣ス	葛木山形や弥五右衛門
25	500文	そうめん代遣ス	池ノ袋人
"	734文	菓子さとう代	茅野ニ而
26	332文	溜り2升代	大武川村 太左衛門
"	80文	酢1升代	"
"	367文	玉ご45代	所々
27	164文	やまめ代	休戸
"	48文	あめ代	清吉
"	300文	こんにやく代16丁1丁18 文ツム	葛木
"	48文	大いざる1ツ代	又兵衛
28	300文	溜り2升代	大武川村 藤蔵
"	16文	あめ代	清吉
"	80文	酢1升代	大武川村 藤蔵
"	100文	玉ご代	所々
"	"	九八方参り候ニ付祝儀 遣ス	惣次
晦	104文	蕎麦1斗小麦1斗引ちん 遣ス	波右衛門
"	50文	蕎麦1斗引ちん遣ス	九八
"	100文	祝儀致候ニ付遣ス	番人 久四郎
25	300文	からかさはりかへちん内 江遣し置	
3. 4	12文	きぬ使糸染ちん遣ス	こんや忠助
5	300文	豆腐拵ちん3箱分 去冬 之分共ニ	とうふや源右衛門
"	100文	人しん7わ代遣ス	源次郎
8	232文	そうめん代残り分遣ス	池ノ袋人
"	100文	狂言ニ参り小使分	半之助
"	20文	"	津多蔵
10	100文	明神様へ参り小使分	おたつ

3.	10	24文	下葛木村喜右衛門へ香銭	
	14	16文	はりきり代遣ス	七左衛門
	15	45文	氏神様 祭ニ付参銭次湯 小使共ニ分	
	20	2分1朱 100文	夜具綿1ツ、大ふとん綿 1ツ、都合2ツ代遣ス	甲州十五瀬村 清助
	21	1分1朱 206文	杣頼ちん11日分、日毎ニ 1分、8日勘定	若宮ノ兵藏
	"	64文	茶わんやきつき代、1ツ 16文ニ8文ツム	神宮寺人
	25	359文	紙綿笠代	伏見や直助
	"	220文	笠2かい代	白木や
	"	278文	おろし代	九角や伊兵衛
	"	400文	紺糸110匁染ちん1割1 分染	茅野こんや七兵衛
	26	348文	御納戸糸380目染ちん遣 ス	芋木こんや権太郎
	27	224文	馬薬目薬代遣ス	伊奈長岡村 新右衛門
	"	280文	5升なへ井中なへいかけ ちん遣ス	弘沢ノ宇之助
	"	32文	油メちん遣ス	神代村 順作
	29	1分	半之助祝儀ニ付御礼ニ遣 ス	大武川村 重左衛門
4.	6	20文	菓子代遣ス	半七
	11	50文	波右衛門へ蕎麦1斗引ち ん	
	"	1朱	隠居家棟上ニ付祝遣ス	大工半右衛門
	"	200文	"	大工与兵衛、亀吉
	"	"	"	" 竹三郎、寄三郎
	14	1分2朱	大工頼内江遣ス	半右衛門
	17	24文	藤左衛門へ香銭	
	18	400文	頼ちん2人分遣ス	木引久米十郎
	20	172文	ふし1本代隠居分	大沢人
	"	48文	菓子代	金沢人
	21	36文	打ひほ4尺代	商人
	"	32文	同断代かし分	隠居は、
	26	340文	さんど笠2かい代	葛木宿 佐金次
	29	16文	使糸染ちん	こんや忠助
5.	11	48文	馬ふせちん2疋分	瀬沢新田 伊兵衛
	12	16文	しよみかい代	里人
	"	24文	附木9わ代	七左衛門
	14	116文	生ふし1本代隠居ニ而買	金沢人
	17	2朱	よりこ代遣ス	半之助

5. 18		24文	はた横不足ニ付そらいろ糸染ちん遣ス	こんや忠助
20	2朱		葉代勘定ニ付遣ス	上嶋之長右衛門
"		48文	大やきふ39代	惣次郎
21		24文	夏子種代	商人 ⁵
22		64文	梅 2 升代	甲州人 ⁵
"		32文	同断 1 升代かし分	隠居は ⁵
23		"	" 半之助分	甲州人 ⁵
27		24文	梅 1 升代	甲州人 ⁵
28		300文	頼ちん内江遣し置	木引久米十郎
29	2朱	48文	よりこ 5 わ代遣ス	甲州西郡吉田村 峯助
"		24文	焼酎代遣ス	清吉
6. 1		12文	ところてん代	弥五兵衛
"		75文	蕎麦 1 斗, 小麦 5 升 2 度分引ちん遣ス	九八
2		648文	愛宕山 勅化 3 ヶ年終年分	
4		32文	焼酎 2 合代	清吉
"		148文	生ふし 1 本代	町ニ而
5		316文	大板敷小板敷代 大 5 分 5 り小 4 分 1 り	丸角屋伊兵衛
"		100文	らくわん 1 斤代	茅野ニ而
8	1朱	412文	頼ちん内江遣し置	佐官友吉
9		16文	初ニ参り候ニ付	立沢村 おしな子ニ
"		"	せんへい代	清吉
"		12文	金ひら様 祭ニ付寄せ銭	
10		"	大やきふ 8 ツ代	惣次郎
4~5頃		16文	大大ごん種代	商人 ⁵
12	2朱		頼ちん内江遣し置	大工半右衛門
15		104文	おたつはふき代	栗沢人 ⁵
16		32文	油メちん	神代村 順作
18		100文	乙事村 勝吉へ香銭	
"		48文	同人へいろ代	
20		62文	20丁入と 1 丁代 重蔵方へ遣ス	上ノスワ 丸角屋
22		30文	つけあめ代	清吉
"		32文	焼酎 2 合代	"
24	1分3朱		板戸 4 本拵ちん勘定へ遣し置	大工友吉
25		800文	障子拵ちん内へ遣し置	伝次郎
"		14文	天神様祭ニ付	津多蔵
"		24文	目薬代	木間 ⁵

6.	26	32文	小板敷代かり分	芋木かしや
"	1朱		おうた目薬代	竹内新八様
"		200文	半之助祝儀ニ付遣ス裏町 森市方へ頼置	配当屋へ
	27	2朱	おたつ帯単物染ちん	こんや平右衛門
"		131文	割たはこ1玉代半之助分	町ニ而
	28	124文	ふし1本代	きふや和兵衛
	29	34文	しじめ貝1升5合代	坂室人
"		300文	頼ちん内江遣ス	木引久米十郎
晦		16文	焼酎1合代	清吉
7.	3	40文	はそんちん遣ス	芋木村 からかさや
	6	16文	いろ紙8枚代	七左衛門
	9	"	焼酎1合代	清吉
	10	200文	あんまちん遣ス	大熊村 幸蔵
	12	32文	油メちん半之助分遣ス	神代村 順作
	13	48文	大やきふ40代	惣次郎
"		"	愛兵衛へ香銭 半之助分 共ニ	
"	2分		掛物（絹地）代江遣し置	原ノ茶や 七郎右衛門
"		224文	頼ちん残り分遣ス	木引久米十郎
"	2朱		右同断半之助分江内入	"
"		48文	つけうり6本代	金沢人
7.	14	2分	頼ちん勘定内江遣し置	大工亀吉
"		174文	蕎麦1斗5升、小麦1斗 5升、合3斗引ちん并米 2斗つきちん共ニ遣ス	九八
"		40文	盆ちやうちん外ニ小使共 々分	商人
	15	24文	白さとう代	清吉
"		"	千鹿頭角力小使分	津多蔵
	17	800文	ふし1れん代	瀬沢新田 染五郎
	21	184文	御納戸糸220目染ちん遣 ス	芋木こんや権太郎
"		9文	はり代	商人
	22	16文	大ふ10代	七左衛門
	25	5文	原山様祭ニ付遣ス	
"		48文	源左衛門へ香銭、半之助 分共ニ	
"		"	又左衛門へ香銭、半之助 分共ニ	
	28	2朱	頼ちん半之助分江遣し置	木引久米十郎
"	1朱		" 1人7分5り分遣 ス	木間柚忠右衛門

7. 28	358文	右同断分	同所金蔵
"	18文	少々はた糸染ちん	芋木こんや権太郎
8. 2	100文	村角力=付割合分	
4	48文	中新田幸内へ香銭	
9	400文	狂言=付花遣ス	立沢村 慶吉
10	100文	" 花使	立沢村へ 他に9日と11日に半之助、おたつ、おうたに100文宛、つた蔵に48文の小使を与えている
12	90文	蕎麦1斗小麦8升引ちん	九八
7	16文	麻使糸染ちん	こんや忠助
15~17日、木間村狂言に付、木間村七郎右衛門に200文、同岩吉に100文、同彦治郎他2人に100文、同勝右衛門他2人に100文、木間村へ100文の花を遣し、半之助に300文、津多蔵に32文、おたつに48文、勝兵衛に43文、おうたに63文の小使いを与えている。			
8. 15	76文	つむ1本代	伊奈人
18	100文	池之袋村久之丞へ香銭	
"	"	茶5升代	甲州人
20	"	去死=付からとむらい之節遣ス御隠居様	大武川村 福泉寺
23	48文	馬ふせちん2疋分遣ス	瀬沢新田 伊兵衛
"	24文	松竹代	伊左衛門
24	2朱 28文	よりこ5わ代	甲州西郡もゝそね村 良助
25	200文	かさ1本張替ちん	芋木村 からかさや
26	32文	油メちん	神代村 順作
27	112文	ふるい2ツはりかいちん	ふるいや
28	12文	はり3本代	林右衛門
"	24文	附木7わ半代	弥五兵衛
9. 1	300文	かんざし拵直しちん	栗沢人
5	28文	使糸染ちん	こんや忠助
15	1分	頼ちん内江遣シ置	立沢村大工富蔵
16	2朱	" "	木間村大工亀蔵
17	"	" 内江遣ス友次郎=	大工浅吉
20	600文	" 内江遣シ置候分、半之助方	芋木大工清蔵
28	300文	右者頼ちん江遣ス 隠居	芋木大工清蔵
"	3朱	" " 半之助方	大工友次郎
14. 5	20文	柿代	甲州人
10. 2	1分	よりこ10わ半代頼遣し買	山神戸 与三良

10.	3	10文	柿代	甲州人江
	4	3朱	173文 兩人頼ちん合 6 人分遣ス	大武川大工永五郎、万吉
	8		600文 頼ちん内江遣し置	木引久米十郎
	"		400文 " 林右衛門分へ	佐官友吉
	9		100文 " " 遣ス	大工友治郎
	"	2朱	"	友吉女房
	"		28文 丸引手 3 ヅ代	上ノスワ 丸角や
	"		200文 紺糸55匁染ちん	茅野村 こんやふじや
	10		312文 頼ちん内江遣ス半之助方 5	大工友次郎
	11	2朱	越後様 おうた御祈禱御 礼残り分遣ス	
	"		32文 越後様 御初穂	
	12		12文 あさ使糸染ちん	こんや忠助
	13		560文 薬代	上嶋薬屋長右衛門 代平 助
	15	2朱	63文 頼ちん兩人分遣ス、清蔵 残り分共ニ村大工友次郎 ニ	芋木大工宇左衛門 同清 蔵
	16		15文 はり 5 本代	小間物や
	17		24文 馬ふせちん 1 疋分	セ沢新田 伊兵衛
	19	1朱	頼ちん江遣ス半之助方 5	木引久米十郎
	20	1分	右同断内江遣ス	大工友次郎
	21	"	右同断	同 亀吉
	"		100文 多賀御師様 御初穂ニ遣 ス	
	"		" 多賀御師様 御初穂ニ遣 ス 半之助分	
	"		48文 多賀御師様 神散九代	
	22		272文 頼ちん一日分遣ス	高遠ノ定石や
	21		300文 中組 たいこ拵ちん勧化 致候ニ付半之助分共ニ遣 ス	半之助へ
	25	1分	よりこ代遣ス	半之助
	27	1朱	薬代勘定ニ付遣ス	江州日野薬や弥兵衛
11.	3	200文	子はく嶋切 1 丈代	甲州人
	4	32文	油メちん	神代村 順作
	6	129文	蕎麦 1 斗 5 升、小麦 1 斗、 メ 2 斗 5 升引ちん	九八
	8	2朱	123文 頼ちん残り分遣ス、村大 工友次郎へ 半之助普請 分	立沢 大工富蔵
	"	1分	問屋無尽親金分半之助方 頼ちん江	大工亀吉

11. 8		100文	さんま22本代寺ニ而遣ス	藤左衛門
11. 14	1分		頼ちん半之助分へ遣し置 善蔵無尽ニ付	大工友次郎
"		24文	万蔵へ香錢	
15		30文	しごみ貝1升代	商人5
16		24文	附木8わ代	弥五兵衛
17		164文	よりこ1わ取ちん	おきよ
19		341文	7月6頼ちん差引残り分 遣ス済半之助分	木引久米十郎
"	2朱	824文	頼ちん内江遣ス半之助分 村無尽掛金ニ付	大工友次郎
20		36文	白さとう代, 半之助分	清吉
21		84文	にわ鳥打金重蔵方へ遣ス	甲州人
"		46文	町5やき串1組目薬買参 りかり分遣ス	重蔵
22		20文	てつひんいかけちん	いもし
22~24		100文	白くろさとう代隠居へ買 参り	中や嘉助
21		200文	村中所々5之勤化ニ付遣 ス	役人衆へ
"		7文	はり3本代	商人5
24		16文	天神講ニ付	つた蔵
25		132文	愛宕山 御初穂ニ遣ス	
28		50文	蕎麦1斗引ちん	九八
"	3朱		よりこ8わ代	甲州西郡 三郎左衛門
29		24文	芋木村 孫三郎へ香錢	
晦		22文	両人かんねんぶつニ参り 小使分	つた蔵, おたつ
12. 2		20文	使糸染ちん	こんや忠助
4		8文	津嶋御師 御初穂 去年 者12文上ル	
6		24文	先能村伊兵衛へ香錢	
10		100文	伊勢御師ニ御初穂	
"		12文	きらす代	藤左衛門
"		24文	芋木村宇左衛門へ香錢	
12		8文	大祝様 御立府御初穂ニ 遣ス	
"		501文	頼ちん両人分残り 弟子 共ニ遣ス 半之助普請分 友次郎ニ	大工浅吉
"	1朱	56文	右同断分遣ス	木間大工亀吉
"		100文	あした代遣ス半之助分	乙事人
13		68文	右同断代つた蔵分	林右衛門
"		8文	ふのり代	七左衛門

12. 15	2 朱	48文	よりこ 6 わ代	甲州人 5
"		32文	乙事村平七郎へ香銭	
"		20文	くわし代	半七
"	1分		馬買候ニ付手金遣ス	乙事村 染右衛門
16	"		頼ちん内江遣シ置	大工友次郎
17		478文	よりこ 3 わ取ちん 1 わ110 文ツム并頼ちん 2 人分共 ニ遣ス	おきよ
20		124文	はそん并張替ちん共々分 遣ス	芋木村 からかさや
21		118文	頼ちん遣ス半之助分	木引徳十郎
25		56文	茶わんやきつぎ代ニ	乙事村 弥吉梓
"		50文	蕎麦引ちん	波右衛門
"		104文	"	九八
"		8文	きらす代	藤左衛門
26		226文	紺小足袋 1 足	町ニ而
"		468文	紙代	ふしミヤ
"		336文	重わん下駄を代	白木や栄助
"	3朱		染物 2 品おたん分共ニ返 り有	染や平右衛門
"		300文	糸とりちん	おはる
23		200文	中わた代	甲州人 5
28		100文	酢 1 升代	大武川村 太左衛門
"		585文	頼ちん 2 人半分	横吹桶や平右衛門
"	1両2分		馬代金染右衛門へ頼遣ス 分	三郎兵衛
"	1分1朱		薬御礼半之助共ニ	乙事 尚綱老
"		100文	いわし代	葛木ノ人
"		200文	薬御礼ニ	龍伯老
"		300文	"	岡八
"		116文	芋引ちん頼申候	おきよ
"		100文	馬せわちん	弥助
"		38文	小下駄 2 足代	"
29		4文	いろ紙代	七左衛門
"	100		豆腐拵ちん	順藏
"	2朱		つた蔵礼ニ	龍伯老
"	2朱	2貫248文	年中染物ちん	こんや忠助

元治 2 年

月 日	金 額	費 目	支 出 先
1. 1	3文	参銭	

1.	5	24文	同年(子年)三光寺古ね こ代割合ニ付遣ス	九八
	"	100文	かみゆい祝ニ遣ス	床場梅吉
	7	200文	伊勢参宮ニ付餞別ニ	与吉
	"	48文	"	久兵衛
	"	24文	"	喜八
	"	24文	"	市兵衛
	8	24文	香銭ニ	兵左衛門
	12	8文	道祖神様紙寄せニ付	子供衆へ
	13	348文	しほり、青共ニ2丈1尺 染ちん	こんや忠助
	14	11文	かくらまい参り	参銭并子供衆へ
	17	12文	ゑひす様 御初穂ニ遣ス	
	"	100文	木間村七五郎へ年玉	
	18	1分	303文 去子春若キ者狂言始ノ候 節之入用割出越金へたし の分	
	"	1分1朱	同断 子供割分	
	"	100文	若キ者日待入用割	
	21	100文	伊勢御師様 御初穂ニ遣 ス	
	22	48文	香銭ニ	立沢村 仙左衛門
	"	48文	"	" 慶吉
	"	24文	"	" 篠右衛門
	27	"	秋葉山兵具ちん割合分	中組江
	28	100文	油メちん遣ス	乙事村 重右衛門
2.	5	24文	香銭遣ス	木間村 忠右衛門
	6	200文	鉄びん拵ちん遣ス	弘沢ノ宇之助
	8	100文	手すくい拵ちん遣ス	兵左衛門
	9	200文	子種四ツ切代内江遣し置	大門村人
	12	12文	使糸染ちん遣ス	こんや忠助
	13	"	吉藏殿へ御祝儀	
	"	1両1朱	小紋綿入女物老牧并女帯 老筋代	半兵衛へ
	16	100文	御年始ニ	蔦木宿 三光寺
	26	100文	ほつくニ付遣ス	三村氏へ
	28	16文	ひなくわし代	商人
3.	2	100文	あたこ山 初穂ニ	
	7	100文	大池ノうめのへ祝	
	"	24文	芋木村孫三郎へ香銭	
	11	500文	ろうそく21丁代	大池ノ忠助
	12	100文	茶1升7,8合代	甲州茶売関蔵

3.	15	47文	氏神様祭ニ	
	"	80文	小麦1斗引ちん	波右衛門
	18	12文	ねりま大こん種代	塩沢之人
	20	364文	芋うみちん遣ス、初ニ	清右衛門内方
	21	100文	油メちん	乙事村 重右衛門
	24	600文	乙事村こんやへ紺糸染ちん	
	28	12文	ふじ御師分 初穂ニ	
4.	5	120文	伊奈郡桑や新右衛門より馬桑并いろいろ	
	"	200文	身延山へ兩人参り候ニ付饞別	大池新田 政右衛門
	7	424文	笠2かい代 300文ニ124文	町ニ而
	"	500文	茅野村こんやへ 麻糸木綿糸染代	
	8	100文	平右衛門へ疱瘡ニ付見舞	
8~10		100文	しゝみかい2升代	町ニ而
	11	215文	三峯山 掛り14人割合分	
	13	1分	鍋次郎祝義ニ付立沢村市右衛門へ	
	18	100文	甲州茶売関蔵から2升5合	
	19	24文	香代	大武川村 岩右衛門へ
	"	100文	"	" 尚綱老
	"	24文	"	芋木村 孫三郎へ
4.	19	172文	酒や市右衛門へ三峯山酒代	
	21	116文	わらし2足代	
	25	100文	乙事村勘次郎へ祝義	
	28	412文	宮田渡大ほうり様 勸化ニ付	
5.	2	32文	麻使糸染ちん	忠助
	3	100文	かざり鯉1枚	
	4	232文	ごまめ1升代	甲州ノ人
	9	300文	かり敷かま1丁代	中新田ノ人
	10	24文	半右衛門へ香代	
	14	300文	三峯山 酒樽拵ちん、大武川梅吉へ払出シ越分	
	15	112文	肴代	旅人ゝ
	16	100文	油井ねかけ代	商人ゝ
	17	24文	立沢村七郎右衛門へ香代	
	22	24文	横吹新田染右衛門へ香代	

5. 27	348文	松本こり1ツ代	町(下諏訪) = 而
閏5. 3	500文	うす色布1反, 麻使糸染代	乙事村 こんや
9	448文	夏子種3枚代	穴山村 源之助
11	100文	龍源老へ香代 =	
"	24文	山神戸金蔵へ香代	山神戸 与三郎内
"	500文	よりこ3わ取ちん	こんや忠助
"	24文	使糸染ちん	乙事村 重右衛門
7	100文	油メちん	
6. 4	208文	富山薬や長右衛門へ薬代 払	
9	12文	金ひら山 祭礼 = 付参銭	
10	24文	先能村伊兵衛へ香代	
14	24文	木間村惣助へ香代	
21	600文	兵左衛門へかいこかご5枚代	
23	248文	中いざる2ツ, 小いざる1ツ	横吹新田 茂作隠居
23	2貫124文	古単物1枚代	弥五兵衛
"	1貫文	紺糸6分, 155匁	茅野村 こんや
"	824文	" 5分染140め	" "
25	8文	天神講祭 =	
"	24文	磯吉へ香代	
"	"	徳十へ香代	
27	"	先能村利右衛門へ香代	
"	"	庄兵衛へ香代	
7. 6	124文	油メちん	乙事村 重右衛門
"	100文	茶2升	甲州茶売関蔵
"	80文	小麦1斗引ちん	横吹 勝左衛門
"	348文	こざ1枚代	町 = 而
"	456文	かさ2かい代	"
8	24文	花場新田治郎兵衛へ香銭	
9	100文	甲州之人へ干物28枚代	
10	1分	412文 徳十へ古手之代, おたつ分共 =	
13	25文	徳十へせん香5わ代	
"	800文	寺ノ二増老へよりこ4わとりちん	
"	29文	三峯山 樽之代出ッ越, 大武川へ	
"	1朱	芋木村十左衛門へこまかけちん	
"	2分	824文 大工頼ちん	玉川三郎

7.	14	3文	熊野権現参銭	
	16	24文	乙事村権右衛門へ香代	
	19	1分	馬預ヶちん	
	21	1分1朱	100文 甲州沢売り祖十郎へかつ うふし1連代	
	23	5文	原山様へ参銭	
	25	212文	干物28枚、さうほし5合代	惣左衛門
	26	24文	用右衛門へ香代	
	"	"	半兵衛へ "	
	"	"	楨右衛門へ "	
	"	"	太郎右衛門へ "	
	27	112文	原山祭へ参り	君之助
	"	200文	"	おしう
	"	100文	"	おとく
	"	20文	"	高之介
	"	100文	へほみつ1合代	弥五兵衛
8.	2	24文	木間村勝右衛門へ香代	
	3	5両	馬代金残り 并利足之当共ニ	立沢村 弥左衛門
	"	1分	子ノまい3升代	おすゑ
	7	48文	ふどし代、5か之分	徳十
	"	56文	小麦7升引ちん	波右衛門
	6	100文	りうきう代之わは	町ニ而
	8	100文	茶2升代	茶売関蔵
	10	200文	もゝ引、はばき拵てあいニ遣ス	町ニ而
	11	48文	子供へ遣分	立沢村 弥左衛門
	23	80文	小麦1斗引ちん	先能村 伊兵衛
	27	24文	山神戸 嘉平次へ香代	
	"	"	" 与三郎へ "	
	"	"	忠兵衛へ香代	
	28	"	香代忠兵衛へ	仙十郎
9.	3	100文	ふすま4升代	先能村 伊兵衛
	"	1両	よりこ代ニ遣ス	木間村 七郎右衛門
	9	2朱	中わた代	" "
	12	148文	さんま3本代	つたき 惣左衛門
	20	400文	酒代	大武川酒や亀泉
	26	24文	長左衛門へ香代	
	27	44文	さんま1本代	商人ら
10.	1	124文	油メちん	乙事村 十右衛門
	3	12文	津嶋様 御守頂戴候	

10.	6	224文	さんま 6 本代	つたぎ人
	7	400文	酒代	亀泉
	12	200文	め薬代	新やへ
	14	20文	使糸染ちん	忠助
	16	72文	氏神様湯立ニ付参銭	役人衆へ
	20	24文	机村三右衛門へ香代	
	21	"	波右衛門へ "	
	"	"	勇次郎へ "	
	23	200文	もんは代	町ニ而
	"	212文	油之代	"
	"	162文	帳面之代	"
11.	6	200文	しやうが代	甲州ノ人
	"	300文	馬ふせちん 8 疋分	大武川村 五左衛門
	"	24文	くわんのん講 日待ニ付	
	8	48文	秋葉山へ 勧化ニ付	
	9	100文	ま糸并孛染代	忠助
	12	100文	多賀御師 御初穂	
	"	48文	" 神散丸代	
	16	1両2分1朱	足付丸広ふた代	白木や永助
	"	2貫220文	祝義ニ付買物代	きふや市兵衛
	"	914文	"	いつミヤ宗右衛門
	"	1貫654文	いろいろ買物メノ分	町ニ而
	"	1貫600文	取集菓子代	金沢宿菓子や
	18	8両	祝義ニ付内いれ金ニ遣ス	乙事村 三郎兵衛
	"	148文	油メちん	乙事村 十右衛門
	"	24文	馬之はらひメ候物	葛木ら
	21	216文	まん中之粉并するめいろ いろ之代	町ニ而
	23	1貫200文	つた蔵祝義ニ付 1 人へ 300文ツム遣ス	乙事村 2 人, 村分 2 人
	24	24文	源兵衛へ香代	
11.	24	200文	番人へつた蔵祝義ニ付遣 ス	
	"	12文	^{湯カ} つ津様 御初穂	
	25	100文	伊勢御師 初穂	
	"	24文	岡八へ秋葉山餞別	
	26	124文	人しん代	木間へ
	"	172文	そは上ケいさる代	横吹ら
	29	251文	富山薬や長右衛門へ 薬 代いろいろメニ而	
11.	29	2分2朱 400文	よりこ 8 わ代 1 わ代 571文ツム	甲州有之村 定兵衛

12.	1	1貫140文	よりこ 2 わ代	つた木之人
	4	400文	〃 2 わとりちん	横吹之人
	6	400文	こんにゃく12丁代	葛木ノ人
	7	24文	藤左衛門へ香代	
	〃	100文	伝次郎へ 〃	
	8	48文	あふらけ 8 枚	甲州之人
	12	24文	しやか代	〃
	13	100文	茶 3 升代	甲州ときわノ人
	〃	24文	藤七へ香代	
	20	300文	つた蔵祝義いわニ遣ス 勝左衛門頼遣ス	町 配当屋へ
	21	148文	油ノちん	乙事村 重右衛門
	24	2分	よりこ代ニ遣ス	瀬沢新田 繁蔵
	25	76文	こんにゃく 2 丁代	借や 6
	28	400文	薬御礼	大武川村 尚綱老
	〃	836文	ねり薬代	〃 〃
	〃	332文	くき代	愛兵衛
	〃	80文	引ちん	先能村 伊兵衛
	29	400文	薬御礼	龍伯老
	〃	200文	〃	岡八
	〃	〃	さんま 6 本代	徳十郎
	29	3貫726文	染代大豆代と差引残り之分	忠助
	〃	502文	たゝみ拵ちん払	与吉
	〃	12文	佐重郎へ歳暮	

- 各年の「金銀出入帳」（安永4年のみ「諸事出入帳」）、「大福帳」から作成。
- 一部に、本来支出先の欄に書くべき事項が、費目欄に含まれている場合があるが、御用捨されたい。